

3.2. 自然的状況

3.2.1. 大気質、騒音、振動、悪臭、気象等の状況

(1) 気象

対象事業実施区域に最も近い気象観測所は、越谷地域気象観測所であり、対象事業実施区域から約 8km 離れている。

越谷地域気象観測所における過去 10 年間の気象の状況は表 3.2-1 に、令和 5 年の気象の状況は表 3.2-2、図 3.2-1 及び図 3.2-2 に示すとおりである。

平成 26 年から令和 5 年の平均気温は 15.8℃、最高気温の平均は 38.0℃、最低気温の平均は -6.1℃、平均風速は 1.6m/s、平均降水量は 1,373.9 mm である。

また、令和 5 年の平均気温は 17.0℃、最高気温は 39.1℃、最低気温は -5.9℃、平均風速は 1.4m/s、最多風向は北北西、年間降水量は 1,127.5 mm である。

表 3.2-1 気象の状況(越谷地域気象観測所：過去 10 年間)

年	気温 (℃)			平均風速 (m/s)	最多風向	降水量 (mm)
	平均	最高	最低			
平成26年	15.1	37.2	-5.9	1.8	北北西)	1,508.5
平成27年	15.8	37.5	-4.7	1.7	北北西)	1,593.0
平成28年	15.7	36.8	-5.0	1.7	北北西)	1,326.5
平成29年	15.1	38.1	-6.6	1.7	北北西)	1,222.5
平成30年	16.2	39.2	-7.5	1.7	北北西)	1,169.0
令和元年	15.8	37.1	-4.5	1.6	北北西	1,536.5
令和2年	15.9	38.2	-5.9	1.6	北北西	1,334.5
令和3年	15.8	37.3	-7.4	1.5	北北西)	1,557.5
令和4年	15.7	39.5	-7.2	1.4	北北西)	1,363.0
令和5年	17.0	39.1	-5.9	1.4	北北西	1,127.5
平均	15.8	38.0	-6.1	1.6	—	1,373.9

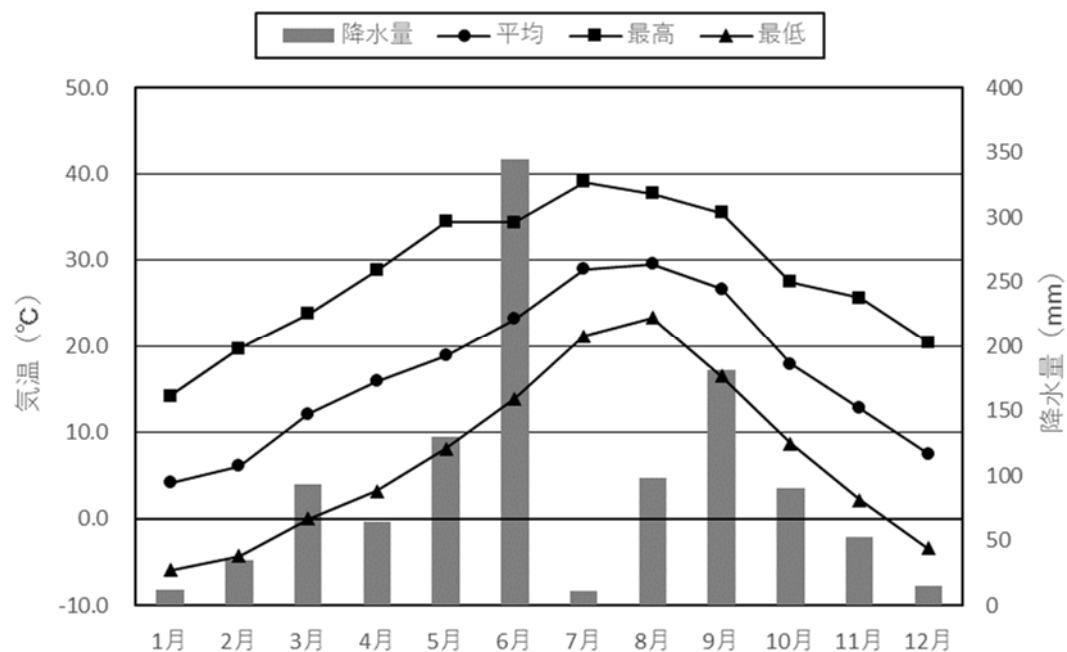
注) 「)」は、統計を行う対象資料が許容範囲で欠けているが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値（資料が欠けていない）と同等に扱うことを示す。

出典：「過去の気象データ検索」（令和6年7月閲覧、気象庁ホームページ）

表 3.2-2 気象の状況（越谷地域気象観測所：令和 5 年）

月	気温（℃）			平均風速 （m/s）	最多風向	最大風速		降水量 （mm）
	平均	最高	最低			風速(m/s)	風向	
1月	4.2	14.2	-5.9	1.5	北北西	8.5	北西	12.0
2月	6.1	19.7	-4.3	1.8	北北西	6.5	北西	34.5
3月	12.1	23.8	0.0	1.5	北北西	7.0	北西	93.5
4月	15.9	28.8	3.2	1.9	南南西	7.3	南南西	64.5
5月	18.9	34.5	8.1	1.6	南	7.0	北北東	129.5
6月	23.2	34.4	13.9	1.3	南	6.3	南南西	344.5
7月	29.0	39.1	21.2	1.3	南	4.4	北東	11.5
8月	29.6	37.7	23.3	1.5	南	5.2	北北東	98.5
9月	26.7	35.5	16.5	1.3	南	8.5	北東	181.0
10月	17.9	27.5	8.7	1.1	北北西	5.6	南南西	90.0
11月	12.8	25.6	2.2	1.1	北北西	6.1	南南西	53.0
12月	7.5	20.4	-3.4	1.1	北北西	5.6	北西	15.0
年間	17.0	39.1	-5.9	1.4	北北西	8.5	北東	1,127.5

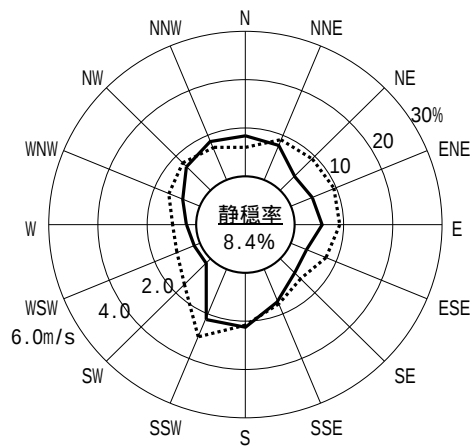
出典：「過去の気象データ検索」（令和6年7月閲覧、気象庁ホームページ）



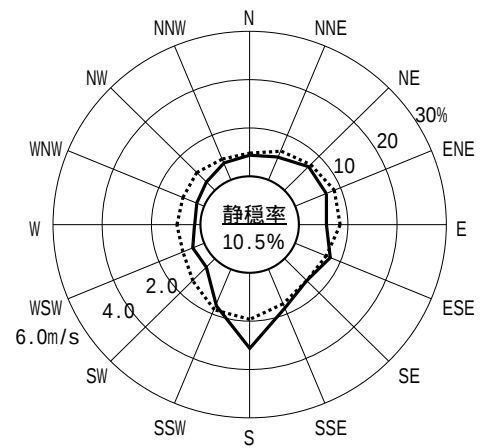
出典：「過去の気象データ検索」（令和6年7月閲覧、気象庁ホームページ）

図 3.2-1 気温及び降水量の状況（越谷地域気象観測所：令和 5 年）

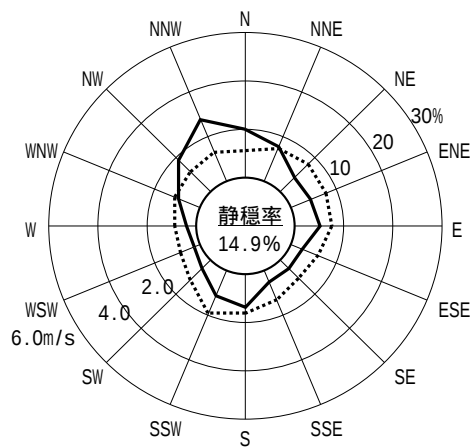
【春季：3月～5月】



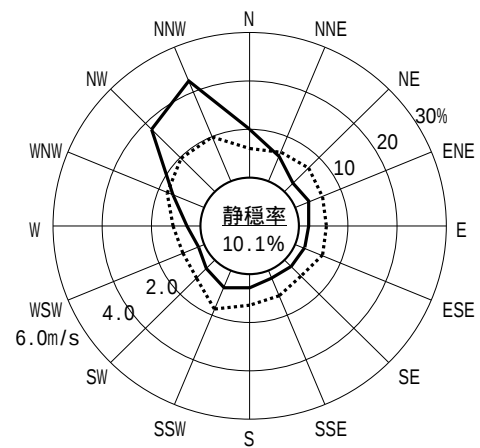
【夏季：6月～8月】



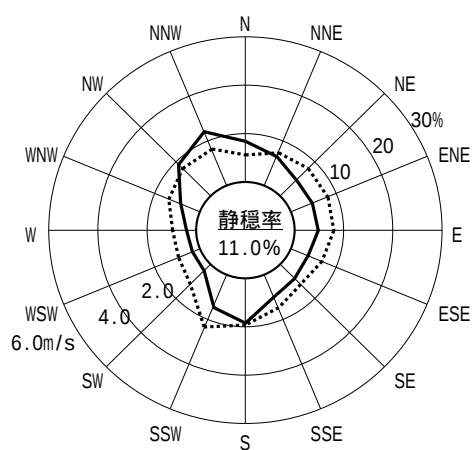
【秋季：9月～11月】



【冬季：12月～2月】



【年間】



— 風向出現頻度 (%)
..... 平均風速 (m/s)

出典：「過去の気象データ検索」（令和6年7月閲覧、気象庁ホームページ）

図 3.2-2 風配図（越谷地域気象観測所：令和5年）

(2) 大気質

対象事業実施区域及びその周囲には、一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）が4箇所（埼玉県3局、東京都1局）、自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）が4箇所（埼玉県4局）、ダイオキシン類調査地点が4箇所（埼玉県3局、東京都1局、川口市1局）、有害大気汚染物質調査地点が3地点（埼玉県3局、東京都1局）存在する。

測定局の測定項目は表 3.2-3 に、測定局の位置は図 3.2-3 に示すとおりである。

表 3.2-3 測定項目

区 分		測定局	二酸化硫黄	二酸化窒素	一酸化炭素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	炭化水素	ダイオキシン類	有害大気汚染物質
埼玉県	一般局	川口市横曽根		○			○				
		川口市南平	○	○		○	○	○	○	○	○
		川口市新郷		○		○	○				
	自排局	川口市安行		○			○		○		
		川口市神根		○	○		○	○			○
		草加市花栗自排	○	○			○	○		○	○
		草加市原町自排		○			○				
	東京都 一般局	足立区西新井	○	○		○	○	○	○	○	○
川口市		安行東小学校								○	

出典：「令和4年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和6年3月、埼玉県）

「大気汚染常時測定局測定結果報告 2022（令和4）年度年報」（令和6年1月、東京都）

「令和4年度 有害大気汚染物質常時監視等の結果」（令和5年8月、埼玉県）

「令和4年度 ダイオキシン類大気常時監視結果について」（令和5年8月 埼玉県）

1) 二酸化硫黄

二酸化硫黄の令和4年度における測定結果は、表3.2-4に示すとおりであり、環境基準を達成している。

平成30年度から令和4年度における二酸化硫黄の経年変化は、図3.2-4に示すとおりである。年平均地の経年変化はおおむね横ばいで推移し、いずれの年度も環境基準を達成している。

表 3.2-4 二酸化硫黄の測定結果（令和4年度）

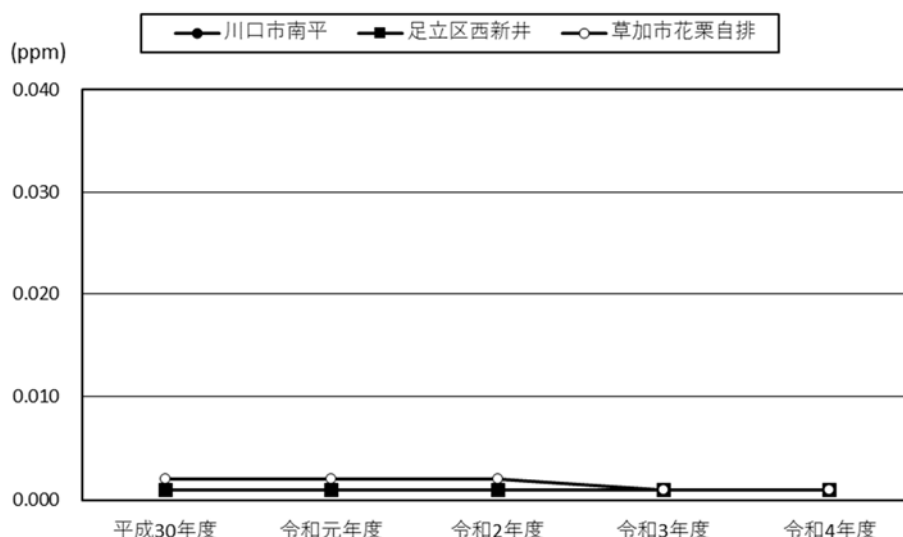
測定局		年平均値 (ppm)	1時間値が 0.1ppmを 超えた時間 (時間)	日平均値が 0.04ppmを 超えた日数 (日)	1時間値 の最高値 (ppm)	日平均値 の2% 除外値 (ppm)	1日平均値が 0.04ppmを 超えた日が 2日以上連続 したことの有無 (有・無)	環境基準	
								長期的 評価	短期的 評価
一般局	川口市南平	0.001	0	0	0.008	0.002	無	○	○
	足立区西新井	0.001	0	0	0.009	0.002	無	○	○
自排局	草加市花栗自排	0.001	0	0	0.005	0.002	無	○	○

注) 環境基準及び評価方法は以下のとおりである。

環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。

長期的評価：1時間値の1日平均値の2%除外値が0.04ppm以下であり、かつ、1日平均値が0.04ppmを超える日が2日以上連続しないこと。

短期的評価：1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。



出典：「令和4年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和6年3月、埼玉県）
「大気汚染常時測定局測定結果報告 2022（令和4）年度年報」
（令和6年1月、東京都）

図 3.2-4 二酸化硫黄の経年変化(年平均値)

2) 二酸化窒素

二酸化窒素の令和4年度における測定結果は、表3.2-5に示すとおりであり、環境基準を達成している。

平成30年度から令和4年度における二酸化窒素の経年変化は、図3.2-5に示すとおりである。日平均値の年間98%値はやや減少傾向であり、いずれの年度も環境基準を達成している。

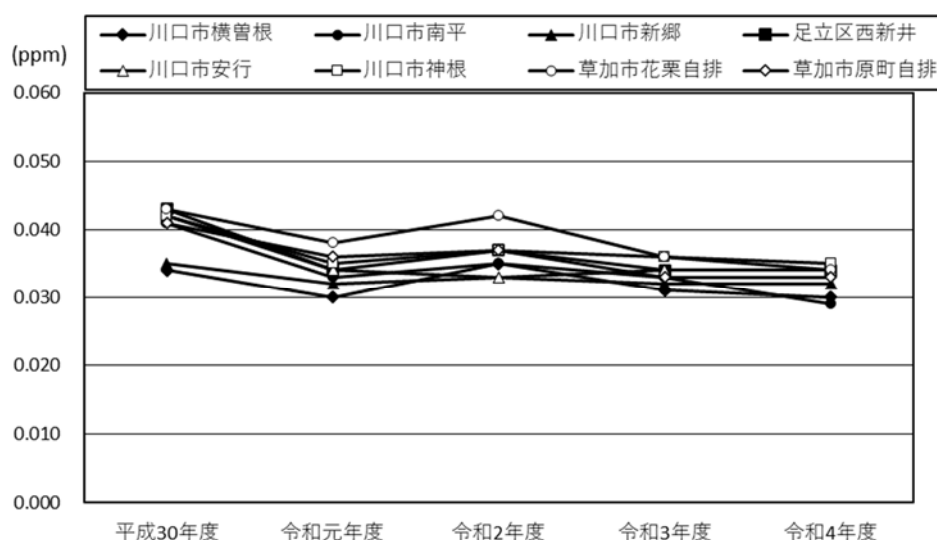
表 3.2-5 二酸化窒素の測定結果（令和4年度）

測定局		年平均値	1時間の 最高値	日平均値が 0.06ppmを 超えた日数と その割合		日平均値が 0.04ppm以上 0.06ppm以下 の日数と その割合		日平均値の 年間98%値	98%値評価 による 日平均値が 0.06ppmを 超えた日数	環境基準 達成:○ 非達成:×
				(日)	(%)	(日)	(%)			
		(ppm)	(ppm)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(日)	
一般局	川口市横曽根	0.012	0.103	0	0.0	1	0.3	0.030	0	○
	川口市南平	0.014	0.072	0	0.0	1	0.3	0.029	0	○
	川口市新郷	0.013	0.075	0	0.0	1	0.3	0.032	0	○
	足立区西新井	0.014	0.076	0	0.0	1	0.3	0.034	0	○
自排局	川口市安行	0.016	0.069	0	0.0	1	0.3	0.034	0	○
	川口市神根	0.018	0.077	0	0.0	1	0.3	0.035	0	○
	草加市花栗自排	0.016	0.069	0	0.0	1	0.3	0.034	0	○
	草加市原町自排	0.017	0.071	0	0.0	1	0.3	0.033	0	○

注) 環境基準及び評価方法は、以下のとおりである。

環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

評価：1時間値の1日平均値の年間98%値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。



出典：「令和4年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和6年3月、埼玉県）

「大気汚染常時測定局測定結果報告 2022（令和4）年度年報」

（令和6年1月、東京都）

図 3.2-5 二酸化窒素の経年変化(年間 98%値)

3) 一酸化炭素

一酸化炭素の令和4年度における測定結果は、表3.2-6に示すとおりであり、各測定局ともに環境基準を達成している。

平成30年度から令和4年度における一酸化炭素の経年変化は、図3.2-6に示すとおりである。年平均値の経年変化はおおむね横ばいで推移し、いずれの年度も環境基準を達成している。

表 3.2-6 一酸化炭素の測定結果（令和4年度）

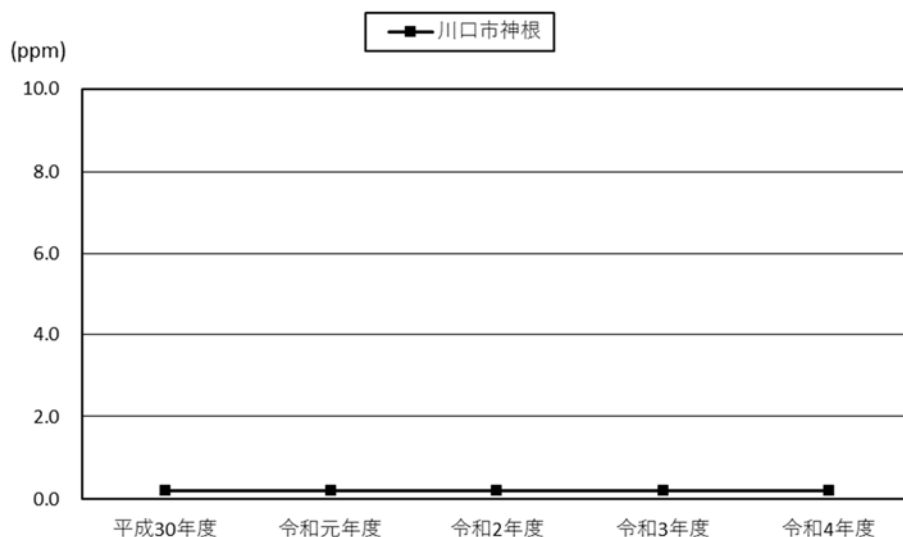
測定局	年平均値	8時間平均値が20ppmを超えた回数	日平均値が10ppmを超えた日数	1時間値の最高値	日平均値の2%除外値	日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準	
							長期的評価	短期的評価
	(ppm)	(回)	(日)	(ppm)	(ppm)	(有・無)	達成:○	非達成:×
自排局 川口市神根	0.2	0	0	1.2	0.4	無	○	○

注) 環境基準及び評価方法は以下のとおりである。

環境基準：1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。

長期的評価：1時間値の1日平均値の2%除外値が10ppm以下であり、かつ、1日平均値が10ppmを超える日が2日以上連続しないこと。

短期的評価：1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、午前0時～午前8時、午前8時～午後4時、午後4時～午後12時の各時間帯8時間平均値が20ppm以下であること。ただし、各時間帯の8時間のうち有効測定時間が6時間以上である場合のみ評価対象とする。



出典：「令和4年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和6年3月、埼玉県）

図 3.2-6 一酸化炭素の経年変化（年平均値）

4) 光化学オキシダント

光化学オキシダントの令和4年度における測定結果は、表 3.2-7 に示すとおりであり、環境基準を達成していない。

平成30年度から令和4年度における光化学オキシダントの昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数の経年変化は、図 3.2-7 に示すとおりである。昼間1時間値が0.06ppmを超えた時間数は300～400時間の範囲内で変動がみられ、いずれの年度も環境基準を達成していない。

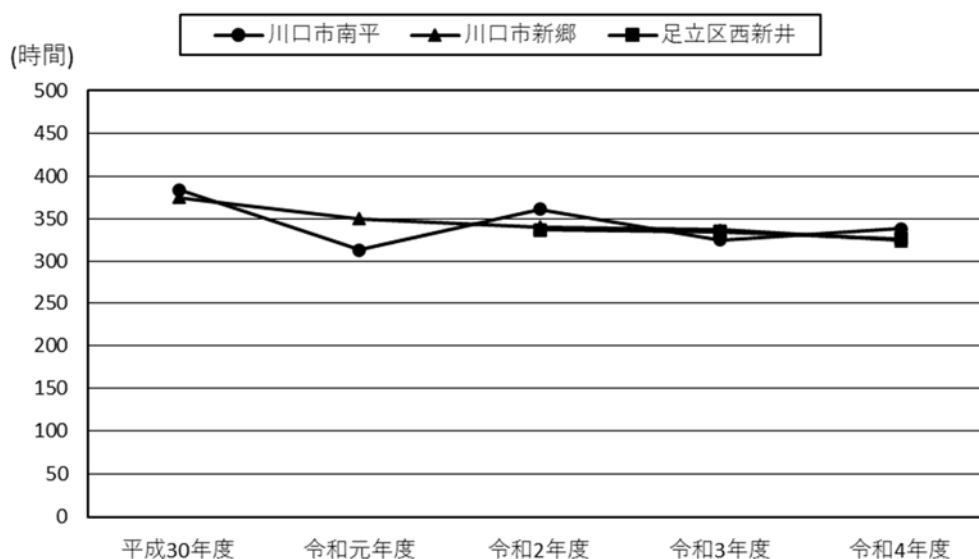
表 3.2-7 光化学オキシダントの測定結果（令和 4 年度）

測定局名		昼間の 1 時間値の 年平均値	昼間の 1 時間値の 最高値	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を 超えた日数と時間 数		昼間の 1 時間値が 0.12ppm を 超えた時間数		環境 基準
		(ppm)	(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)	達 成：○ 非達成：×
一般局	川口市南平	0.035	0.158	72	338	3	6	×
	川口市新郷	0.032	0.158	67	324	4	7	×
	足立区西新井	0.032	0.183	67	326	3	8	×

注）環境基準及び評価方法は以下のとおりである。

環境基準：1時間値が0.06ppm以下であること。

評 価：昼間（5時～20時）の1時間値が0.06ppm以下であること。



注）足立区西新井は平成 30 年度、令和元年度のデータなし。

出典：「令和4年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和6年3月、埼玉県）

「大気汚染常時測定局測定結果報告 2022（令和 4）年度年報」

（令和6年1月、東京都）

図 3.2-7 光化学オキシダントの経年変化
(昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた時間数)

5) 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の令和 4 年度における測定結果は、表 3.2-8 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

平成 30 年度から令和 4 年度における浮遊粒子状物質の経年変化は、図 3.2-8 に示すとおりである。日平均値の 2%除外値は、減少傾向であるが令和 3 年度から令和 4 年度にかけて上昇した。いずれの年度も環境基準を達成している。

表 3.2-8 浮遊粒子状物質の測定結果（令和 4 年度）

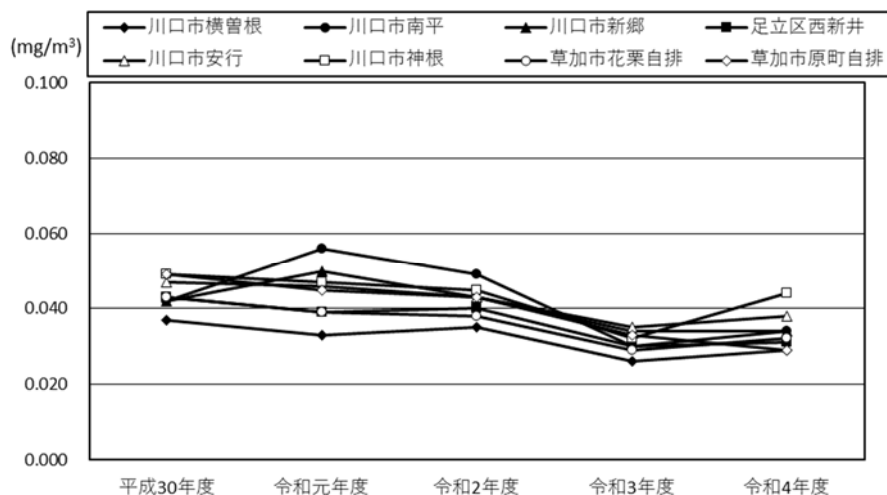
測定局		年平均値	1 時間値が 0.20mg/m ³ を超えた 時間数と その割合	日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた 日数と その割合	1時間の 最高値	日平均値の 2 %除外値	日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日が 2 日以上 連続した ことの有無	環境基準	
								長期的 評価	短期的 評価
				(ppm)	(時間)	(日)	(ppm)	(ppm)	(有・無)
一般局	川口市横曽根	0.013	0	0	0.086	0.029	無	○	○
	川口市南平	0.016	0	0	0.117	0.034	無	○	○
	川口市新郷	0.015	0	0	0.180	0.034	無	○	○
	足立区西新井	0.013	0	0	0.086	0.310	無	○	○
自排局	川口市安行	0.016	0	0	0.112	0.038	無	○	○
	川口市神根	0.018	0	0	0.158	0.044	無	○	○
	草加市花栗自排	0.015	0	0	0.091	0.032	無	○	○
	草加市原町自排	0.014	0	0	0.098	0.029	無	○	○

注）環境基準及び評価方法は以下のとおりである。

環 境 基 準：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。

長期的評価：1時間値の1日平均値の2%除外値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1日平均値が0.10mg/m³を超える日が2日以上連続しないこと。

短期的評価：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。



出典：「令和4年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和6年3月、埼玉県）
「大気汚染常時測定局測定結果報告 2022（令和4）年度年報」
（令和6年1月、東京都）

図 3.2-8 浮遊粒子状物質の経年変化（2%除外値）

6) 微小粒子状物質

微小粒子状物質の令和4年度における測定結果は、表3.2-9に示すとおりであり、各測定局ともに環境基準を達成している。

平成30年度から令和4年度における微小粒子状物質の経年変化は、図3.2-9に示すとおりである。各測定局ともに1日平均値の年間98%値は減少傾向であり、いずれの年度も環境基準を達成している。

表 3.2-9 微小粒子状物質の測定結果（令和4年度）

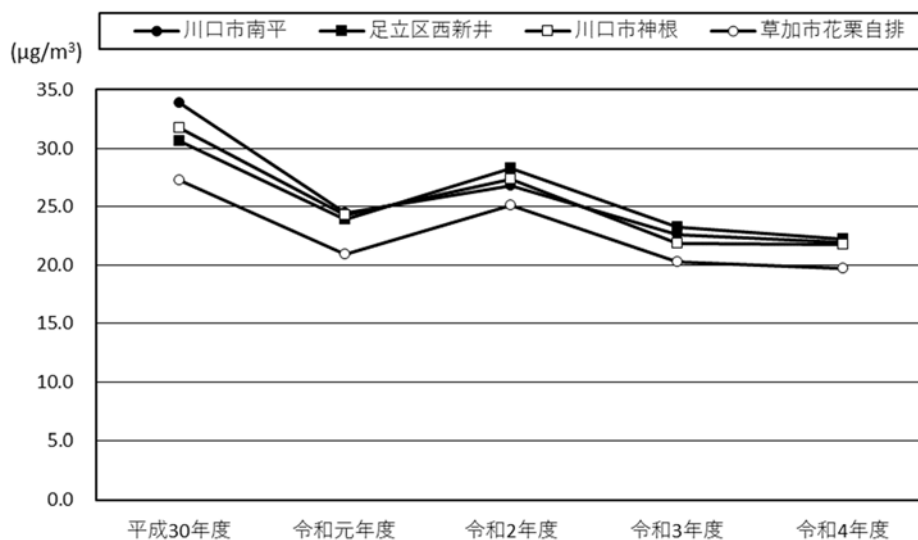
測定局名		日平均値の 年平均値	日平均値の 年間98%値	日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を 超えた日数とその割合		環境基準	
		($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	(日)	(%)	長期的 評価	短期的 評価
一般局	川口市南平	10.6	22.0	0	0.0	○	○
	足立区西新井	8.4	22.2	0	0.0	○	○
自排局	川口市神根	10.3	21.8	0	0.0	○	○
	草加市花栗自排	8.5	19.7	0	0.0	○	○

注) 環境基準及び評価方法は以下のとおりである。

環境基準：1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

長期的評価：1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。ただし、1日のうち有効測定時間が20時間以上ある日が250日以上ある場合のみを評価対象とする。

短期的評価：1時間値の1日平均値の98%値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。



出典：「令和4年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和6年3月、埼玉県）
「大気汚染常時測定局測定結果報告 2022（令和4）年度年報」
（令和6年1月、東京都）

図 3.2-9 微小粒子状物質の経年変化（年間 98%値）

7) 炭化水素

非メタン炭化水素の令和4年度における測定結果は、表 3.2-10 に示すとおりであり、いずれの測定局も指針値を上回っている。

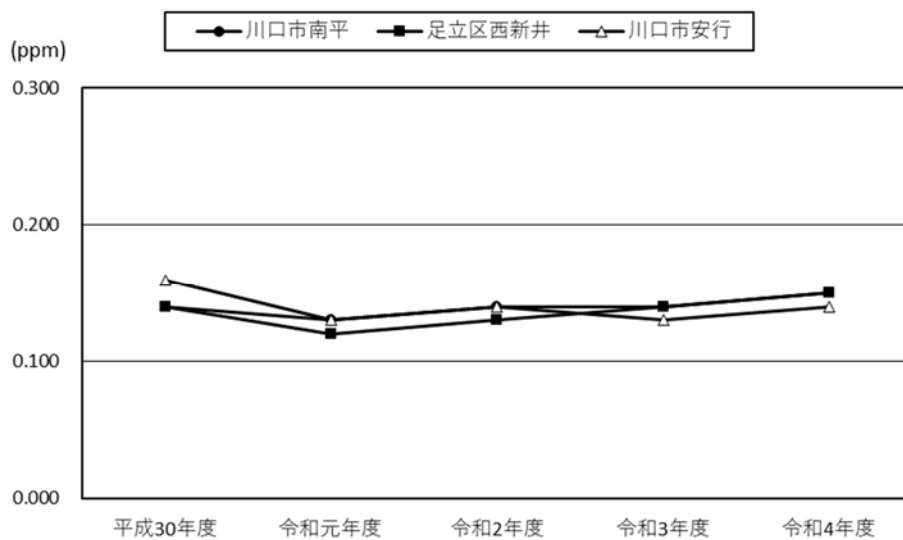
平成30年度から令和4年度における非メタン炭化水素の午前6時～9時の年平均値は、図 3.2-10 に示すとおりである。各測定局ともに年平均値はおおむね横ばいで推移し、いずれの年度も指針値を上回っている。

表 3.2-10 非メタン炭化水素の測定結果（令和4年度）

測定局名		年平均値	6～9時における年平均値	6～9時の3時間平均値の最高値	6～9時の3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数とその割合	6～9時の3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数とその割合	指針との比較 達成:○ 非達成:×
		(ppmC)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	(日)	
一般局	川口市南平	0.20	0.15	0.81	70	30	×
	足立区西新井	0.15	0.15	0.94	77	25	×
自排局	川口市安行	0.14	0.14	0.72	57	20	×

注) 指針値は以下のとおりである。

指針値：午前6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値は、0.20ppmCから0.31ppmCの範囲にあること。



出典：「令和4年度 大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和6年3月、埼玉県）
「大気汚染常時測定局測定結果報告 2022（令和4）年度年報」
（令和6年1月、東京都）

図 3.2-10 非メタン炭化水素の午前6時から9時の年平均値の経年変化

8) ダイオキシン類

ダイオキシン類の令和 4 年度における測定結果は、表 3.2-11 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

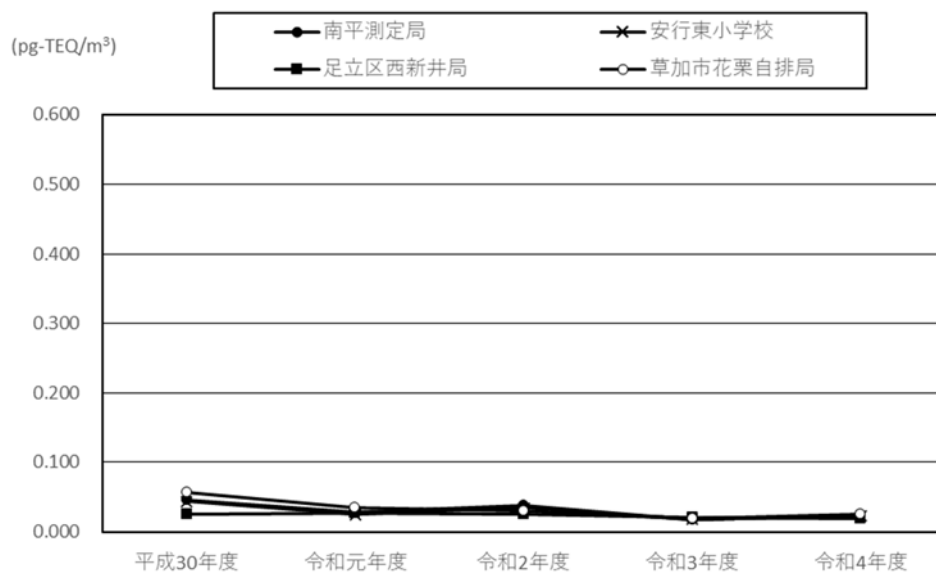
平成 30 年度から令和 4 年度におけるダイオキシン類の経年変化は、図 3.2-11 に示すとおりである。年間平均値はおおむね横ばいで推移し、いずれの年度も環境基準を達成している。

表 3.2-11 ダイオキシン類の測定結果(大気質)

区分	調査地点	調査結果 (pg-TEQ/m ³)					環境基準
		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	平均値	
一般環境	南平測定局	-	0.019	-	0.026	0.023	○
	安行東小学校	-	0.012	-	0.034	0.023	○
	足立区西新井局	0.013	0.013	0.029	0.022	0.019	○
沿道環境	草加市花栗自排局	-	0.020	-	0.031	0.026	○

注) 環境基準及び評価方法は以下のとおりである。

環境基準：1年平均値が0.6 pg-TEQ/m³以下であること。



出典：「令和 4 年度 ダイオキシン類大気常時監視結果について」

(令和 5 年 8 月、埼玉県)

「2022(令和 4)年度東京都内における環境中のダイオキシン類調査結果について」(令和 5 年 7 月、東京都)

「令和 4 年度ダイオキシン類測定結果について」

(令和 6 年 7 月閲覧、川口市ホームページ)

図 3.2-11 ダイオキシン類の経年変化 (年平均値)

9) 有害大気汚染物質

有害大気汚染物質の令和4年度における測定結果は、表 3.2-12 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

表 3.2-12 有害大気汚染物質の測定結果（令和4年度）

単位：μg/m³

	地点名	ベンゼン	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	ジクロロメタン
一般環境	南平測定局	0.81	1.7	0.73	2.4
	足立区西新井	1	1.8	0.36	2.0
沿道環境	草加市花栗自排測定局	0.92	0.97	0.13	1.7
	神根測定局	0.8	—	—	—

注）環境基準は以下のとおりである。

ベンゼン：3 μg/m³

トリクロロエチレン：130 μg/m³

テトラクロロエチレン：200 μg/m³

ジクロロメタン：150 μg/m³

出典：「令和4年度 有害大気汚染物質常時監視等の結果」（令和5年8月、埼玉県）

「有害大気汚染物質モニタリング調査結果（令和4年度平均）」

（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）

(3) 騒音・低周波音

1) 環境騒音

対象事業実施区域及びその周囲において、環境騒音の調査は行われていない。

2) 自動車交通騒音

対象事業実施区域及びその周囲における令和 4 年度の自動車交通騒音調査の結果は表 3.2-13、自動車交通騒音の調査地点は図 3.2-12 に示すとおりである。

埼玉県 of 自動車交通騒音は、評価区間においては、昼夜ともに面的評価において一部で環境基準を超過している。なお、令和 4 年度の点的評価の調査地点は対象事業実施区域及びその周囲にはなかった。

東京都の自動車交通騒音は、常時監視測定と要請限度測定が行われている。対象事業実施区域及びその周囲の調査地点において、昼夜ともに環境基準を満足していたのは、北区赤羽西 2 丁目 8 番と足立区入谷 1 丁目 16 番のみであった。要請限度を超過していた地点はなかった。

表 3.2-13(1) 自動車騒音の環境適合状況（埼玉県 面的評価）

No.	評価対象道路	評価区間		評価 区間の 延長 (km)	測定地点に おける 等価騒音 レベル (dB)		評価 対象 住居等 戸数 (戸)	昼間、 夜間とも 基準値 以下 (%)
		始点	終点		昼間	夜間		
1	高速川口線	川口市東領家5丁目1番	川口市東領家5丁目4番	0.3	—	—	3	100.0%
2	一般国道122号	川口市大字里	川口市大字辻	0.7	—	—	310	79.7%
3	一般国道122号	川口市大字辻	川口市南鳩ヶ谷1丁目3番	0.7	—	—	255	79.6%
4	一般国道122号	川口市南鳩ヶ谷1丁目3番	川口市南鳩ヶ谷1丁目1番	0.2	—	—	14	100.0%
5	一般国道122号	川口市南鳩ヶ谷1丁目1番	川口市南鳩ヶ谷3丁目4番	0.3	—	—	139	74.1%
6	一般国道122号	川口市南鳩ヶ谷3丁目4番	川口市末広1丁目10番	1.4	70	67	666	86.5%
7	一般国道122号	川口市末広1丁目10番	川口市本町1丁目17番	1.2	67	64	1,238	100.0%
8	一般国道298号	川口市大字伊刈	川口市大字神戸	2.3	59	58	814	93.0%
9	一般国道298号	川口市大字西新井宿	川口市大字石神	0.4	—	—	9	100.0%
10	一般国道298号	川口市大字石神	川口市大字安行吉蔵98番	3.1	65	64	302	95.0%
11	県道さいたま川口線	川口市柳崎3丁目	川口市柳崎1丁目20番	0.3	67	63	114	100.0%
12	県道さいたま川口線	川口市柳崎1丁目20番	川口市大字安行領根岸	0.7	—	—	194	100.0%
13	県道さいたま川口線	川口市大字安行領根岸	川口市大字道合	0.4	—	—	108	100.0%
14	県道さいたま草加線	川口市大字芝	川口市大字安行領根岸	1.4	65	61	276	100.0%
15	県道さいたま草加線	川口市大字道合	川口市大字安行領根岸	0.5	—	—	91	76.9%
16	県道さいたま草加線	川口市大字道合	川口市大字安行領根岸	0.3	—	—	8	75.0%
17	県道さいたま草加線	川口市大字里	川口市大字里	0.4	69	65	161	100.0%
18	県道さいたま草加線	川口市大字里	川口市大字里	0.6	—	—	225	74.7%
19	県道さいたま草加線	川口市大字里	川口市大字辻	1.0	—	—	465	98.7%
20	県道さいたま草加線	川口市大字辻	川口市赤井1丁目31番	1.2	62	58	566	99.6%
21	県道さいたま草加線	川口市赤井2丁目4番	川口市赤井4丁目31番	0.2	—	—	66	78.8%
22	県道川口上尾線	川口市芝1丁目1番	川口市大字芝7201番	2.4	65	61	1,211	99.6%
23	県道台東川口線	川口市榛松1丁目1番	川口市赤井2丁目4番	2.1	64	60	152	100.0%
24	県道吉場安行東京線	川口市大字木曽呂	川口市大字安行	4.0	65	61	1,071	99.8%
25	県道川口草加線	川口市元郷6丁目14番	川口市弥平3丁目17番	1.3	68	62	666	100.0%
26	県道さいたま鳩ヶ谷線	川口市桜町6丁目1番	川口市南鳩ヶ谷1丁目4番	1.4	—	—	1,128	100.0%
27	県道東京鳩ヶ谷線	川口市八幡木3丁目	川口市南鳩ヶ谷1丁目3番	2.1	65	59	612	99.8%
28	県道東京川口線	川口市東領家5丁目3番	川口市末広1丁目10番	2.9	67	64	1,347	99.9%
29	県道蕨桜町線	川口市上青木町	川口市鳩ヶ谷本町1丁目15番	1.3	—	—	532	100.0%
30	県道足立川口線	川口市東領家5丁目4番	川口市東領家4丁目	1.3	68	64	155	77.4%
31	県道足立川口線	川口市江戸袋2丁目6番	川口市本蓮	1.4	69	65	187	98.9%
32	県道根岸本町線	川口市大字安行領根岸	川口市大字安行領根岸	0.8	—	—	172	100.0%
33	県道さいたま草加線	草加市苗塚	草加市小山2丁目2番	0.4	66	65	26	100.0%
34	県道さいたま草加線	草加市小山2丁目2番	草加市花栗3丁目1番	0.8	66	65	283	99.6%
35	県道さいたま草加線	草加市小山2丁目40番	草加市小山2丁目2番	0.3	66	65	35	100.0%
36	県道金明町鳩ヶ谷線	草加市旭町3丁目2番	草加市新善町	1.3	63	59	738	100.0%
37	県道金明町鳩ヶ谷線	草加市新善町	草加市原町3丁目	1.4	63	59	565	100.0%

注) No.は図 3.2-12と対応している。

出典：「令和4年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」（令和6年4月、埼玉県）

表 3.2-13(2) 自動車騒音の状況（東京都 常時監視測定地点）

No.	測定地点の住所	用途 地域	環境 基準 類型	評価対象道路			等価騒音 レベル (dB)	
				路 線 名	車線 数	道路 種別	昼間	夜間
38	北区赤羽西2丁目8番	4	C	中十条赤羽線	2	都道	61	56
39	足立区鹿浜2丁目14番	3	B	高速川口線(3)	4	首都高	64	62
40	足立区江北1丁目32番	4	C	主要都道58号台東川口線(1)	4	都道	69	66
41	足立区入谷1丁目16番	3	B	一般都道104号川口草加線	2	都道	61	56

注1) No.は図 3.2-12と対応している。

2) 網掛けは環境基準超過を示す。

3) 環境基準は以下のとおりである。

B類型で2車線以上の車線を有する道路に面する地域 昼間：65dB以下 夜間60dB以下

C類型で車線を有する道路に面する地域 昼間:65dB以下 夜間60dB以下

出典：「令和4年度 自動車交通騒音・振動調査結果」（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）

表 3.2-13(3) 自動車騒音の状況（東京都 要請限度測定地点）

No.	道路名	測定地点	区域の 区分	道路 種別	車線 数	等価騒音 レベル(dB)	
						昼間	夜間
42	一般国道122号	北区岩淵町26番6番	c	一般国道	4	68	66
43	一般国道122号	北区志茂3丁目46番8番	c	一般国道	6	70	66
44	都道環状8号線	北区赤羽北1丁目12番1	c	都道	4	67	64
45	都道環状7号線	足立区新田2丁目4番	c	都道	4	71	69
46	都道王子金町江戸川線	足立区西新井本町2丁目3番1	c	都道	2	63	58

注1) No.は図 3.2-12と対応している。

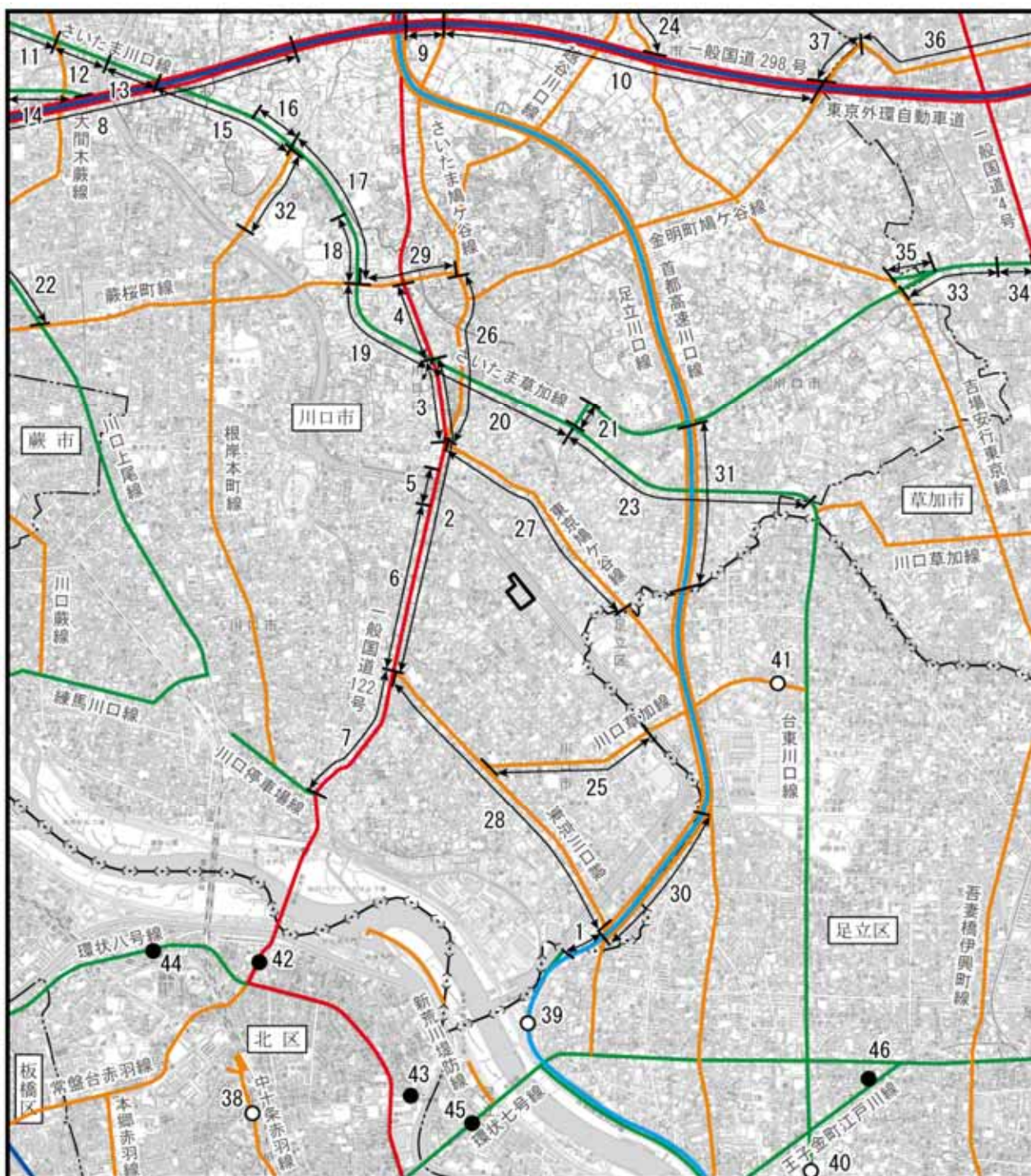
2) 要請限度は以下のとおりである。

c区域 昼間:75dB以下 夜間70dB以下

出典：「令和4年度 自動車交通騒音・振動調査結果」（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）

3) 低周波音

対象事業実施区域及びその周囲において、低周波音の調査は行われていない。



凡 例

- : 対象事業実施区域
- >—>— : 都県界
- : 市界・区界
- |<—>| : 自動車騒音評価区間（面的評価）
- : 自動車騒音常時監視測定地点
- : 自動車騒音要請限度測定地点

図 3.2-12 自動車交通騒音調査地点位置図

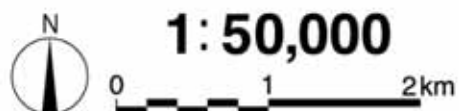
- : 高速自動車国道
- : 都市高速道路
- : 一般国道
- : 主要地方道
- : 一般都道府県道

出典：

「環境GIS 自動車騒音の常時監視結果 Light版」

（令和6年7月閲覧、国立環境研究所ホームページ）

「令和4年度 自動車交通騒音・振動調査結果」（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）



この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

(4) 振動

1) 環境振動

対象事業実施区域及びその周囲において、環境振動の調査は行われていない。

2) 道路交通振動

対象事業実施区域及びその周囲における令和４年度の自動車交通振動調査の結果は表 3.2-14 に、自動車交通振動の調査地点は図 3.2-13 に示すとおりであり、全ての地点で要請限度を達成している。

表 3.2-14 道路交通振動の状況(埼玉県)

No.	路線名	測定地点の住所	区域 区分	車線数	振動レベル (dB)	
					昼	夜
1	一般国道122号	川口市朝日3丁目4番付近	1	4	45	42
2	県道さいたま川口線	川口市柳崎1丁目19番付近	1	4	42	35
3	県道さいたま草加線	川口市里1190番付近	1	4	44	35
4	県道台東川口線	川口市江戸1丁目18番付近	2	4	43	37
5	県道東京川口線	川口市領家3丁目14番付近	2	2	42	38
6	県道大間木蔵線	川口市柳崎1丁目23番付近	1	2	32	26

注1) No.は図 3.2-13と対応している。

2) 要請限度は以下のとおりである。

第1種区域 昼間：65dB 夜間：60dB

第2種区域 昼間：70dB 夜間：65dB

出典：「令和4年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」（令和6年4月、埼玉県）

(5) 悪臭

対象事業実施区域及びその周囲において、悪臭の調査は行われていない。

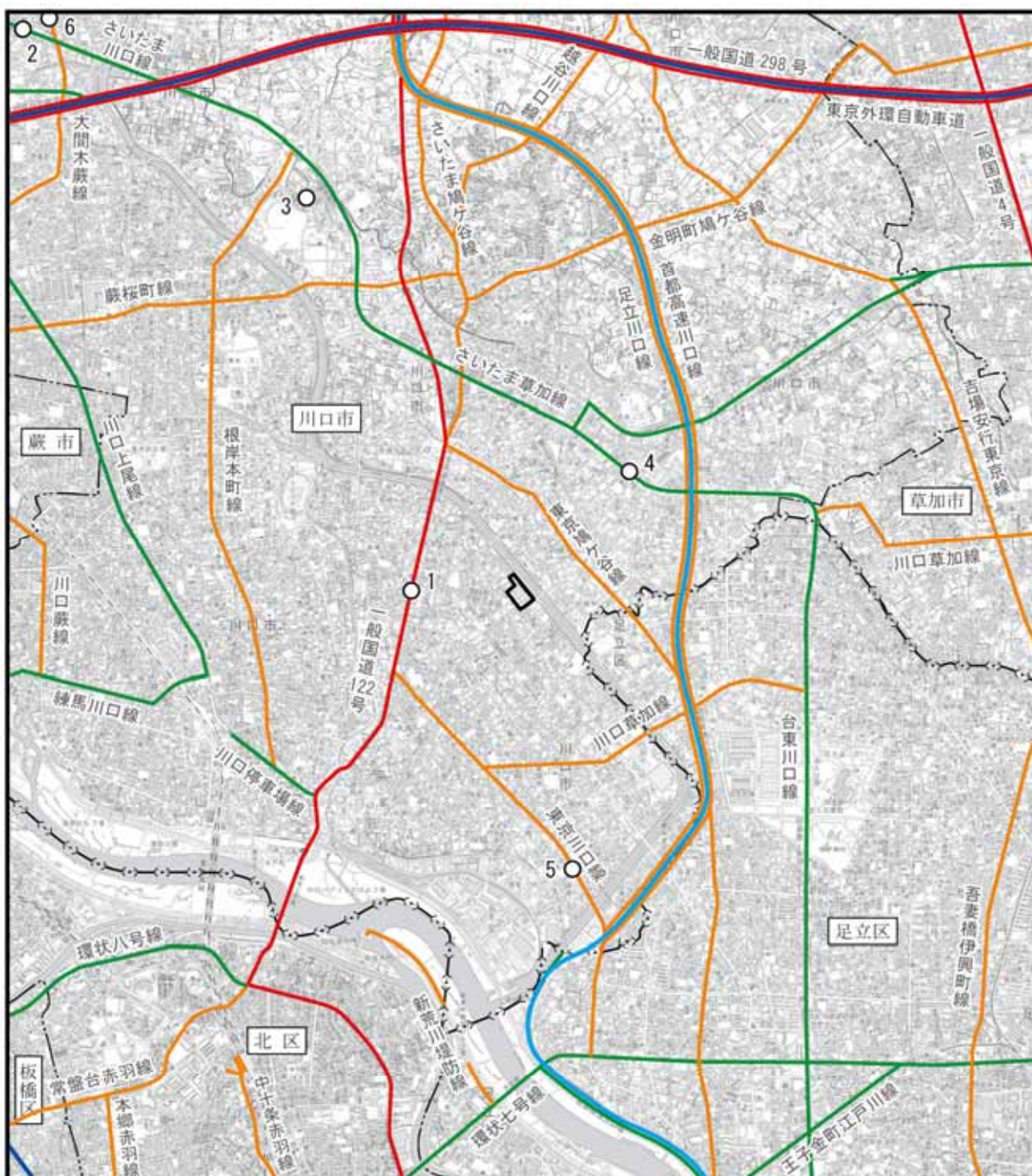


図 3.2-13 道路交通振動調査地点位置図

凡 例

□ : 対象事業実施区域

⋯⋯ : 都県界

--- : 市界・区界

○ : 自動車交通振動測定地点

— : 高速自動車国道

— : 都市高速道路

— : 一般国道

— : 主要地方道

— : 一般都道府県道

出典 :

「令和4年度 自動車交通騒音・振動調査結果」

(令和6年7月閲覧、東京都ホームページ)



1:50,000

0 1 2km

この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

3.2.2. 水質、底質、水象等の状況

(1) 水象

対象事業実施区域及びその周囲における河川等の状況は、図 3.2-14 に示すとおりである。

対象事業実施区域の近傍には、埼玉県管理の一級河川、新芝川が流れている。また、対象事業実施区域の周囲には荒川、芝川、竪川、毛長川が流れている。

(2) 水質

対象事業実施区域及びその周囲における水質測定地点の概要は表 3.2-15 に、水質測定地点は図 3.2-13 に示すとおりである。

令和 4 年度における生活環境項目の測定結果は表 3.2-16 に、令和 4 年度における健康項目の測定結果は、表 3.2-17 に示すとおりである。

また、令和 4 年度における河川水質のダイオキシン類の測定結果は表 3.2-18 に示すとおりである。

表 3.2-15 水質測定地点の概要

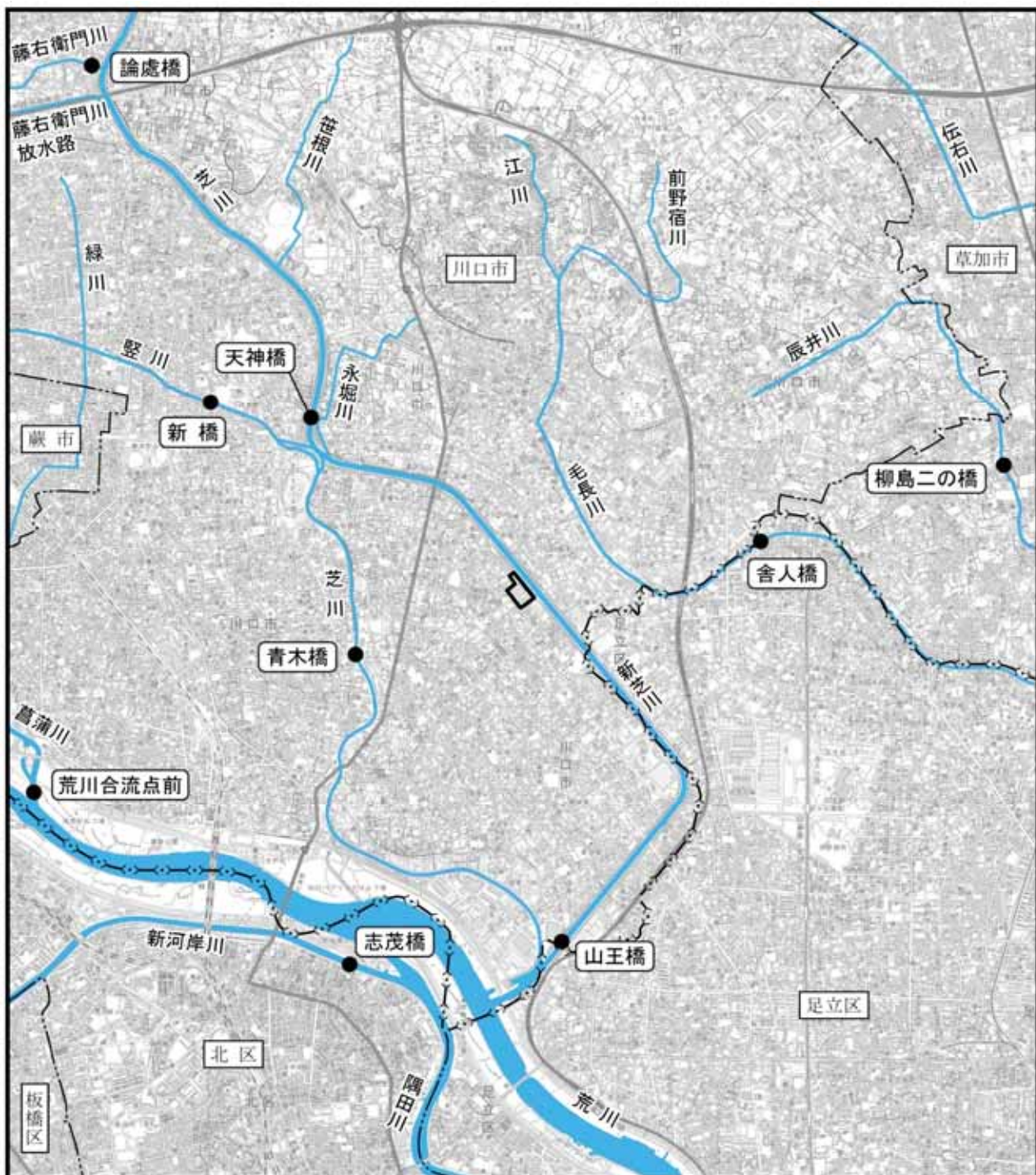
河川名	測定地点	所在地	測定対象	環境基準類型	
芝川	天神橋	川口市	生活環境項目、健康項目	D	生物B
	青木橋	川口市	生活環境項目、健康項目		
新芝川	山王橋	東京都足立区 川口市	生活環境項目、健康項目	D	生物B
藤右衛門川	論處橋	川口市	生活環境項目、健康項目	—	—
竪川	新橋	川口市	生活環境項目、健康項目	—	—
毛長川	舎人橋	川口市	生活環境項目、健康項目	—	—
菖蒲川	荒川合流点前	川口市 戸田市	生活環境項目、健康項目	—	—
辰井川	柳島二の橋	草加市	生活環境項目	—	—
新河岸川	志茂橋	北区	生活環境項目、健康項目	C	—

出典：「令和4年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（令和6年3月、埼玉県）

「令和4年度公共用水域水質測定結果について」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

「草加の環境 令和5年版」（令和6年2月、草加市）

「令和4年度 公共用水域水質測定結果」（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）



凡 例

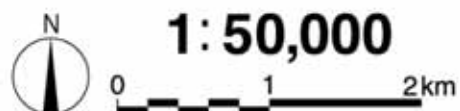
- : 対象事業実施区域
- : 都県界
- : 市界・区界

- : 河 川
- : 水質調査地点

図 3.2-14 河川図及び水質調査地点図

出典：

- 「令和4年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」(令和6年3月、埼玉県)
- 「令和4年度公共用水域水質測定結果について」(令和6年7月閲覧、川口市ホームページ)
- 「草加の環境 令和5年版」(令和6年2月、草加市)
- 「令和4年度 公共用水域水質測定結果」(令和6年7月閲覧、東京都ホームページ)



この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

表 3.2-16(1) 水質測定結果(生活環境項目：令和4年度)

河川名		芝川		新芝川	藤右衛門川	堅川	毛長川	環境基準
水域類型		D		D	—	—	—	D
		生物B		生物B	—	—	—	生物B
地点名		天神橋	青木橋	山王橋	論處橋	新橋	舎人橋	
pH(平均値)		7.4	7.2	7.3	7.7	7.7	7.6	—
pH(最大値)		7.7	7.4	8.2	8.1	8.4	7.8	8.5以下
pH(最小値)	(mg/L)	7.2	7.0	7.1	7.5	7.4	7.3	6.0以上
DO(平均値)	(mg/L)	6.5	4.6	6.1	7.4	6.9	7.3	—
DO(最小値)	(mg/L)	4.4	2.9	4.3	5.2	4.0	5.2	2以上
BOD	(mg/L)	3.3	9.8	2.9	2.7	2.5	2.7	—
BOD (75%値)	(mg/L)	4.0	12.0	4.2	2.7	3.6	3.3	8以下
COD	(mg/L)	5.7	20.0	5.1	4.0	4.5	4.6	—
SS(平均値)	(mg/L)	15.0	12.0	18.0	4.0	10.0	5.0	—
SS(最大値)	(mg/L)	27.0	18.0	30.0	8.0	21.0	14.0	100以下
大腸菌数	(CFU/100mL)	—	—	1,300	3,500	—	—	—
n-ヘキサン抽出物質	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—
全窒素	(mg/L)	—	—	5.2	4.1	—	—	—
全りん	(mg/L)	—	—	0.26	0.20	—	—	—
全亜鉛	(mg/L)	0.017	0.014	0.017	0.009	0.016	0.013	0.03以下
ノニルフェノール	(mg/L)	—	—	0.00006	<0.00006	—	—	0.002以下
L A S	(mg/L)	—	—	0.0034	0.014	—	—	0.05以下

注1) 空欄は類型が指定されていないことを示す。

2) 「—」は測定がないことを示す。

出典：「令和4年度公共用水域水質測定結果について」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

表 3.2-16(2) 水質測定結果(生活環境項目：令和４年度)

河川名		菖蒲川	新河岸川
水域類型		－	C
地点名		荒川合流点前	志茂橋
p H		7.3	7.1
B O D	(mg/L)	2.3	2.7
S S	(mg/L)	10.0	6.0
D O	(mg/L)	6.4	6.1
大腸菌数	(CFU/100mL)	8,600	4,210
全窒素	(mg/L)	6.4	9.1
全りん	(mg/L)	0.30	0.58
全亜鉛	(mg/L)	0.016	0.023
ノニルフェノール	(mg/L)	0.00009	<0.00006
L A S	(mg/L)	0.0026	0.0052

出典：「令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果」

(令和6年3月、埼玉県環境部)

「令和4年度 公共用水域水質測定結果」

(令和6年7月閲覧、東京都ホームページ)

表 3.2-16(3) 水質測定結果（生活環境項目：令和４年度）

河川名		辰井川			
地点名		柳島二の橋			
測定項目		平均	最小値	～ 最大値	75%値
pH		7.7	7.6	～ 7.9	－
DO	(mg/L)	4.5	2.6	～ 10.0	－
BOD	(mg/L)	6.0	1.9	～ 10.0	8.7
SS	(mg/L)	11.0	6.0	～ 22.0	－
全窒素	(mg/L)	7.7	6.0	～ 11.0	－
全リン	(mg/L)	1.1	0.70	～ 2.0	－

出典：「草加の環境 令和5年版」（令和6年2月 草加市）

表 3.2-17(1) 水質測定結果（健康項目：令和４年度）

単位：mg/L

河川名	芝川		新芝川	藤右衛門川	堅川	毛長川	菖蒲川	環境基準
水域類型	D		D					
類型	生物B		生物B					
地点名	天神橋	青木橋	山王橋	論處橋	新橋	舎人橋	荒川合流点前	
カドミウム	－	－	<0.0003	<0.0003	－	－	<0.0003	0.003以下
全シアン	－	－	N.D.	N.D.	－	－	<0.1	検出されないこと
鉛	－	－	0.001	<0.001	－	－	<0.001	0.01以下
六価クロム	－	－	<0.005	<0.005	－	－	<0.005	0.02以下
砒素	－	－	0.001	<0.001	－	－	0.001	0.01以下
総水銀	－	－	<0.0005	<0.0005	－	－	<0.0005	0.0005以下
P C B	－	－	N.D.	N.D.	－	－	<0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	0.006	0.002	0.002	<0.004	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0016	<0.0005	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
チウラム	－	－	<0.0006	<0.0006	－	－	<0.0006	0.006以下
シマジン	－	－	<0.0003	<0.0003	－	－	<0.0003	0.003以下
チオベンカルブ	－	－	<0.002	<0.002	－	－	<0.002	0.02以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
セレン	－	－	<0.001	<0.001	－	－	<0.001	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	－	－	3.2	2.7	－	－	2.9	10以下
ふっ素	－	－	0.12	0.09	－	－	0.10	0.8以下
ほう素	－	－	0.25	0.05	－	－	0.26	1以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下

注1) 空欄は類型が指定されていないことを示す。

2) 「－」は測定がないことを示す。

3) 網掛けは環境基準超過を示す。

出典：「令和4年度公共用水域水質測定結果について」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

「令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果」（令和6年3月、埼玉県）

表 3.2-17(2) 水質測定結果（健康項目：令和 4 年度）

単位：mg/L

河川名	新河岸川	環境基準
水域類型	C	
地点名	志茂橋	
カドミウム	<0.0003	0.003以下
全シアン	<0.1	検出されないこと
鉛	<0.002	0.01以下
六価クロム	<0.01	0.02以下
砒素	<0.005	0.01以下
総水銀	<0.0005	0.0005以下
P C B	<0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	0.001	0.02以下
四塩化炭素	<0.0002	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0002	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.0002	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.0002	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0002	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0002	0.006以下
トリクロロエチレン	<0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	<0.0002	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	0.002以下
チウラム	<0.0006	0.006以下
シマジン	<0.0003	0.003以下
チオベンカルブ	<0.0003	0.02以下
ベンゼン	<0.0002	0.01以下
セレン	<0.002	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	5.8	10以下
ふっ素	0.07	0.8以下
ほう素	0.13	1以下
1,4-ジオキサン	0.005	0.05以下

出典：「令和4年度 公共用水域水質測定結果」
（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）

表 3.2-18(1) ダイオキシン類の測定結果（河川水質）

単位：pg-TEQ/L

河川名	調査地点	測定結果		平均	環境基準
		令和4年10月24日	令和5年1月13日		
新芝川	山王橋	0.62	0.44	0.53	1以下

出典：「令和4年度ダイオキシン類測定結果について」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

表 3.2-18(2) ダイオキシン類の測定結果（河川水質）

単位：pg-TEQ/L

河川名	調査地点	測定結果				平均	環境基準
		春季	夏季	秋季	冬季		
新河岸川	志茂橋	0.18	0.18	0.10	0.08	0.14	1以下

出典：「2022(令和4)年度東京都内における環境中のダイオキシン類調査結果について」
(令和5年7月、東京都)

(3) 底質

対象事業実施区域及びその周囲における令和４年度における河川底質の結果は表 3.2-19 に、河川底質のダイオキシン類の測定結果は表 3.2-20 に示すとおりである。

表 3.2-19 底質測定結果

河川・湖沼名		新芝川	藤右衛門川	菖蒲川
地点名		山王橋	論處橋	荒川合流点前
調査機関		川口市	川口市	埼玉県
採泥年月日		令和4年10月24日	令和4年10月24日	令和4年11月11日
カドミウム 乾泥	(mg/kg)	1.1	0.8	1.4
鉛	(mg/kg)	29	16	54
六価クロム	(mg/kg)	N.D.	N.D.	<0.5
砒素	(mg/kg)	9.0	4.5	12.0
総水銀	(mg/kg)	0.058	0.030	0.280
アルキル水銀	(mg/kg)	N.D.	N.D.	<0.01
P C B	(mg/kg)	<0.05	<0.05	0.08
銅	(mg/kg)	47	45	—
クロム	(mg/kg)	49	50	110
強熱減量	(%)	4.18	4.05	12.20
乾燥減量（水分）	(%)	25.9	26.5	72.8
色相		中灰黒色	中黒褐色	黒色
性状		砂状	砂状	泥・ヘドロ・木片
臭気		微土臭	中下水臭	下水臭

注) 「—」は測定がないことを示す。

出典：「令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果」（令和6年3月、埼玉県）

表 3.2-20 ダイオキシン類の測定結果（河川底質）

単位：pg-TEQ/ g

河川名	調査地点	測定結果	環境基準
新芝川	山王橋	4.40	150以下
新河岸川	志茂橋	2.20	

出典：「令和4年度ダイオキシン類測定結果について」

（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

「2022(令和４)年度東京都内における環境中のダイオキシン類調査結果について」

（令和5年7月、東京都）

(4) 地下水

対象事業実施区域及びその周囲における令和４年度の地下水質の調査結果は表 3.2-21 に、地下水のダイオキシン類の測定結果は表 3.2-22 に示すとおりである。

表 3.2-21(1) 地下水質調査結果（令和 4 年度）（川口市）

調査区分 項目		概況	概況	周辺調査	周辺調査	環境基準
調査地点		西新井宿	峯	峯	大竹	
井戸深度（m）		128	60	不明	不明	
浅深井戸の別		深井戸	深井戸	浅井戸	浅井戸	
用途		一般飲用	生活用水	生活用水	生活用水	
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	－	－	0.003以下
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	－	－	不検出
鉛	mg/L	0.004	<0.001	－	－	0.01以下
六価クロム	mg/L	<0.005	<0.005	－	－	0.05以下
砒素	mg/L	0.007	0.001	－	－	0.01以下
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	－	－	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	－	－	－	－	不検出
PCB	mg/L	<0.0005	<0.0005	－	－	不検出
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	－	－	0.02以下
四塩化水素	mg/L	<0.0002	<0.0002	－	－	0.002以下
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	－	－	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	－	－	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	－	－	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	－	－	－
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	－	－	－
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	－	－	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	<0.0005	－	－	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	－	－	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	－	－	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	<0.0005	－	－	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	－	－	0.002以下
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	－	－	0.006以下
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	－	－	0.003以下
チオペンカルプ	mg/L	<0.002	<0.002	－	－	0.02以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	－	－	0.01以下
セレン	mg/L	<0.001	<0.001	－	－	0.01以下
亜硝酸性窒素	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	－
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	<0.02	0.11	1.70	5.70	10以下
ふっ素	mg/L	0.07	0.07	－	－	0.8以下
ほう素	mg/L	<0.02	0.12	－	－	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	－	－	0.05以下

注）「－」は測定がないことを示す。

出典：「令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果」（令和6年3月、埼玉県）

表 3.2-21(2) 地下水質調査結果（令和 4 年度）（川口市）

項目		調査区分			環境基準
		継続監視	継続監視	継続監視	
調査地点		本町	東貝塚	弥平	
井戸深度（m）		100	5	40	
浅深井戸の別		深井戸	浅井戸	深井戸	
用途		生活用水	生活用水	その他	
カドミウム	mg/L	—	—	—	0.003以下
全シアン	mg/L	—	—	—	不検出
鉛	mg/L	—	—	—	0.01以下
六価クロム	mg/L	—	—	—	0.05以下
砒素	mg/L	—	—	0.021	0.01以下
総水銀	mg/L	—	—	—	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	—	—	—	不検出
PCB	mg/L	—	—	—	不検出
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	—	—	0.02以下
四塩化水素	mg/L	<0.0002	—	—	0.002以下
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	—	—	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	—	—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.003	—	—	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.061	—	—	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	—	—	—
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.063	—	—	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.0005	—	—	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	—	—	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.056	—	—	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005	—	—	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	—	—	0.002以下
チウラム	mg/L	—	—	—	0.006以下
シマジン	mg/L	—	—	—	0.003以下
チオペンカルプ	mg/L	—	—	—	0.02以下
ベンゼン	mg/L	<0.001	—	—	0.01以下
セレン	mg/L	—	—	—	0.01以下
亜硝酸性窒素	mg/L	—	<0.005	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	7.8	—	10以下
ふっ素	mg/L	—	—	—	0.8以下
ほう素	mg/L	—	—	—	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	—	—	0.05以下

注1) 「—」は測定がないことを示す。

2) 網かけは環境基準超過を示す

出典：「令和4年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果」（令和6年3月、埼玉県）

表 3.2-21(3) 地下水質調査結果（令和 4 年度）

調査日	10月4日	10月4日	10月21日	10月6日	環境基準
測定地点	足立区	足立区	足立区	北区	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003以下
全シアン	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
鉛	<0.002	<0.002	<0.002	0.003	0.01以下
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	—	—	—	—	検出されないこと
P C B	—	—	—	—	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
クロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	—	—	—	—	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.1以下
1,2-ジクロロエチレン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.04以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	—	—	—	—	0.006以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	—	—	—	—	0.002以下
チウラム	—	—	—	—	0.006以下
シマジン	—	—	—	—	0.003以下
チオベンカルブ	—	—	—	—	0.02以下
ベンゼン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.01以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	10以下
硝酸性窒素	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	—
亜硝酸性窒素	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
ふっ素	0.04	0.03	0.15	0.05	0.8以下
ほう素	0.03	0.03	0.04	0.01	1以下
1,4-ジオキサン	—	—	—	—	0.05以下

出典：「東京の地下水質調査結果」（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）

表 3.2-22 ダイオキシン類の測定結果（地下水）

市名	調査地点	測定結果	環境基準
		令和4年5月24日	
川口市	峯	0.062	1以下

出典：「令和4年度ダイオキシン類測定結果について」
（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

3.2.3. 土壌及び地盤の状況

(1) 土壌の状況

対象事業実施区域及びその周囲の表層土壌の分布状況は、図 3.2-15 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲は、土壌未区分地が分布している。

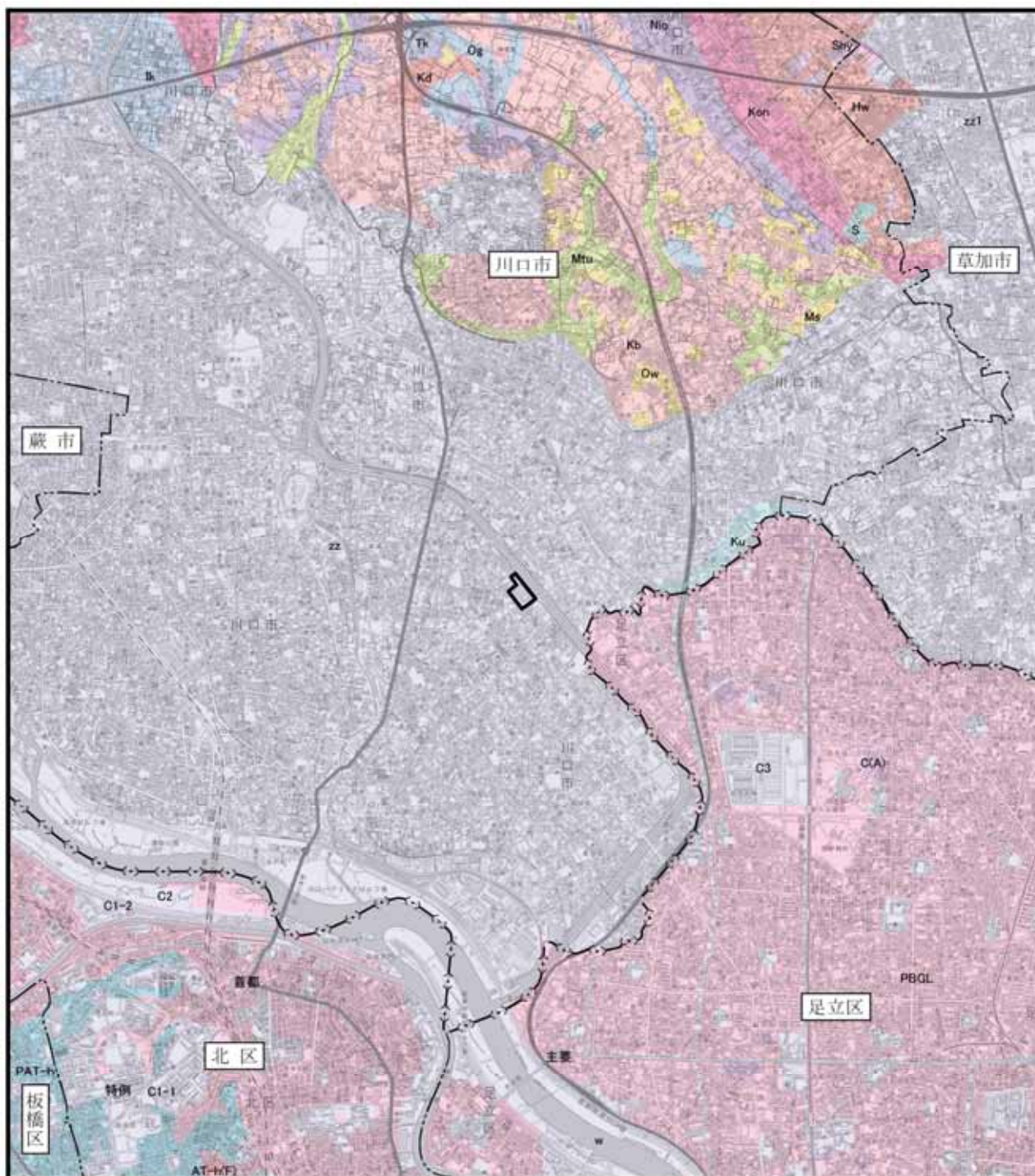


図 3.2-15 土壌図

凡 例

対象事業実施区域

都県界

市界・区界

厚層黒ボク土壌

Ms 美園統
Ot 大竹統
Og 太田ヶ谷統
At-hf 腐植質（林地）
At-h 潜在厚層黒ボク土壌

黒ボク土壌

Tk 高倉統
Kb 青山統
Ow 桶川統

黒ボクグライ土壌

Mtu ミツ木統
Ik 伊刈統
Nio 西大久保統
Kd 児玉統

褐色低地土壌

Shy 下樋遣川統
粗粒灰色低地土壌

灰色低地土壌

S 清水統
粗粒グライ土壌
Ya 山田統
低位泥炭土壌
Kon 小沼統
Ku 鯨井統

黒泥土壌

Hw 花和田統
人工改変地土壌
（農地）下層低地土壌

その他

C1-1, C1-2, C2, C3, w, zz, zz1
主要, 特例, 首都, 未区分地

「5万分の1土地分類基本調査（GISデータ）」（令和6年7月閲覧、国土交通省）を加工して作成

この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

(2) 土壌汚染

1) 要措置区域及び形質変更時要届出区域

対象事業実施区域及びその周囲における土壌汚染対策法（平成 14 年 5 月、法律第 53 号）に基づく形質変更時要届出区域の指定状況は表 3.2-23 から表 3.2-24 に示すとおりである。

なお、対象事業実施区域に要措置区域及び形質変更時要届出区域の指定はない。

表 3.2-23(1) 土壌汚染対策法に基づく要措置区域及び形質変更時要届出区域の指定状況
(川口市)

整理 番号	指定年月日	指定番号	形質変更時要届出区域の 所在地（地番）	面積 (m ²)	指定に係る特定 有害物質の種類
整-22-1	平成22年12月6日	指-4	川口市原町187-3の一部	243.00	砒素及びその化合物
整-25-2	平成25年11月26日	指-8	川口市東領家2丁目26-6の一部	210.00	六価クロム化合物、鉛及びその化合物、ほう素及びその化合物
整-26-1	平成26年5月28日	指-10	川口市領家5丁目5000-2の一部、 5000-11の一部	12,942.90	六価クロム化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物
整-26-2	平成26年9月2日	指-11	川口市領家5丁目5000-2の一部	10,979.10	六価クロム化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ほう素及びその化合物
整-26-3	平成27年3月10日	指-12	川口市朝日6丁目311-5、311-21、 311-22、311-23、311-24、311-25、 311-26、311-27、311-28、311-29、 311-30、311-31、311-32、311-33、 311-34、311-35、311-36、311-37、 311-38、311-39、311-40、311-41	2,609.92	ふっ素及びその化合物 (自然由来特例区域)
整-27-2	平成27年10月23日	指-15	川口市領家5丁目3939の一部	200.00	砒素及びその化合物
整-28-2	平成28年10月7日	指-17	川口市並木元町47-1の一部、48-1の 一部、81-1の一部、81-2の一部、 82-1の一部、82-2の一部	531.80	六価クロム化合物、シアン化合物、水銀及びその化合物、ほう素及びその化合物
整-29-2	平成29年12月19日	指-19	川口市領家4丁目3342-1、3342-7、 3342-8、3342-11	23,377.00	鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ふっ素及びその化合物（自然由来特例区域）
整-29-4	平成30年2月9日	指-21	川口市仲町115-3、115-6、115-7の一 部	246.90	六価クロム化合物、シアン化合物、ほう素及びその化合物
整-30-1	平成30年6月18日	指-22	川口市八幡木2丁目3-7の一部	129.00	テトラクロロエチレン

出典：「土壌汚染対策法に基づく、要措置区域等について」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

表 3.2-23(2) 土壌汚染対策法に基づく要措置区域及び形質変更時要届出区域の指定状況
(川口市)

整理 番号	指定年月日	指定番号	形質変更時要届出区域の 所在地（地番）	面積 (m ²)	指定に係る特定 有害物質の種類
整-2019-3	令和元年8月27日	指-26	川口市西川口2丁目34-11の一部、 34-12の一部	199.78	鉛及びその化合物
整-2019-5	令和2年3月26日	指-28	川口市仲町179番の一部、187番 の一部	207.00	六価クロム化合物、シア ン化合物
整-2021-1	令和3年10月19日	指-32	川口市領家5丁目5000番4の一部	1,368.90	鉛及びその化合物、砒素 及びその化合物、ふっ素 及びその化合物
整-2021-2	令和4年3月18日	指-33	川口市江戸袋2丁目1番14の一部	313.90	ふっ素及びその化合物
整-2022-1	令和4年10月7日	指-34	川口市上青木1丁目7-8の一部、 7-9の一部、7-10の一部、7-11の 一部、7-12の一部	201.13	ふっ素及びその化合物
整-2023-1	令和5年7月6日	指-35	川口市東本郷1丁目7番7の一部、 7番10の一部	100.00	ふっ素及びその化合物
整-2024-1	令和6年6月4日	指-36	川口市川口3丁目188番151の一 部、188番152の一部	634.48	砒素及びその化合物、ふ っ素及びその化合物

出典：「土壌汚染対策法に基づく、要措置区域等について」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

表 3.2-24(1) 土壌汚染対策法に基づく要措置区域（東京都）

整理番号	指定年月日	指定番号	区域が存在する場所	面積 (m ²)	指定基準に適合しない 特定有害物質
整-34-39	令和4年8月12日 令和4年10月21日	指-1335	北区赤羽北2丁目地内	500.00	クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、六価クロム、鉛、砒素、ふっ素、ほう素

出典：「東京都が指定する要措置区域等一覧」（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）

表 3.2-24(2) 土壌汚染対策法に基づく形質変更時要届出区域の指定状況（東京都）

整理番号	指定年月日	指定番号	区域が存在する場所	面積 (m ²)	指定基準に適合しない 特定有害物質
整-36-12	令和6年5月14日	指-1484	北区赤羽西2丁目及び赤羽西3丁目地内	78.03	六価クロム、ふっ素
整-35-91	令和6年3月25日 令和6年5月2日	指-1472	足立区新田1丁目地内	2,312.98	六価クロム、クロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、鉛、ふっ素
整-35-50	令和5年11月13日 令和6年2月19日 令和6年6月17日	指-1431	北区志茂1丁目地内	1,492.8	鉛、砒素、ふっ素
整-35-32	令和5年9月4日	指-1413	北区神谷3丁目地内	357.80	砒素
整-34-40	令和4年8月12日 令和4年10月21日	指-1336	北区赤羽北2丁目地内	785.03	六価クロム、鉛、砒素、ふっ素、ほう素
整-32-19	令和2年7月9日 令和3年10月1日	指-1160	足立区堀之内1丁目地内	15.80	鉛
整-31-82	令和2年3月10日	指-1141	北区神谷2丁目地内	300.00	砒素

出典：「東京都が指定する要措置区域等一覧」（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）

表 3.2-24(3) 土壌汚染対策法に基づく形質変更時要届出区域の指定状況（東京都）

整理 番号	指定年月日	指定番号	区域が存在する場所	面積 (m ²)	指定基準に適合しない 特定有害物質
整-31-27	令和元年8月16日	指－1086	北区浮間1丁目地内	4,862.62	カドミウム、クロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、セレン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、鉛、砒素、ふっ素、ベンゼン
整-30-88	平成31年1月9日	指－1037	北区浮間3丁目地内	79.34	シアン、ふっ素
整-30-79	平成30年11月30日 令和元年7月18日 令和2年8月20日 令和6年6月7日	指－1028	足立区興野1丁目地内	355.50	1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、鉛、砒素、ふっ素
整-29-115	平成30年2月26日 平成30年6月12日	指－939	足立区扇3丁目地内	202.00	砒素
整-29-87	平成29年12月6日	指－911	足立区新田1丁目地内	1,218.10	鉛、ふっ素
整-29-72	平成29年9月27日	指－896	足立区鹿浜2丁目地内	4,817.94	鉛、砒素、ふっ素 （一部自然由来特例区域）
整-29-70	平成29年9月22日	指－894	足立区入谷8丁目地内	198.70	鉛、ふっ素
整-29-53	平成29年7月19日	指－877	足立区西新井本町5丁目地内	293.63	シアン、水銀、ふっ素、ほう素
整-29-48	平成29年7月14日 令和2年9月1日	指－872	足立区西新井本町3丁目地内	1,274.80	砒素
整-28-31	平成28年5月31日	指－723	足立区新田1丁目地内	3,445.10	鉛、砒素、ふっ素
整-26-79	平成26年12月9日 令和2年7月22日	指－560	足立区西伊興町、同区西伊興1丁目及び同区皿沼3丁目地内	1,136.80	砒素、ふっ素
整-26-54	平成26年9月26日	指－535	足立区新田1丁目地内	6,596.60	鉛、砒素、ふっ素
整-25-95	平成26年2月13日	指－466	足立区新田2丁目地内	400.00	砒素、ふっ素
整-23-55	平成23年9月16日 平成25年5月13日	指－201	北区神谷3丁目地内及び志茂3丁目地内	3,509.10	鉛、砒（一部自然由来特例区域）
整-23-53	平成23年9月2日	指－199	足立区新田3丁目地内	1,638.6	鉛、ふっ素
整-23-49	平成23年8月9日	指－195	北区浮間1丁目地内	71.20	水銀、砒素
整-23-48	平成23年8月9日	指－194	北区赤羽西6丁目地内	509.20	六価クロム、セレン、鉛、ふっ素

出典：「東京都が指定する要措置区域等一覧」（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）

2) ダイオキシン類

対象事業実施区域及びその周囲における令和 4 年度の測定結果は表 3.2-25 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

表 3.2-25 ダイオキシン類調査結果（土壌）

単位：pg-TEQ/g

調査地点	測定結果	環境基準
	令和4年12月13日	
川口市幸町2丁目公園	2.20	1,000以下

出典：「令和4年度ダイオキシン類測定結果について」

（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

(3) 地盤の状況

対象事業実施区域及びその周囲における平成 28 年 1 月 1 日から令和 3 年 1 月 1 日までの地盤沈下の調査結果は表 3.2-26 に、調査地点は、図 3.2-16 に示すとおりである。

なお、対象事業実施区域に最も近い調査地点（No.15）の令和 4 年から令和 5 年の変動量は、-0.1 mmであった。

表 3.2-26(1) 地盤沈下の状況（水準測量結果）

No.	調査地点	調査 開始 年月日	各年別変動量(mm)					過去 5年間の 変動量 (mm)	調査開始年 からの 変動量 (mm)
			平成30.1.1 ～ 平成31.1.1	平成31.1.1 ～ 令和2.1.1	令和2.1.1 ～ 令和3.1.1	令和3.1.1 ～ 令和4.1.1	令和4.1.1 ～ 令和5.1.1		
1	川口市川口 1丁目8番13地先	平成17.1.1	-2.3	3.0	-1.3	1.2	0.6	1.2	-50.9
2	川口市飯塚 2丁目11番1	昭和36.2.1	-5.3	4.1	-0.6	2.1	-1.0	-0.7	-1,141.5
3	川口市宮町16番1	昭和36.2.1	-3.5	4.0	-0.8	1.9	1.6	3.2	-1,243.1
4	川口市本町 1丁目19番14	昭和55.1.1	-3.3	4.0	-1.2	0.2	1.0	0.7	-67.4
5	川口市本町 2丁目12番3地先	昭和42.2.1	-2.8	4.5	-0.5	1.1	1.0	3.3	-319.3
6	川口市朝日 1丁目11番3	昭和36.2.1	-3.7	5.0	-0.1	0.6	-0.4	1.4	-1,505.7
7	川口市東本郷 2丁目20番47	昭和52.1.1	-4.9	3.6	2.1	2.0	-1.6	1.2	-31.0
8	川口市峯540番	昭和36.2.1	-4.5	5.7	0.8	1.2	0.9	4.1	-387.8
9	川口市東本郷 1169番4地先	令和3.1.1	—	—	—	1.1	-0.2	—	0.9
10	川口市本前川 2丁目11番1	昭和59.1.1	-4.0	4.8	0.1	3.7	0.3	4.9	-57.8
11	川口市安行630番	昭和43.2.1	-3.2	3.1	-1.6	-0.3	2.8	0.8	-724.3
12	川口市西新井宿 352番	昭和43.2.1	-2.8	4.9	-0.8	0.9	1.5	3.7	-747.2
13	川口市南鳩ヶ谷 7丁目4番6	昭和62.1.1	-2.7	5.0	-1.3	2.4	-0.1	3.3	-67.9
14	川口市坂下町 3丁目35番	平成23.1.1	-3.2	4.6	-1.6	1.6	1.1	2.5	-32.8
15	川口市南鳩ヶ谷 6丁目7番1地先	令和2.1.1	—	—	-2.3	3.7	-0.1	—	1.3
16	草加市両新田西町 438番12	平成23.1.1	-5.4	4.9	-0.3	-0.6	2.6	1.2	-40.8

注1) No.は図 3.2-16と対応している。

2) 「—」は測定がないことを示す。

出典：「水準測量成果表等について」（令和6年7月閲覧、埼玉県ホームページ）

表 3.2-26(2) 地盤沈下の状況（水準測量結果）

番号	所在地	東京湾平均海面 (T.P.)(m)	霊岸島量水標 (A.P.)(m)	変動量 (mm)
	町名			
17	足立区江北3丁目50番	1.0111	2.1455	—
18	足立区鹿浜2丁目24番	2.0266	3.1610	3.4
19	足立区谷在家2丁目24番	2.9432	4.0776	2.9
20	足立区入谷7丁目4番	2.9562	4.0906	4.6
21	足立区舎人1丁目10番	3.8091	4.9435	6.2
22	足立区伊興4丁目4番	2.1784	3.3128	3.9
23	足立区西新井1丁目35番	1.6177	2.7521	—
24	足立区関原3丁目38番	0.6226	1.7570	—
25	足立区西新井本町2丁目3番	1.8753	3.0097	—
26	足立区江北3丁目18番	0.9286	2.0630	—
27	足立区古千谷本町2丁目12番	2.9206	4.0550	5.7
28	足立区伊興2丁目6番	3.0232	4.1576	4.1
29	足立区舎人6丁目3番	3.1686	4.3030	5.1
30	足立区舎人1丁目25番	4.3803	5.5147	5.2
31	北区神谷3丁目45番	0.8234	1.9578	0.1
32	北区東十条6丁目8番	3.9207	5.0551	—
33	北区志茂4丁目19番	1.5151	2.6495	-0.4
34	北区岩淵町38番	3.3565	4.4909	-0.3
35	北区赤羽北2丁目24番	2.4081	3.5425	-0.4
36	北区浮間1丁目11番	1.8137	2.9481	0.4
37	北区神谷3丁目16番	1.5276	2.6620	0.1
38	北区赤羽北1丁目21番	2.9643	4.0987	0.2
39	北区西が丘1丁目35番	22.0450	23.1794	—
40	北区桐ヶ丘1丁目16番	18.8122	19.9466	—

注) No.は図 3.2-16と対応している。

出典：「水準基標測量成果表（基準日・令和5年1月1日）」

（令和5年7月、東京都土木技術支援・人材育成センター）



図 3.2-16 地盤沈下調査地点

凡 例

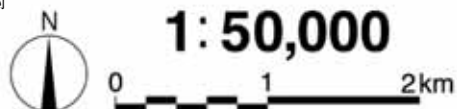
- | | |
|---|-------------|
| : 対象事業実施区域 | ● : 調査地点 |
| —>—>— : 都県界 | — : 地盤沈下等量線 |
| — · — · — : 市界・区界 | |

出典：

「水準基標測量成果表（基準日・令和5年1月1日）」（令和5年7月 東京都土木技術支援・人材育成センター）

「水準測量、成果表等について」（令和6年7月閲覧、埼玉県ホームページ）

「関東平野南部地域地盤沈下等量線図（令和4年）」（令和6年7月閲覧、環境省）



この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

3.2.4. 地形及び地質の状況

(1) 地形の状況

対象事業実施区域及びその周囲の地形分類は、図 3.2-17 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲は、氾濫原（後背湿地）と自然堤防となっている。対象事業実施区域及びその周囲における重要な地形はない。

(2) 地質の状況

対象事業実施区域及びその周囲の表層地質は、図 3.2-18 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲は、泥質堆積物（後背湿地）、砂質堆積物（自然堤防）、砂泥堆積物（旧流路跡）、砂相（沖積層）及び泥相（沖積層）となっている。

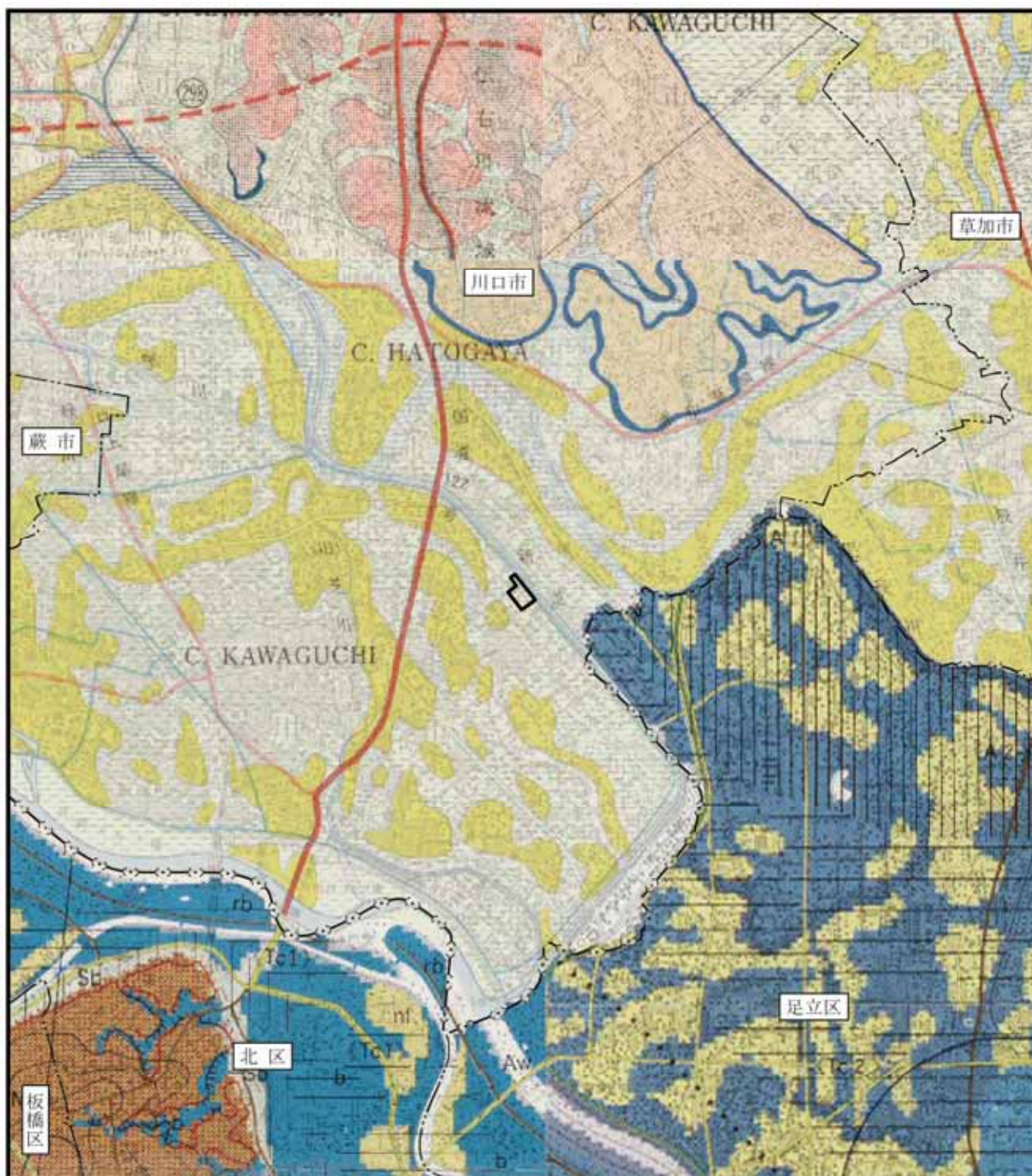
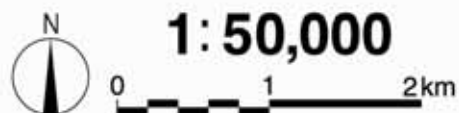


図 3.2-17(1) 地形分類図

凡 例

- : 対象事業実施区域
- <->-<-> : 都県界
- : 市界・区界



出典：「5万分の1土地分類基本調査（画像）」
（令和6年7月閲覧、国土交通省）を加工して作成

凡 例

大 宮

台 地

 : 火山灰台地（下位）

低 地

 : 谷底平野（Ⅰ）（谷地田）

 : 自然堤防

その他

 : 後背湿地

 : 崖

 : 旧流路跡

野 田

台 地

 : 火山灰台地（茨城・埼玉）

低 地

 : 谷底平野（台地上の谷地田）

 : 後背湿地

 : 自然堤防

その他

 : 旧流路跡（旧河道又は旧水路）

 : 崖（台地斜面）

東京西北部・東京東北部

台 地

 : 火山灰台地（Ⅱ）

低 地

 : 氾濫原（後背湿地）

 : 氾濫原（湿地）

 : 自然堤防

その他

 : 台地上の谷地田

 : 旧流路跡（旧河道）

 : 崖

東京西北部

台 地

 : 武蔵野段丘面Ⅱ（M₂）

 : 段丘崖

低 地

 : 自然堤防

 : 砂 州

 : 後背湿地・谷底低地

 : 旧河道

埋没地形

 : 埋没波食台Ⅰ面（AⅠ）

 : 埋没立川段丘Ⅰ面（TcⅠ）

 : 埋没谷底

その他

 : 人工開削水路

東京東北部

低 地

 : 自然堤防

 : 後背湿地・谷底低地

 : 河川敷（堤外地）

 : 三角州

埋没地形

 : 埋没海岸段丘A₁面

 : 埋没海岸段丘A₂面

 : 埋没立川段丘T₁面

 : 埋没立川段丘T₂面

 : 埋没谷底

その他

 : 人工開削水路

図 3.2-17(2) 地形分類図凡例

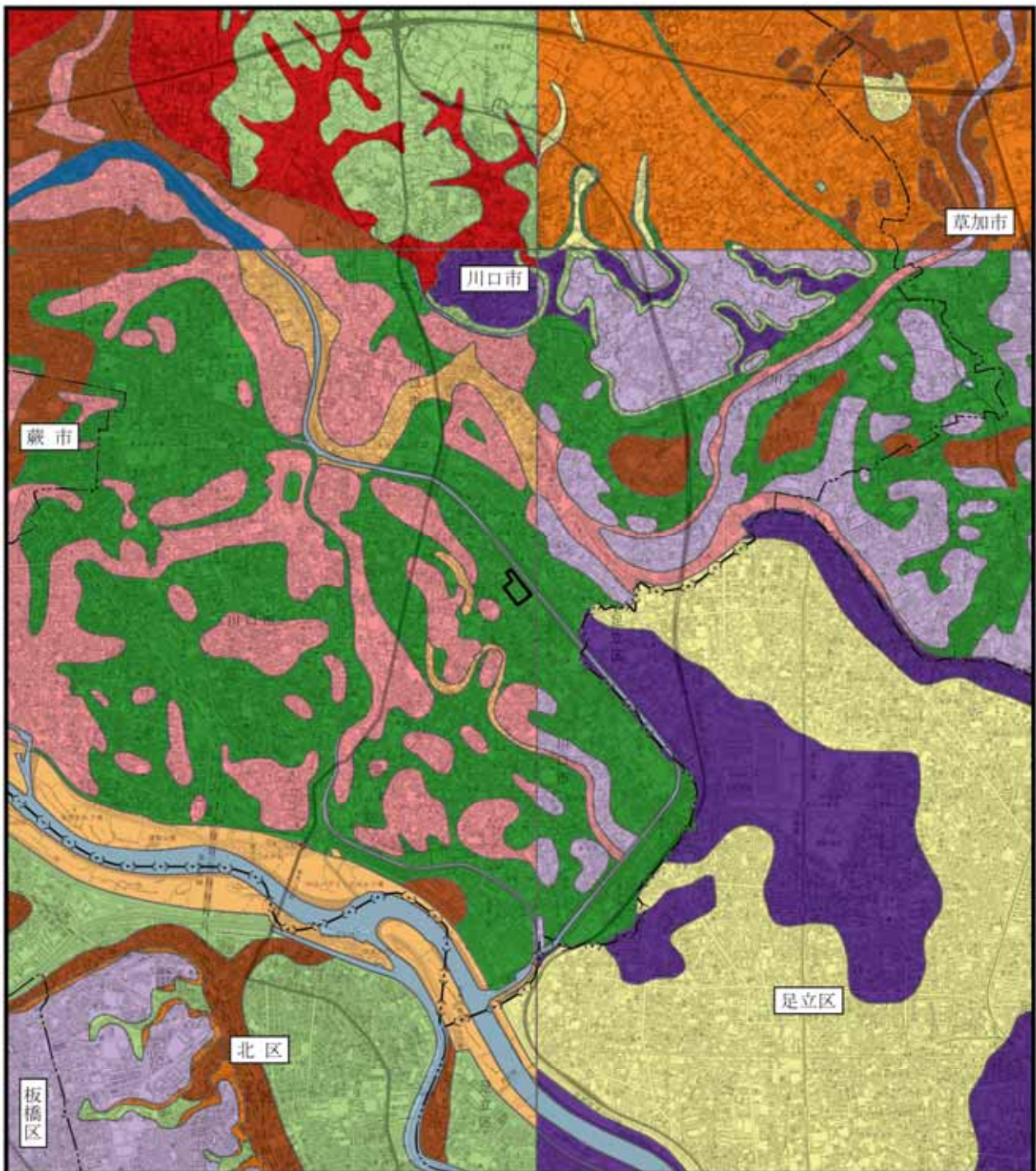
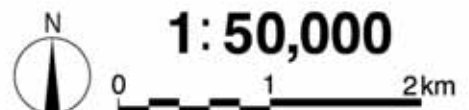


図 3.2-18(1) 表層地質図

凡 例

- : 対象事業実施区域
- ←・→←・→ : 都県界
- : 市界・区界



出典：「5万分の1土地分類基本調査（GISデータ）」
（令和6年7月閲覧、国土交通省）を加工して作成

この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

凡 例

大 宮

-  : 後背湿地の腐植土
泥質堆積物
-  : 旧流路跡・現河道・氾濫原との
未区分も含む, 砂泥堆積物
-  : 武蔵野ローム層・立川ローム層
ローム層
-  : 自然堤防, 砂質堆積物
-  : 谷地谷の腐植土, 泥質堆積物

野 田

-  : 原図水部分, 原図水部分
-  : 大宮層 川口粘土層, 粘土質層 (埼玉)
-  : 現世河成堆積物 (後背湿地)
泥質堆積物 (茨城・埼玉)
-  : 現世河成堆積物 (旧流路跡)
砂泥堆積物 (埼玉)・泥質堆積物 (茨城)
-  : 現世河成堆積物 (湿地)
泥質堆積物 (茨城・埼玉)
-  : 現世河成堆積物 (自然堤防)
砂質堆積物 (埼玉)
-  : 立川ローム層・武蔵野ローム層
火山性岩石 (堆積物)

東京西北部

-  : なし (原図白地部分), 原図白地部分
-  : 下末吉ローム層・下末吉段丘堆積物
ローム層
-  : 主として泥炭・湿地, 泥質堆積物
-  : 原図水部分, 原図水部分
-  : 川口粘土層・板橋粘土層, 粘土層
-  : 後背湿地, 泥質堆積物
-  : 旧流路跡, 砂泥堆積物
-  : 東京層, 砂層
-  : 武蔵野ローム層
武蔵野段丘 (M面) 堆積物, ローム層
-  : 武蔵野ローム層・立川ローム層
ローム層
-  : 沖積層, 砂相
-  : 沖積層・現河床堆積物 (泥相), 泥相
-  : 自然堤防, 砂質堆積物
-  : 谷地田, 泥質堆積物

東京東北部

-  : なし (原図白地部分), 原図白地部分
-  : 主として泥炭・湿地, 泥質堆積物
-  : 原図水部分, 原図水部分
-  : 川口粘土層・板橋粘土層, 粘土層
-  : 後背湿地, 泥質堆積物
-  : 旧流路跡, 砂泥堆積物
-  : 武蔵野ローム層・立川ローム層
ローム層
-  : 沖積層, 泥相
-  : 沖積層, 砂相
-  : 自然堤防, 砂質堆積物
-  : 谷地田, 泥質堆積物

図 3.2-18(2) 表層地質図凡例

3.2.5. 動物の生息、植物の生育、植生、緑の量及び生態系の状況

対象事業実施区域を含む関係市区町に生息する動物相について、表 3.2-27 に示す文献資料を用いて整理した。また、文献資料で確認された種を対象に表 3.2-28 に示す基準に該当する種を重要種として整理した。

表 3.2-27 文献資料一覧

文献 番号	文献名	項目
A	埼玉県レッドデータブック動物編2018（第4版）（埼玉県、2018年3月）	動物
B	第2回～第6回自然環境保全基礎調査（環境庁、1978年～2005年）	動物
C	埼玉県動物誌（埼玉県教育委員会、1978年3月15日）	動物
D	埼玉県レッドデータブック2011植物編（埼玉県、2012年3月）	植物
E	1998年版埼玉県植物誌（埼玉県教育委員会、1998年3月25日）	植物
F	河川水辺の国勢調査（河川環境データベースシステム、2024年7月閲覧）	動物・植物
G	そうか生きもの調査報告書2016-2020（埼玉県草加市、2022年）	動物・植物
H	草加市史通史編上巻	動物・植物
I	令和5年度川口いきもの調査結果（埼玉県川口市、2023年）	動物・植物
J	東京都レッドデータブック（本土部）2023（東京都、2023年）	動物・植物
K	令和4年度野鳥モニターによる足立区野鳥調査報告書（足立区、2023年）	動物
L	令和5年度河川魚類等調査報告書（概要版）（足立区、2024年）	動物
M	北区生物総目録（東京都北区、2015年）	動物・植物
N	第4回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林（環境庁、1991年）	巨樹・巨木林
O	第6回・7回自然環境保全基礎調査 植生調査（環境省ホームページより）	植生図

表 3.2-28(1) 重要種選定基準

No.	選定基準	選定基準項目	
		動物	植物
①	「文化財保護法」(昭和25年法律第214号) ・特別天然記念物(特天)・国指定天然記念物(国天)	○	○
②	「埼玉県文化財保護条例」(昭和30年埼玉県条例第46号) ・県指定天然記念物(県天)	○	○
③	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成4年法律第75号) ・国内希少野生動植物種(国内)・国際希少野生動植物種(国際) ・特定第一種国内希少野生動植物種(第一)・特定第二種国内希少野生動植物種(第二) ・緊急指定種(緊急)	○	○
④	「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」(平成12年埼玉県条例第11号) ・県内希少野生動植物種に指定された種(指定) 動物: アカハライモリ、ムサシトミヨ、ソボツチスガリ 植物: アオネカズラ、キレハオオクボシダ、デンジソウ、イトハコベ、オニバス、タマノカンアオイ、サワトラノオ、サクラソウ、チチブイワザクラ、チチブリンドウ、キタミソウ、キバナコウリンカ、ミヤマスカシユリ、トダスゲ、ムギラン、ホテイラン、コ克蘭、トキソウ、ムカデラン	○	○
⑤	「環境省レッドリスト2020」(令和2年3月環境省自然環境局野生生物課) ・絶滅(EX)・野生絶滅(EW)・絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)・絶滅危惧ⅠA類(CR) ・絶滅危惧ⅠB類(EN)・絶滅危惧Ⅱ類(VU)・準絶滅危惧(NT) ・情報不足(DD)・絶滅のおそれのある地域個体群(LP)	○	○
⑥	「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(平成30年埼玉県)の地帯区分「全県」の指定種 ・絶滅(EX)・野生絶滅(EW)・絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)・絶滅危惧ⅠA類(CR) ・絶滅危惧ⅠB類(EN)・絶滅危惧Ⅱ類(VU)・準絶滅危惧(NT) ・環境条件の変化によって容易に絶滅危惧に移行しうる属性を本来有しているもの(NT1) ・生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの(NT2) ・情報不足(DD)・絶滅のおそれのある地域個体群(LP)・地帯別危惧(RT)	○	
	「埼玉県レッドデータブック2011植物編」(平成23年埼玉県) ・絶滅(EX)・野生絶滅(EW)・絶滅危惧ⅠA類(CR)・絶滅危惧ⅠB類(EN)・絶滅危惧Ⅱ類(VU) ・準絶滅危惧(NT)・情報不足(DD)・絶滅のおそれのある地域個体群(LP)		○
⑦	「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(平成30年埼玉県)の地帯区分「大宮台地」の指定種 ・絶滅(EX)・野生絶滅(EW)・絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)・絶滅危惧ⅠA類(CR) ・絶滅危惧ⅠB類(EN)・絶滅危惧Ⅱ類(VU)・準絶滅危惧(NT) ・環境条件の変化によって容易に絶滅危惧に移行しうる属性を本来有しているもの(NT1) ・生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの(NT2) ・情報不足(DD)・絶滅のおそれのある地域個体群(LP)・地帯別危惧(RT)	○	

表 3.2-28(2) 重要種選定基準

No.	選定基準	選定基準項目	
		動物	植物
⑧	「埼玉県レッドデータブック2018動物編」(平成30年埼玉県)の地帯区分「中川・加須低地」の指定種 ・絶滅 (EX)・野生絶滅 (EW)・絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)・絶滅危惧ⅠA類 (CR) ・絶滅危惧Ⅱ類 (EN)・絶滅危惧Ⅱ類 (VU)・準絶滅危惧 (NT) ・環境条件の変化によって容易に絶滅危惧に移行しうる属性を本来有しているもの (NT1) ・生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの (NT2) ・情報不足 (DD)・絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)・地帯別危惧 (RT)	○	
⑨	「東京都レッドデータブック (本土部) 2023」(令和5年東京都)の地帯区分「本土部」に掲載されている種 ・絶滅 (EX)・野生絶滅 (EW)・絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)・絶滅危惧ⅠA類 (CR) ・絶滅危惧Ⅱ類 (EN)・絶滅危惧Ⅱ類 (VU)・準絶滅危惧 (NT)・情報不足 (DD) ・留意種 (留)	○	○
⑩	「東京都レッドデータブック (本土部) 2023」(令和5年東京都)の地帯区分「区部」に掲載されている種 ・絶滅 (EX)・野生絶滅 (EW)・絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)・絶滅危惧ⅠA類 (CR) ・絶滅危惧Ⅱ類 (EN)・絶滅危惧Ⅱ類 (VU)・準絶滅危惧 (NT)・情報不足 (DD) ・留意種 (留)	○	○

(1) 動物

1) 動物相及び保全すべき種の状況

「埼玉県レッドデータブック 2018 動物編」によると、調査範囲及びその周辺は主に大宮台地及び中川・加須低地に属し、市街地が大部分を占める。

分類群ごとの確認種数を表 3.2-29 に示す。文献資料によると埼玉県及び東京都の関係市区町では 838 種の動物が確認されている。主な確認種はアズマモグラ、アブラコウモリ、タヌキ、ニホンイタチ等の哺乳類、ツバメ、ムクドリ、スズメ、ホオジロ等の鳥類、ニホンアマガエル、ウシガエル等の両生類、ミシシippアカミミガメ、ニホンカナヘビ、アオダイショウ等の爬虫類、コバネイナゴ、アオスジアゲハ、コカマキリ等の昆虫類、ニゴイ、ボラ、マハゼ等の魚類、カワニナ、モクズガニ、アメンボ等の底生動物、ナメクジ、オカモノアラガイ等の陸産貝類であった。

確認された重要種を表 3.2-30 から表 3.2-37 に整理した。

関係市区町では、計 447 種 (哺乳類 19 種、鳥類 178 種、両生類 11 種、爬虫類 13 種、昆虫類 110 種、魚類 33 種、底生動物 36 種、陸産貝類 47 種) の重要種が確認された。

表 3.2-29 分類群ごとの確認状況（動物）

分類	目数	科数	種数
哺乳類	7	15	28
鳥類	20	57	250
両生類	2	6	13
爬虫類	2	9	16
昆虫類	8	60	260
魚類	12	25	73
底生動物	23	58	105
陸産貝類	4	28	93
計	78	258	838

表 3.2-30 重要種一覧（哺乳類）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	ジネズミ									DD	EX
2	ヒミズ										EX
3	アズマモグラ										留
4	コキクガシラコウモリ						NT1			NT	EX
5	キクガシラコウモリ						NT1			VU	EX
6	モモジロコウモリ									NT	EX
7	ニホンザル									NT	
8	ノウサギ										DD
9	ニホンリス										EX
10	ハタネズミ										NT
11	アカネズミ										留
12	ヒメネズミ										EX
13	カヤネズミ									VU	DD
14	キツネ										DD
15	ホンドテン	国天				NT					EX
16	ニホンイタチ										NT
17	アナグマ										EX
18	イノシシ										EX
19	カモシカ	特天	県天							VU	
計	19種	2種	1種	0種	0種	1種	2種	0種	0種	7種	17種

注）分類・配列・種名については、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和5年度生物リスト）」（令和5年、河川環境データベース/国土交通省）に準拠した。

表 3.2-31(1) 重要種一覧（鳥類）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	ウズラ					VU	CR(繁) CR(越)	CR(繁) CR(越)	CR(繁) CR(越)	CR	CR
2	ヤマドリ						VU(繁) VU(越)			VU	
3	キジ									NT	EN
4	サカツラガン					DD					
5	ヒシクイ	国天				VU	CR(越)	EX(越)	CR(越)	EX	EX
6	マガン	国天				NT	CR(越)	EX(越)	CR(越)	EX	EX
7	カリガネ					EN	EX(越)		EX(越)		
8	ハクガン					CR					
9	シジュウカラガン			国内		CR	EX(越)		EX(越)		
10	コハクチョウ						NT1(越)	NT1(越)	NT1(越)		
11	オオハクチョウ						CR(越)	CR(越)	CR(越)		
12	アカツクシガモ					DD					
13	オシドリ					DD	EN(繁) VU(越)	EN(越)	EN(越)	VU	EN
14	ヨシガモ									EN	EN
15	シマアジ									DD	DD
16	トモエガモ					VU	VU(越)	VU(越)	VU(越)	DD	DD
17	ホシハジロ									VU	VU
18	アカハジロ					DD					
19	スズガモ									留	留
20	ビロードキンクロ									DD	DD
21	クロガモ									DD	DD
22	ホオジロガモ									EN	VU
23	ミコアイサ									EN	EN
24	ウミアイサ									DD	DD
25	カイツブリ									NT	NT
26	アカエリカイツブリ						VU(越)	VU(越)	VU(越)	NT	NT
27	カンムリカイツブリ						VU(越)	VU(越)	VU(越)	留	留
28	ミミカイツブリ						DD(越)	DD(越)	DD(越)		
29	ハジロカイツブリ						NT1(越)	NT1(越)	NT1(越)	NT	NT
30	アカオネツタイチョウ					EN					
31	シラコバト	国天				EN	EN(繁) EN(越)	EN(繁) EN(越)	EN(繁) EN(越)		
32	アオバト						RT(繁)			NT	
33	シロハラミズナギドリ					DD					
34	クロコシジロウミツバメ			国内		CR					
35	サンカノゴイ					EN				CR	CR

表 3.2-31(2) 重要種一覧（鳥類）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
36	ヨシゴイ					NT	VU(繁)	VU(繁)	VU(繁)	CR	CR
37	オオヨシゴイ			国内		CR	EX(繁)		EX(繁)		
38	ミゾゴイ					VU	EN(繁)			EN	
39	ゴイサギ									VU	VU
40	ササゴイ						EN(繁)	CR(繁)	EX(繁)	VU	CR
41	アマサギ						LP(繁)	LP(繁)	LP(繁)		
42	ダイサギ										NT
43	チュウサギ					NT	VU(繁)	NT2(繁)	NT2(繁)	NT	NT
44	コサギ						NT2(繁)	NT2(繁)	NT2(繁)	VU	VU
45	クロトキ					DD					
46	ヘラサギ					DD					
47	マナヅル					VU					
48	タンチョウ	特天		国内		VU					
49	クロヅル					DD					
50	クイナ						VU(越)	VU(越)	VU(越)	NT	DD
51	ヒクイナ					NT	CR(繁)	CR(繁)	CR(繁)	CR	CR
52	バン						NT2(繁)	NT2(繁)	NT2(繁)	EN	EN
53	オオバン						NT1(繁)	NT1(繁)	NT1(繁)	CR	CR
54	ジュウイチ						LP(繁)			NT	
55	ホトトギス						RT(繁)			NT)	
56	ツツドリ						LP(繁)			NT	
57	カッコウ						NT2(繁)	NT2(繁)	NT2(繁)	VU	CR
58	ヨタカ					NT	VU(繁)	EX(繁)	EX(繁)	EN	EX
59	ハリオアマツバメ						DD(繁)				
60	アマツバメ									DD	
61	ヒメアマツバメ						LP(繁) VU(越)			NT	VU
62	タゲリ						NT2(越)	NT2(越)	NT2(越)		
63	ケリ					DD	NT1(繁) EN(越)	EN(越)	NT1(繁) EN(越)	DD	
64	ムナグロ									VU	VU
65	ダイゼン									VU	VU
66	イカルチドリ						NT1(繁)			VU	EN
67	コチドリ									VU	CR
68	シロチドリ					VU	LP(繁)		LP(繁)	CR	CR
69	メダイチドリ									VU	VU
70	セイタカシギ					VU				EN	EN
71	ヤマシギ						VU(越)	VU(越)	VU(越)	VU	VU
72	オオジシギ					NT	CR(繁)			DD	DD

表 3.2-31(3) 重要種一覧（鳥類）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
73	チュウジシギ									DD	DD
74	タシギ						RT(越)	NT2(越)	NT2(越)	VU	VU
75	オグロシギ									EN	EN
76	オオソリハシシギ					VU				EN	EN
77	コシャクシギ					EN					
78	チュウシャクシギ									VU	VU
79	ツルシギ					VU				CR	CR
80	コアオアシシギ									CR	CR
81	アオアシシギ									NT	NT
82	クサシギ									VU	CR
83	タカブシギ					VU				VU	CR
84	キアシシギ									VU	VU
85	ソリハシシギ									VU	VU
86	イソシギ						VU(繁)	VU(繁)	VU(繁)	VU	VU
87	キョウジョシギ									VU	VU
88	トウネン									VU	VU
89	ハマシギ					NT				VU	VU
90	キリアイ									CR	CR
91	エリマキシギ									CR	CR
92	アカエリヒレアシシギ									DD	DD
93	ハイイロヒレアシシギ									DD	DD
94	タマシギ					VU	CR(繁) CR(越)	CR(繁) CR(越)	CR(繁) CR(越)	CR	CR
95	ツバメチドリ					VU	CR(繁)		CR(繁)		
96	ウミネコ									留	留
97	オオセグロカモメ					NT					
98	コアジサシ					VU	CR(繁)	CR(繁)	CR(繁)	EN	EN
99	アジサシ						DD(繁)		DD(繁)		
100	ミサゴ					NT				EN	EN
101	ハチクマ					NT	EN(繁)			CR	
102	トビ						DD(繁)	DD(繁)		NT	NT
103	オジロワシ	国天		国内		VU					
104	チュウヒ			国内		EN	EN(越)	EN(越)	EN(越)	EN	EN
105	ハイイロチュウヒ						EN(越)	EN(越)	EN(越)	CR	CR
106	ツミ						NT2(繁)	NT2(繁)	NT2(繁)	VU	EN
107	ハイタカ					NT	DD(繁) NT2(越)	VU(越)	VU(越)	VU	EN
108	オオタカ					NT	VU(繁) VU(越)	VU(繁) NT2(越)	VU(繁) VU(越)	VU	EN

表 3.2-31(4) 重要種一覧（鳥類）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
109	サシバ					VU	CR(繁)	EX(繁)	EX(繁)	CR	
110	ノスリ						NT2(繁) NT2(越)	DD(繁) NT2(越)	DD(繁) NT2(越)	VU	CR
111	オオコノハズク						DD(繁) DD(越)	EX(繁) DD(越)	EX(繁) DD(越)	EN	DD
112	コノハズク						VU(繁)			EN	
113	フクロウ						RT(繁) NT2(越)	EN(繁) VU(越)	EN(繁) VU(越)	EN	CR
114	アオバズク						NT2(繁)	EN(繁)	EN(繁)	CR	CR
115	トラフズク						EN(越)	EN(越)	EN(越)	EN	CR
116	コミミズク						VU(越)	VU(越)	VU(越)	EN	CR
117	アカショウビン						CR(繁)			CR	
118	カワセミ						RT(繁)	LP(繁)	LP(繁)	NT	VU
119	ヤマセミ						NT2(繁)			EN	
120	ブッポウソウ					EN	CR(繁)			CR	
121	アリスイ						NT2(越)	NT2(越)	NT2(越)		
122	アカゲラ									NT	
123	アオゲラ						RT(繁)	VU(繁)	DD(繁)	NT	EN
124	チョウゲンボウ						NT2(繁)	NT2(繁)	NT2(繁)	VU	EN
125	コチョウゲンボウ									DD	DD
126	チゴハヤブサ									DD	DD
127	ハヤブサ			国内		VU	VU(越)	VU(越)	VU(越)	CR	EN
128	サンショウクイ					VU	EN(繁)	EX(繁)	EX(繁)	CR	EX
129	サンコウチョウ						EN(繁)	EX(繁)	EX(繁)	VU	EX
130	チゴモズ					CR	CR(繁)	EX(繁)		CR	EX
131	モズ									NT	CR
132	アカモズ			国内		EN	CR(繁)	EX(繁)	EX(繁)	CR	CR
133	オナガ									NT	NT
134	キクイタダキ									VU	○
135	コガラ						NT2(繁)				
136	ヤマガラ						RT(繁)			○	VU
137	ヒガラ						RT(繁)				
138	ヒバリ									VU	VU
139	コシアカツバメ						DD(繁)			NT	VU
140	イワツバメ									NT	DD
141	ウグイス						RT(繁)			留	
142	ヤブサメ						NT2(繁)			NT	
143	メボソムシクイ						NT2(繁)			VU	

表 3.2-31(5) 重要種一覧（鳥類）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
144	エゾムシクイ						NT2(繁)			VU	
145	センダイムシクイ						NT2(繁)			VU	EX
146	オオセッカ			国内		EN	DD(越)	DD(越)	DD(越)	CR	CR
147	オオヨシキリ						NT2(繁)	NT2(繁)	NT2(繁)	VU	CR
148	コヨシキリ						EN(繁)	EN(繁)	EN(繁)	DD	
149	セッカ									VU	CR
150	ミソサザイ									NT	
151	コムクドリ						DD(繁)				
152	マミジロ									VU	
153	トラツグミ						NT2(繁)	CR(繁)		VU	VU
154	クロツグミ						NT2(繁)			NT	
155	アカハラ						NT2(繁)				
156	コルリ						NT1(繁)			EN	
157	ルリビタキ						RT(越)	NT2(越)	NT2(越)		
158	イソヒヨドリ									NT	NT
159	サメビタキ						NT2(繁)			NT	
160	コサメビタキ						EN(繁)	EX(繁)	EX(繁)	VU	EX
161	キビタキ						RT(繁)				
162	オオルリ						RT(繁)			NT	
163	カヤクグリ									NT	
164	ニューナイスズメ						NT1(越)	NT1(越)	NT1(越)		
165	セグロセキレイ									NT	VU
166	ベニマシコ						RT(越)	NT1(越)	NT1(越)	NT	VU
167	イスカ									DD	
168	ウソ									VU	NT
169	イカル									NT	NT
170	ホオジロ						RT(繁)	NT2(繁)	NT2(繁)	NT	EN
171	ホオアカ						CR(繁)	EX(繁)	EX(繁)		
172	カシラダカ									VU	VU
173	ミヤマホオジロ						NT1(越)	NT1(越)	NT1(越)		
174	シマアオジ			国内		CR					
175	アオジ						DD(繁)				
176	クロジ						RT(越)	NT2(越)	NT2(越)	EN	NT
177	コジュリン					VU	VU(越)	VU(越)	VU(越)	DD	DD
178	オオジュリン									NT	NT
計	178種	5種	0種	10種	0種	55種	103種	65種	68種	138種	111種

注) 分類・配列・種名については、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和5年度生物リスト）」（令和5年、河川環境データベース/国土交通省）に準拠した。

表 3.2-32 重要種一覧（両生類）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	トウキョウサンショウウオ			国内 (特二)		VU	EN			EN	
2	アカハライモリ				指定	NT	CR	EX	EX	EN	CR
3	アズマヒキガエル						NT1	NT1	NT1	NT	VU
4	ニホンアマガエル									NT	EN
5	ニホンアカガエル						VU	EN	EN	EN	EN
6	ヤマアカガエル						NT2			VU	
7	トノサマガエル					NT					
8	トウキョウダルマガエル					NT	NT1	VU	NT1	EN	CR
9	シュレーゲルアオガエル						NT2	VU	VU	NT	CR
10	モリアオガエル						VU			NT	
11	カジカガエル						NT1			NT	
計	11種	0種	0種	1種	1種	4種	9種	5種	5種	10種	6種

注）分類・配列・種名については、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和5年度生物リスト）」（令和5年、河川環境データベース/国土交通省）に準拠した。

表 3.2-33 重要種一覧（爬虫類）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	ニホンイシガメ					NT	DD	DD	DD	CR	CR
2	ニホンスッポン					DD	DD	DD	DD	CR+E N	CR+E N
3	ニホンヤモリ									NT	VU
4	ヒガシニホントカゲ						NT2	NT1	NT1	VU	CR+E N
5	ニホンカナヘビ						RT	NT2	NT2	VU	CR+E N
6	タカチホヘビ						VU	CR		VU	CR
7	シマヘビ						VU	VU	VU	VU	CR
8	アオダイショウ						NT2	NT1	NT2	NT	NT
9	ジムグリ						NT1	EN	EN	VU	CR
10	シロマダラ						VU	EN	EN	VU	CR+E N
11	ヒバカリ						NT1	VU	NT1	VU	VU
12	ヤマカガシ						NT1	VU	NT1	VU	CR
13	ニホンマムシ						NT2	EN	EN	EN	CR
計	13種	0種	0種	0種	0種	2種	12種	12種	11種	13種	13種

注）分類・配列・種名については、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和5年度生物リスト）」（令和5年、河川環境データベース/国土交通省）に準拠した。

表 3.2-34(1) 重要種一覧（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	ホソミオツネトンボ									EN	VU
2	アオイトトンボ									VU	VU
3	オツネトンボ									CR	CR
4	キイトトンボ						NT2	EN	VU	EN	VU
5	ベニイトトンボ					NT	EN	EN	EN	VU	VU
6	ヒスマイトトンボ					EN	CR		CR	CR	CR
7	モートンイトトンボ					NT	EN	EX	EN	CR	EX
8	セスジイトトンボ									CR	CR
9	オオセスジイトトンボ					EN	CR		CR	EX	EX
10	ムスジイトトンボ						DD		DD		
11	オオイトトンボ									CR	CR
12	モノサシトンボ									NT	NT
13	オオモノサシトンボ					EN	EN	EX	EN	CR	CR
14	ハグロトンボ										VU
15	ニホンカワトンボ									EN	EX
16	ネアカヨシヤンマ					NT	NT2	NT2	DD	CR	CR
17	アオヤンマ					NT	VU	VU	NT1	EN	EN
18	オオルリボシヤンマ						VU				
19	ルリボシヤンマ						NT1			VU	
20	コシボソヤンマ						NT1			EN	EX
21	カトリヤンマ									EN	CR
22	サラサヤンマ						NT2	NT2	VU	EN	CR
23	ヤマサナエ						NT2			VU	EX
24	アオサナエ						NT1			VU	EX
25	ヒメサナエ						NT1				
26	ナゴヤサナエ					VU	VU	VU	EN	DD	DD
27	メガネサナエ					VU	EX	EX	EX	EX	EX
28	コサナエ									CR	CR
29	ムカシヤンマ						VU			EN	
30	トラフトンボ						VU	EX	VU	CR	CR
31	コヤマトンボ									NT	VU
32	ヨツボシトンボ						VU	VU	CR	VU	VU
33	ハラビロトンボ						NT2	NT2	VU	NT	VU
34	ハッチョウトンボ						EX			EX	
35	シオヤトンボ									NT	VU
36	チョウトンボ									NT	NT
37	マユタテアカネ									NT	EN
38	マイコアカネ									VU	VU

表 3.2-34(2) 重要種一覧（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
39	ヒメアカネ						VU	VU	EN	EN	CR
40	ミヤマアカネ									VU	EN
41	リスアカネ									NT	NT
42	オオキトンボ					EN	CR	EX	CR	EX	EX
43	クルマバツタ						NT2	NT1	NT2	NT	VU
44	アオフキバツタ						RT				
45	ハネナガイナゴ						NT1	EN	VU		
46	ハルゼミ						NT1	VU		EN	EX
47	オオアメンボ						NT2	NT1		NT	EN
48	エサキアメンボ					NT	NT2	NT2	NT2	DD	DD
49	ババアメンボ					NT	NT1	NT1	NT1	DD	DD
50	ハネナシアメンボ									CR	CR
51	タイコウチ									CR	CR
52	ミズカマキリ									VU	EN
53	ヒメミズカマキリ									CR	CR
54	オオミノガ									NT	NT
55	ハイイロボクトウ					NT				NT	VU
56	アオバセセリ本土亜種										CR
57	ダイミョウセセリ										VU
58	ミヤマセセリ						NT1	EX		NT	EX
59	ホソバセセリ						NT2	EX		NT	EX
60	ギンイチモンジセセリ					NT	NT2	NT2		NT	VU
61	ヒメキマダラセセリ										CR
62	ミヤマチャバネセセリ										VU
63	オオチャバネセセリ						NT2	NT2	NT2	NT	CR
64	コチャバネセセリ						NT2	NT2	NT2		CR
65	コツバメ						NT2	EX		NT	EX
66	アカシジミ										VU
67	ウラナミアカシジミ										VU
68	ミドリシジミ						NT1	NT1	NT1	VU	EN
69	クロシジミ					EN	EX	EX	EX	EX	EX
70	ミヤマシジミ					EN	CR		EX	EX	EX
71	トラフシジミ										NT
72	ゴイシシジミ						NT2	NT2	NT2	VU	EN
73	シルビアシジミ					EN	EX	EX	EX	EX	EX
74	オオウラギンスジヒョウモン						NT2	NT2	NT2	NT	CR
75	メスグロヒョウモン						NT2	VU	CR	NT	CR
76	クロヒカゲ本土亜種										CR

表 3.2-34(3) 重要種一覧（昆虫類）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
77	ヒカゲチョウ										NT
78	イチモンジチョウ										CR
79	アサマイチモンジ						NT2	CR		CR	EX
80	ジャノメチョウ						NT2	EX	EX	NT	CR
81	コジャノメ										CR
82	ミスジチョウ						NT2	EX		NT	CR
83	ヒオドシチョウ						VU	VU	VU	NT	EN
84	オオムラサキ					NT	VU	EX	EX	NT	EX
85	ヒメウラナミジャノメ										VU
86	ヒメキマダラヒカゲ									VU	
87	ミヤマカラスアゲハ									NT	EN
88	オナガアゲハ										EN
89	ツマグロキチョウ					EN	EN	EX	EX	CR	CR
90	クスサン本土亜種									NT	EN
91	クロスズメ									VU	EN
92	キハダカノコ									VU	EN
93	コシロシタバ					NT				NT	VU
94	ワモンキシタバ									VU	
95	キスジウスキヨトウ					VU				VU	VU
96	ミズアブ									NT	NT
97	ホソハンミョウ					VU	NT1	VU		CR	EX
98	シマケシゲンゴロウ									CR	
99	セスジゲンゴロウ									DD	
100	ツブゲンゴロウ									EX	
101	キベリマメゲンゴロウ					NT				NT	
102	ヒラタクワガタ本土亜種									NT	VU
103	タマムシ									NT	VU
104	ゲンジボタル						VU	EX		NT	EN
105	ヘイケボタル						NT1	VU	VU	VU	CR
106	トラフカミキリ						NT2	VU		NT	NT
107	ハッカハムシ									NT	VU
108	ヤナギハムシ									EN	EN
109	コダマジガバチモドキ						EN				
110	キアシハナダカバチモドキ					VU				DD	DD
計	110種	0種	0種	0種	0種	24種	56種	42種	35種	89種	95種

注) 分類・配列・種名については、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和5年度生物リスト）」（令和5年、河川環境データベース/国土交通省）に準拠した。

表 3.2-35 重要種一覧（魚類）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	スナヤツメ北方種					VU	CR			CR	CR
2	スナヤツメ南方種					VU	CR			CR	CR
3	ニホンウナギ					EN	NT2			EN	EN
4	キンブナ					VU	VU			VU	CR
5	ギンブナ									DD	DD
6	ミヤコタナゴ	国天	県天	国内		CR	EW			EX	EX
7	ヤリタナゴ					NT	CR			DD	EX
8	タナゴ					EN	EX			EX	EX
9	ゼニタナゴ					CR	EX			EX	EX
10	オイカワ									DD	DD
11	アブラハヤ									NT	NT
12	マルタ									留	留
13	ニゴイ									NT	NT
14	ドジョウ					NT				CR	CR
15	ヒガシシマドジョウ									NT	VU
16	ホトケドジョウ					EN	CR			EN	CR
17	ギバチ					VU				VU	VU
18	ワカサギ						NT1				
19	ニッコウイワナ					DD	VU			CR	
20	サクラマス(ヤマメ)					NT	VU			CR	CR
21	ムサシトミヨ				指定	CR	CR			EX	EX
22	ミナミメダカ					VU	NT2			CR	CR
23	アシシロハゼ									NT	NT
24	アベハゼ									NT	NT
25	ヌマチチブ									留	留
26	チチブ									留	留
27	シマヨシノボリ									CR	CR
28	トウヨシノボリ類									EN	VU
29	ヒメハゼ									NT	NT
30	ウキゴリ									NT	NT
31	ビリンゴ									NT	NT
32	ジュズカケハゼ					NT				CR	CR
33	エドハゼ					VU				NT	NT
計	33種	1種	1種	1種	1種	17種	14種	0種	0種	32種	31種

注) 分類・配列・種名については、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和5年度生物リスト）」（令和5年、河川環境データベース/国土交通省）に準拠した。

表 3.2-36(1) 重要種一覧（底生動物）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	ナミウズムシ						LP				
2	マルタニシ					VU	VU	VU	NT2	CR+EN	CR+EN
3	オオタニシ					NT	VU			CR+EN	CR+EN
4	カタヤマガイ					CR+EN				EX	EX
5	カワザンショウガイ									NT)	NT
6	マメタニシ					CR				CR+EN	CR+EN
7	ミズゴマツボ					VU				DD	DD
8	コシダカヒメモノアラガイ					DD					
9	モノアラガイ					NT	NT2	NT2	DD	CR+EN	CR+EN
10	カワネジガイ					CR	EX		EX	EX	EX
11	カワコザラガイ					CR	VU	VU	DD		
12	ミズコハクガイ					VU	LP		LP	CR+EN	
13	ヒラマキミズマイマイ					DD	NT2	NT2	DD	DD	DD
14	トウキョウヒラマキガイ					DD	LP		LP	CR+EN	CR+EN
15	ヒラマキガイモドキ					NT	LP		LP	CR+EN	EX
16	タガイ						(NT2	NT2	NT2)	CR+EN	CR+EN
17	カラスガイ					EN				CR+EN	CR+EN
18	ヨコハマシジラガイ					NT	NT2			CR+EN	
19	イシガイ									CR+EN	DD
20	マツカサガイ広域分布種					NT	EN			CR+EN	CR+EN
21	ヌマガイ						(NT2	NT2	NT2)		
22	ヤマトシジミ					NT				DD	DD
23	マシジミ					VU				CR+EN	CR+EN
24	ドブシジミ						NT2	NT2	VU		
25	ヌカエビ						NT2			留	留
26	テナガエビ									留	留
27	ユビナガスジエビ									DD	DD
28	シラタエビ									DD	DD
29	スジエビ									留	留
30	サワガニ						NT2			留	留

表 3.2-36(2) 重要種一覧（底生動物）

No.	種名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
31	クロベンケイガニ									留	留
32	ベンケイガニ									留	留
33	モクズガニ									留	留
34	アシハラガニ									留	留
35	ナゴヤサナエ					VU	VU	VU	EN	DD	DD
36	ミズカマキリ									VU	EN
計	36種	0種	0種	0種	0種	19種	18種	8種	12種	31種	29種

注) 分類・配列・種名については、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和5年度生物リスト）」（令和5年、河川環境データベース/国土交通省）に準拠した。

表 3.2-37(1) 重要種一覧（陸産貝類）

No.	科名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	ヤマキサゴ									NT	
2	アツブタガイ						VU				
3	サドヤマトガイ					NT	VU			VU	CR+ EN
4	ミジンヤマタニシ						VU				
5	ゴマガイ									NT	
6	イブキゴマガイ									VU	
7	スジケシガイ									NT	
8	ケシガイ					NT				VU	
9	ヤマボタルガイ						EX				
10	クチマガリスナガイ					VU				NT	
11	キバサナギガイ					CR+ EN	EN		EN		
12	マルナタネガイ						VU				
13	オオタキコギセル						EN				
14	ナミコギセル						LP	LP	LP		
15	キヌハダギセル						VU				
16	オクガタギセル					NT				VU	
17	オオトノサマギセル					NT	NT2			CR+ EN	
18	ヤグラギセル					VU	VU			VU	
19	ナタネガイ						CR				
20	ナガオカモノアラガイ					NT	VU		VU	NT	NT
21	オカモノアラガイ						EN				
22	ヒラベッコウガイ					DD	VU			DD	

表 3.2-37(2) 重要種一覧（陸産貝類）

No.	科名	重要種選定基準									
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
23	カントウベッコウ					DD				CR+ EN	
24	ツノイロヒメベッコウ						EN				
25	クリイロベッコウ					DD					
26	ハコネヒメベッコウ					DD				NT	
27	ハクサンベッコウ					DD	VU			DD	
28	キヌツヤベッコウマイマイ					DD	EN			DD	
29	レンズガイ					VU	EX			CR+ EN	
30	ヒメハリマキビ					NT	EN			NT	VU
31	スジキビ					NT	EN				
32	マルシタラガイ						VU				
33	ウゼンシタラガイ						CR				
34	ウメムラシタラガイ					NT	EN			NT	VU
35	オオウエキビ					DD	EN			NT	NT
36	タカキビ					NT	VU			NT	
37	サドタカキビ					DD	VU				
38	ニッパラキビ									CR+ EN	
39	オオクラヒメベッコウ						EN				
40	ヒメビロウドマイマイ					VU					
41	ヤセアナナシマイマイ					VU	CR+ EN			VU	
42	コベソマイマイ						VU			留	DD
43	オモイガケナマイマイ			国内		CR+ EN	EX			CR+ EN	
44	カドコオオベソマイマイ					NT				VU	VU
45	コケラマイマイ					NT				VU	DD
46	オオケマイマイ									留	CR+ EN
47	タカヤマヒダリマキマイマイ					VU	VU			VU	
計	47種	0種	0種	1種	0種	27種	32種	1種	3種	29種	9種

注) 分類・配列・種名については、主に「日本産野生生物目録 無脊椎動物編III」（平成10年、環境庁）に準拠した。

(2) 植物

1) 植物相及び保全すべき種の状況

「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編」によると、調査範囲及びその周辺は主に大宮台地及び加須・中川低地に属し、標高 A.P.+1m前後の極めて低平な地形面をなしている。

分類群ごとの確認状況を表 3.2-38 に示す。文献資料によると、埼玉県及び東京都の関係市町では 181 科 1826 種の維管束植物及び 73 科 1675 種の藻類が確認されている。主な確認種はシダ植物では、ヒカゲノカズラ、コンテリクラマゴケ、ミズニラ等のヒカゲノカズラ類、スギナ、ゼンマイ、リョウメンシダ、オオバノイノモトソウ等の大葉シダ類、種子植物では、アカマツ、ヒノキ、スギ、イヌガヤ等の裸子植物、ドクダミ、ホオノキ、シロダモ等の基部被子植物群、シュロ、クサイ、カヤツリグサ、メヒシバ等の単子葉類、メドハギ、ケヤキ、マルバヤナギ、アオキ等の真正双子葉類、藻類ではシャジクモ科、ボルボックス科及びフネケイソウ科等であった。

表 3.2-38 分類群ごとの確認状況（植物）

分類	科	種数
高等植物	181	1826
シダ植物	24	128
ヒカゲノカズラ類	3	8
大葉シダ類	21	120
種子植物	157	1698
裸子植物類	5	21
基部被子植物群	9	34
単子葉類	27	471
真正双子葉類	116	1172
藻類	73	1675

確認された重要種を表 3.2-39 から表 3.2-40 に整理した。

関係市町では、計 426 種（植物相 415 種、藻類 11 種）の重要種が確認された。

表 3.2-39(1) 重要種一覧（維管束植物）

No.	種名	重要種選定基準							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑨	⑩
1	ヒカゲノカズラ							EX	CR
2	カタヒバ						NT		
3	タチクラマゴケ						VU	CR	VU
4	イワヒバ						NT		
5	ミズニラ					NT	VU	DD	EN
6	イヌスギナ						NT	EN	EN
7	アカハナワラビ						NT	CR	VU
8	ナツノハナワラビ						NT	CR	VU
9	トネハナヤスリ					VU	CR		
10	コヒロハナヤスリ						VU	CR	VU
11	コハナヤスリ						EN		
12	ヒロハナヤスリ						EN	EN	EN
13	ヤシャゼンマイ						VU	DD	VU
14	ウラジロ						NT		NT
15	デンジソウ					VU	CR	EX	EX
16	オオアカウキクサ					EN	EX	DD	CR
17	アカウキクサ					EN	DD		
18	サンショウモ					VU	EN	CR	CR
19	コバノイシカグマ						NT		VU
20	ミズワラビ						NT		
21	ミヤマウラジロ						NT		NT
22	ウスヒメワラビ						NT		VU
23	イワウサギシダ						VU		CR
24	クモノスシダ						NT	CR	NT
25	ケヒメシダ						EN	EX	EN
26	オサシダ								NT
27	シシガシラ							DD	NT
28	コモチシダ						EN	CR	EN
29	セイタカシケシダ							CR	NT
30	フモトシケシダ							VU	NT
31	ホソバナライシダ							EN	VU
32	シノブカグマ						NT		NT
33	メヤブソテツ						NT	EX	VU
34	ミヤコヤブソテツ								CR
35	オオクジャクシダ								CR
36	マルバベニシダ						NT		EN
37	ギフベニシダ						DD		CR
38	キヨスミヒメワラビ						NT		

表 3.2-39(2) 重要種一覧（維管束植物）

No.	種名	重要種選定基準							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑨	⑩
39	トウゴクシダ							CR	VU
40	ミヤマクマワラビ								VU
41	ヒメイタチシダ								EN
42	アスカイノデ							VU	VU
43	アイアスカイノデ							VU	VU
44	オオキヨズミシダ						EN		EN
45	サイゴクイノデ						VU		
46	シノブ								VU
47	イチイ								CR
48	ジュンサイ						EX	EX	EW
49	オニバス					VU	CR	CR	CR
50	コウホネ						NT	VU	VU
51	ヒツジグサ						EX	EX	EX
52	チョウセンゴミシ						EN		CR
53	ハンゲショウ						VU	EN	EN
54	ウマノスズクサ							VU	VU
55	カンアオイ						NT		
56	ウスバサイシン						NT		CR
57	ショウブ							VU	NT
58	マイヅルテンナンショウ					VU	CR	EX	EX
59	ヒロハテンナンショウ						EN		
60	ウラシマソウ						NT		
61	ヘラオモダカ						NT	EN	VU
62	サジオモダカ						EN	DD	CR
63	アギナシ					NT	CR	EX	CR
64	ウリカワ						NT	DD	CR
65	スブタ					VU	EX	EX	EX
66	ヤナギスブタ						EX	EX	EX
67	クロモ						EN	CR	CR
68	トチカガミ					NT	VU	EX	CR
69	ホッスモ						DD	EX	EX
70	トリゲモ					VU	EN	DD	DD
71	ミズオオバコ					VU	VU	CR	CR
72	コウガイモ						VU	CR	EN
73	セキショウモ						NT	EX	EN
74	イトモ					NT	VU	CR	CR
75	エビモ						NT	CR	EN
76	ヒルムシロ						NT	CR	EN

表 3.2-39(3) 重要種一覧（維管束植物）

No.	種名	重要種選定基準							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑨	⑩
77	センニンモ						NT	EX	DD
78	ホソバミズヒキモ							DD	DD
79	ヤナギモ						NT	DD	VU
80	ササバモ						NT	VU	VU
81	ノギラン						NT		
82	ニガカシュウ							NT	NT
83	オオチゴユリ								CR
84	カタクリ						NT	VU	VU
85	ヒメアマナ					EN	EX	EX	EX
86	ホソバノアマナ						NT		
87	ヤマジノホトトギス							DD	NT
88	ホトトギス						VU	DD	VU
89	ヤマホトトギス						EN		
90	アマナ						NT	VU	VU
91	ヒロハノアマナ					VU	EN	EX	EN
92	シラン					NT	EN		
93	エビネ					NT	EN	CR	NT
94	ギンラン						VU	EN	EN
95	キンラン					VU	EN	VU	NT
96	ササバギンラン						NT	VU	NT
97	サイハイラン						NT		
98	シュンラン						NT		
99	クマガイソウ					VU	CR	EX	CR
100	アキザキヤツシロラン						EN		VU
101	オニノヤガラ						VU	CR	EN
102	クモキリソウ						NT		VU
103	コ克蘭						EN	VU	NT
104	オオバノトンボソウ						NT		
105	トキソウ					NT	CR		EX
106	カキツバタ					NT	CR	EN	CR
107	アヤメ						NT	EX	EN
108	ゼンテイカ						VU		VU
109	ノカンゾウ							DD	NT
110	ヒメニラ						NT	EX	VU
111	ヤマラッキョウ						VU	EX	CR
112	キツネノカミソリ						NT	VU	VU
113	キジカクシ						NT		CR
114	スズラン						EX		

表 3.2-39(4) 重要種一覧（維管束植物）

No.	種名	重要種選定基準							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑨	⑩
115	ユキザサ								VU
116	ワニグチソウ						NT	VU	VU
117	アマドコロ							VU	VU
118	ミズアオイ					NT	CR	EX	EX
119	ミクリ					NT	NT	VU	VU
120	ヒロハノイヌノヒゲ						VU	EX	EN
121	ホシクサ						EN	EX	EN
122	イトイヌノヒゲ						EN	EX	EN
123	イヌノヒゲ						EN		
124	ハナビゼキショウ							DD	EN
125	ヒロハノコウガイゼキショウ							EX	CR
126	タチコウガイゼキショウ							CR	CR
127	アオコウガイゼキショウ							DD	NT
128	ホソイ							NT	NT
129	ハリコウガイゼキショウ							CR	CR
130	ヤマスズメノヒエ							VU	VU
131	ウキヤガラ							NT	VU
132	イトハナビテンツキ							EX	NT
133	トダスゲ					CR	CR	VU	VU
134	クロカワズスゲ						VU	CR	EN
135	マツバスゲ							EX	VU
136	ジョウロウスゲ					VU	CR		CR
137	ヌマアゼスゲ					VU	CR	EX	EX
138	タマツリスゲ							EX	VU
139	サナギスゲ						VU		VU
140	ヤマアゼスゲ						NT	EX	VU
141	ホソバヒカゲスゲ							VU	VU
142	ウマスゲ						NT	VU	EN
143	テキリスゲ							EX	NT
144	アズマスゲ						NT		EN
145	ヤガミスゲ							NT	VU
146	タチスゲ						NT	EX	EN
147	ヒメシラスゲ						VU		VU
148	ミコシガヤ							NT	NT
149	アワボスゲ						VU	EX	CR
150	ヤチカワズスゲ						EX	EX	EX
151	ヒメゴウソ						NT	EX	CR
152	ホンモンジスゲ							VU	VU

表 3.2-39(5) 重要種一覧（維管束植物）

No.	種名	重要種選定基準							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑨	⑩
153	タカネマスクサ						NT	EX	EN
154	コウボウシバ							NT	NT
155	クサスゲ							CR	EN
156	オニナルコスゲ						EN	EX	EX
157	カンエンガヤツリ					VU	VU	NT	VU
158	アオガヤツリ							NT	NT
159	シロガヤツリ						VU	EN	EN
160	ミズガヤツリ							NT	VU
161	ヒメガヤツリ						VU		EX
162	セイタカハリイ							EN	EN
163	クロハリイ							EX	EX
164	クログワイ							CR	EN
165	オオヌマハリイ						EN	EX	EX
166	コツブヌマハリイ					VU	CR	EX	CR
167	シカクイ							EX	VU
168	コアゼテンツキ						NT	VU	VU
169	ノテンツキ						EN	DD	CR
170	クロテンツキ							CR	EN
171	アゼテンツキ						EN	VU	VU
172	ハタケテンツキ					EN	CR		
173	メアゼテンツキ							VU	EN
174	コイヌノハナヒゲ						DD		EX
175	ヒメホタルイ						VU		CR
176	タタラカンガレイ						CR	CR	CR
177	カンガレイ							VU	VU
178	コマツカサススキ						EN	EN	EN
179	マツカサススキ						NT	EN	EN
180	ハネガヤ						NT	DD	VU
181	セトガヤ						NT	DD	NT
182	コウボウ							DD	VU
183	チョウセンガリヤス							VU	VU
184	カリマタガヤ						VU	EX	NT
185	ムツオレグサ						NT	DD	VU
186	アズマガヤ						NT		NT
187	ミノボロ							DD	VU
188	アシカキ							EN	EN

表 3.2-39(6) 重要種一覧（維管束植物）

No.	種名	重要種選定基準							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑨	⑩
189	エゾノサヤヌカグサ							NT	NT
190	アゼガヤ							DD	VU
191	ヌマガヤ						EN	CR	CR
192	セイタカヨシ						VU	DD	DD
193	ウキシバ						VU	DD	DD
194	ヌメリグサ							EX	NT
195	アズマザサ							DD	NT
196	ウシクサ						NT		
197	ヒゲシバ						NT	CR	VU
198	メガルカヤ							DD	VU
199	マツモ						VU	EN	EN
200	ヤマブキソウ						NT	CR	CR
201	コウモリカズラ						NT	EX	EN
202	イカリソウ						NT	CR	VU
203	ツクバトリカブト							DD	VU
204	フクジュソウ						NT		EN
205	ニリンソウ							EN	NT
206	イチリンソウ						NT	VU	NT
207	アズマイチゲ						NT	CR	VU
208	サラシナショウマ							EX	VU
209	トウゴクサバノオ						NT		VU
210	コキツネノボタン					VU	EN		
211	ヒキノカサ					VU	CR	EW	EW
212	バイカモ						EN	EX	CR
213	ヒメウス						VU		
214	ノカラマツ					VU	VU	EX	EX
215	ツゲ								EN
216	ヤマシャクヤク					NT	VU		EN
217	トサミズキ					NT			
218	チダケサシ							VU	NT
219	ネコノメソウ						NT	VU	NT
220	ヤマネコノメソウ							VU	VU
221	ミツバベンケイソウ						VU		
222	タコノアシ					NT	VU	VU	NT
223	ホザキノフサモ						EN	CR	EN
224	フサモ						NT	EX	DD
225	クサネム							EN	EN
226	ホドイモ								VU

表 3.2-39(7) 重要種一覧（維管束植物）

No.	種名	重要種選定基準							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑨	⑩
227	カワラケツメイ							VU	VU
228	ノアズキ							DD	CR
229	レンリソウ						EN	EX	EN
230	キハギ							EN	VU
231	イヌハギ					VU	VU	EN	EN
232	マキエハギ							CR	VU
233	タンキリマメ							CR	CR
234	クララ							CR	VU
235	ツルフジバカマ							CR	EN
236	クサフジ							CR	CR
237	ヒメハギ							EN	VU
238	エドヒガン								EN
239	ズミ								VU
240	カワラサイコ						VU	CR	VU
241	シロヤマブキ					EN			
242	ナガボノワレモコウ						NTorVU		
243	クロツバラ						EN	EX	CR
244	クロウメモドキ							DD	EN
245	ハルニレ								NT
246	トキホコリ					VU	VU	EX	EN
247	カテンソウ							VU	VU
248	ミズ							EX	NT
249	ホソバイラクサ						DD		
250	アカガシ						NT		
251	ナラガシワ								EN
252	ハンノキ							VU	VU
253	シラカンバ								NT
254	ハシバミ							EX	EX
255	ゴキヅル						VU	VU	EN
256	イワウメヅル							EX	NT
257	オオツルウメモドキ								VU
258	サワダツ								EN
259	トモエソウ						VU	EX	EN
260	アゼオトギリ					EN	CR	EX	EX
261	ミゾハコベ							CR	CR
262	ヒゴスミレ						NT		VU
263	エゾアオイスミレ						NT		EN
264	タチスミレ					VU	CR	EX	EX
265	アケボノスミレ						NT		

表 3.2-39(8) 重要種一覧（維管束植物）

No.	種名	重要種選定基準							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑨	⑩
266	フモトスミレ							DD	VU
267	ヒカゲスミレ							DD	NT
268	ジャヤナギ							NT	NT
269	オオキツネヤナギ							EX	CR
270	ノウルシ					NT	VU	EX	EX
271	ニシキソウ							NT	NT
272	センダイタイゲキ					NT		EX	CR
273	ヤマアイ						CR		
274	ヒメミソハギ						NT		
275	エゾミソハギ						EN	EX	DD
276	ミズマツバ					VU	VU	CR	CR
277	ヒメビシ					VU	EN	EX	—
278	ヒシ						NT	NT	CR
279	オニビシ						NT	DD	DD
280	ウスゲチヨウジタデ					NT	VU	CR	EN
281	ミズユキノシタ						CR	EX	CR
282	ミズキンバイ					VU	DD	DD	DD
283	タチタネツケバナ							DD	NT
284	コンロンソウ								CR
285	イヌナズナ							DD	NT
286	コイヌガラシ					NT	NT	DD	NT
287	ハタザオ						VU	EX	EN
288	マツグミ						EN		NT
289	ヒメタデ					VU	EN	CR	CR
290	ナガバノウナギツカミ					NT	EX	EX	EX
291	シロバナサクラタデ						NT	NT	EN
292	サデクサ							EN	EN
293	サクラタデ							EN	VU
294	ヌカボタデ					VU	EN	EX	CR
295	ホソバイヌタデ					NT	EN	EN	EN
296	コギシギシ					VU	VU	VU	VU
297	ノダイオウ					VU	CR	EX	EX
298	カワラナデシコ						VU	DD	EN
299	ワチガイソウ						NT		VU
300	ワダソウ						NT	EX	EN
301	ナンパンハコベ						NT		NT
302	フシグロ							EX	VU
303	フシグロセンノウ						NT	EX	EN
304	イトハコベ					VU	CR		

表 3.2-39(9) 重要種一覧（維管束植物）

No.	種名	重要種選定基準							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑨	⑩
305	ヤナギイノコヅチ							EN	EN
306	カワラアカザ						EN	DD	DD
307	ツルナ							NT	NT
308	ワタラセツリフネソウ						EN		
309	ノジトラノオ					VU	EN	CR	EN
310	ヌマトラノオ						NT	VU	VU
311	サワトラノオ					EN	CR	EX	EX
312	クサレダマ						CR	EX	EN
313	サクラソウ					NT	CR	EX	EX
314	シャクジョウソウ						NT	DD	VU
315	キクムグラ						NT	EN	EN
316	キヌタソウ							EX	EN
317	ヤブムグラ					VU		EX	EN
318	ハナムグラ					VU	EN	EX	EX
319	フタバムグラ							EX	EN
320	ハクチョウゲ					EN			
321	リンドウ							DD	NT
322	センブリ						VU	EX	VU
323	イヌセンブリ					VU	EX	EX	EX
324	ヒメナエ					VU	CR		EX
325	アイナエ						NT	CR	EN
326	チョウジソウ					NT	EN	EX	EX
327	コカモメヅル						NT	EX	CR
328	タチガシワ						NT		NT
329	スズサイコ					NT	EN	EX	EN
330	ルリソウ						EX	EX	EX
331	マメダオシ					CR	EN	EX	EX
332	イガホオズキ							CR	VU
333	ミズハコベ							CR	EN
334	サワトウガラシ						CR	DD	EN
335	アブノメ						NT	CR	EN
336	オオアブノメ					VU	EN	EX	EN
337	シソクサ						EN	DD	CR
338	キクモ						NT	CR	EN
339	トウオオバコ							NT	NT
340	イヌノフグリ					VU	NT	EN	EN
341	ヤマトラノオ						CR	EX	CR
342	カワヂシャ					NT	VU	VU	VU
343	フジウツギ							DD	NT

表 3.2-39(10) 重要種一覧（維管束植物）

No.	種名	重要種選定基準							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑨	⑩
344	キタミソウ					VU	EN		
345	ゴマノハグサ					VU	CR	EX	DD
346	オオヒナノウスツボ							EX	EN
347	スズメノトウガラシ						EN	EX	EN
348	ハグロソウ						NT	VU	NT
349	イヌタヌキモ					NT		DD	EN
350	タヌキモ					NT	CR		
351	クマツヅラ						VU		
352	ツルカコソウ					VU	EX	EX	CR
353	コムラサキ							CR	DD
354	フトボナギナタコウジュ								VU
355	ヒキオコシ							EX	VU
356	メハジキ							EN	EN
357	シロネ							VU	VU
358	ヒメシロネ							VU	VU
359	ハッカ							VU	VU
360	ヒメハッカ					NT	EN	EX	EX
361	ミズネコノオ					NT	EX	CR	CR
362	ミゾコウジュ					NT	NT	VU	VU
363	ヒメナミキ						EN	EX	EX
364	シソバタツナミ							CR	VU
365	カリガネソウ						EN	EW	CR
366	ミゾホオズキ							EX	NT
367	ナンバンギセル						VU		
368	ママコナ						NT		
369	クチナシグサ						NT	EX	VU
370	コシオガマ							DD	VU
371	ヒキヨモギ						NT	DD	EN
372	ソバナ							EX	NT
373	バアソブ					VU	EN	EX	EN
374	キキョウ					VU	CR	EX	CR
375	ミツガシワ							CR	CR
376	ヒメシロアサザ					VU	EN		
377	ガガブタ					NT	CR	EX	EX
378	アサザ					NT	VU	EN	EN
379	ヤマハハコ							EX	NT
380	カワラハハコ						VU	CR	CR
381	カワラヨモギ						VU	DD	VU
382	イヌヨモギ							EX	VU

表 3.2-39(11) 重要種一覧（維管束植物）

No.	種名	重要種選定基準							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑨	⑩
383	ヒメシオン						VU	EX	EN
384	オケラ							EX	NT
385	タウコギ						NT	CR	EN
386	キクタニギク					NT	NT	EN	NT
387	タカアザミ							VU	VU
388	キセルアザミ							EX	CR
389	タカサブロウ							留	留
390	フジバカマ					NT	NT	CR	CR
391	オグルマ						NT	CR	CR
392	ホソバオグルマ					VU	EN	DD	CR
393	カセンソウ						NT	CR	EN
394	ノニガナ						NT	NT	NT
395	カワラニガナ					NT	VU	EX	VU
396	オオニガナ						CR	DD	CR
397	テバコモミジガサ						NT		
398	アキノハハコグサ					EN	CR	EX	CR
399	ミヤコアザミ						EN	EX	CR
400	タカオヒゴタイ						CR		NT
401	ハバヤマボクチ						VU		
402	エゾタンポポ					NT			
403	オカオグルマ						EN	EX	CR
404	サワオグルマ						EN	EX	EX
405	オナモミ					VU	VU	EX	EX
406	レンブクソウ								VU
407	ゴマキ						NT	EX	EN
408	キンレイカ						NT		EN
409	オミナエシ						EN	EX	EN
410	ツルカノコソウ						NT		
411	エキサイゼリ					NT	CR	EX	EX
412	ホタルサイコ						NT	EX	EN
413	イブキボウフウ						VU	EX	CR
414	シムラニンジン					VU	CR	EX	EX
415	ヌマゼリ					VU	CR	EX	EX
計	415種	0種	0種	0種	0種	92種	277種	312種	369種

注) 分類・配列・種名については、主に「植物目録 1987」（昭和62年、環境庁）に準拠した。

表 3.2-40 重要種一覧（藻類）

No.	種名	重要種重要選定基準							
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑨	⑩
1	カワモズク					VU		VU	
2	アオカワモズク					NT		DD	
3	オオイシソウ					VU		DD	
4	カワノリ					VU		DD	
5	シャジクモ					VU		VU	
6	カタシャジクモ					CR+EN		DD	
7	ハダカシャジクモ					CR+EN		DD	
8	チャボフラスコモ					CR+EN		DD	
9	ヒメフラスコモ					CR+EN		DD	
10	ニッポンフラスコモ					CR+EN		DD	
11	ナガフラスコモ					CR+EN		DD	
計	11種	0種	0種	0種	0種	11種	0種	11種	0種

注) 分類・配列・種名については、主に「東京都レッドデータブック（本土部）2023」（令和5年、東京都）に準拠した。

2) 巨樹・巨木林

「自然環境調査 巨樹・巨木林（第４回・第６回）」に該当する樹木の一覧を表 3.2-41 に、位置を図 3.2-19 に示す。

調査範囲及びその周辺において、ケヤキやスダジイ等の計 51 本の巨樹・巨木に該当する樹木が確認された。調査範囲内では計 12 本確認されているが、最近傍のイチョウが対象事業実施区域から 1km 程度離れており、対象事業実施区域及びその近傍に巨樹・巨木に該当する樹木はみられなかった。

表 3.2-41 確認された巨樹・巨木に該当する樹木

科名	樹種名	本数		合計
		調査範囲内	調査範囲外	
イチョウ	イチョウ	4	6	10
アサ	エノキ	0	1	1
クスノキ	クスノキ	2	5	7
ニレ	ケヤキ	0	12	12
コウヤマキ	コウヤマキ	0	1	1
マメ	サイカチ	1	0	1
ブナ	シイノキ	0	1	1
	スダジイ	4	9	13
クスノキ	タブノキ	1	2	3
アサ	ムクノキ	0	1	1
ムクロジ	ムクロジ	0	1	1
合計		12	38	51

3) 天然記念物

調査範囲及びその周辺で確認された天然記念物の一覧を表 3.2-42 に、位置を図 3.2-19 に示す。

埼玉県及び東京都及び関係市区町村のホームページによると、調査範囲において、埼玉県川口市指定の天然記念物が 3 箇所を確認された。なお、国指定、県指定の天然記念物はみられなかった。

表 3.2-42 調査範囲内に位置する天然記念物

指定	名称	所在地	所有者
川口市	地藏院のタブノキ	桜町5丁目5番39	宗教法人・地藏院
川口市	真乗院のコウヤマキ	大字石神1253番	宗教法人・真乗院
川口市	峯ヶ岡八幡神社の社叢	大字峯1304番他	宗教法人・峯ヶ岡八幡神社

出典：「川口の文化財」（令和6年7月閲覧、川口市立文化財センターホームページ）

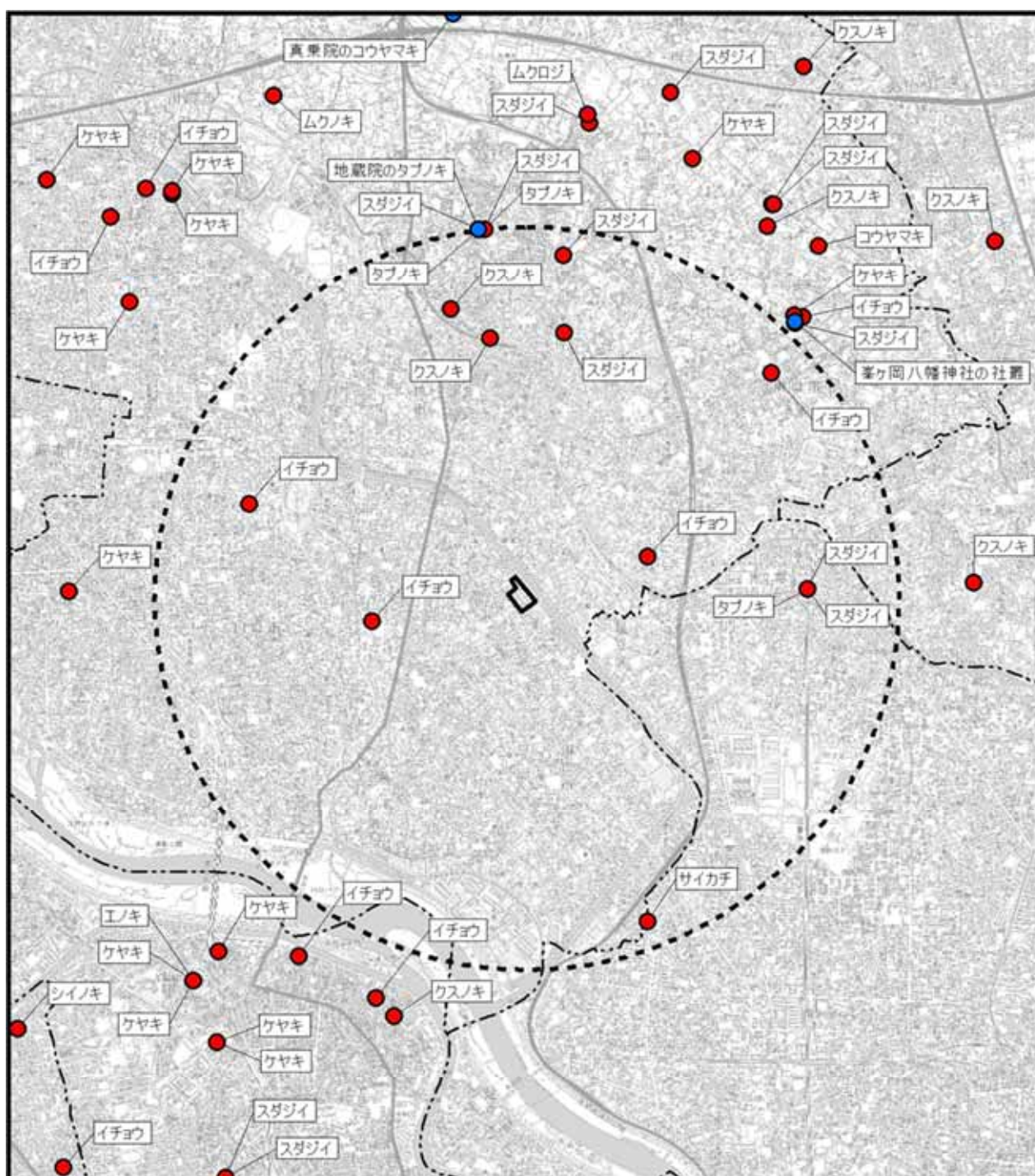


図 3.2-19 巨樹・巨木林及び天然記念物位置

凡 例

 : 対象事業実施区域

□□□□ : 調查範圍

— — — : 行政界

● : 巨樹・巨木林

●：天然記念物

出典：「第4回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林」
(環境庁、1991年)

1:50,000

この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

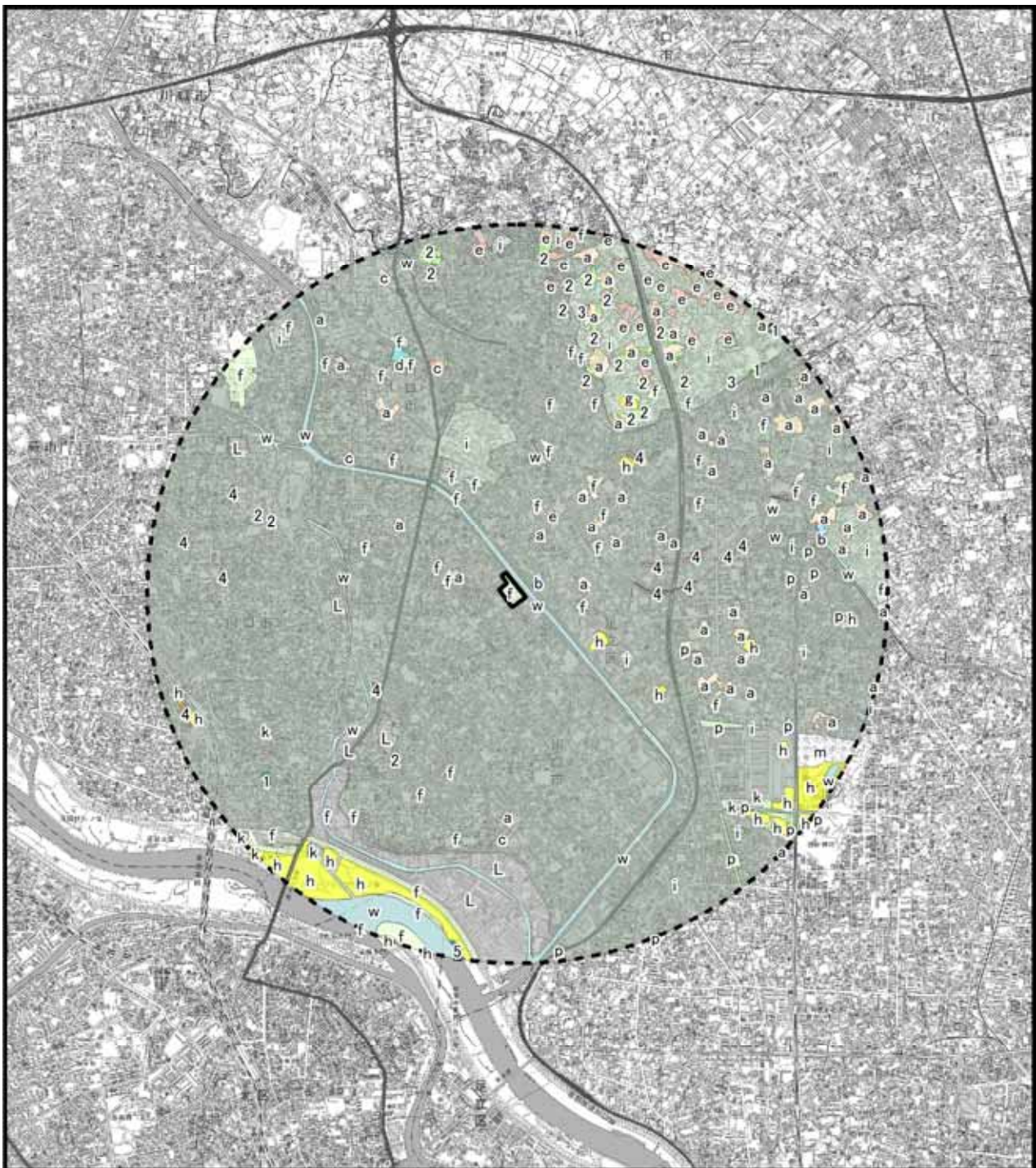
(3) 植生

1) 現存植生

調査範囲及びその周辺の現存植生を図 3.2-20 に示す。

調査範囲内は市街地が大部分を占める。北側の一部に緑の多い住宅街がまとまっており、その中で果樹園、クヌギーコナラ群集等が点在している。また、南側の一部は荒川本川がみられ、工場地帯、ゴルフ場・芝地及び開放水域等が含まれる。調査範囲内の中央を北から南へ横切るように荒川に合流する都市河川（新芝川）が位置するが、その周辺には、路傍・空地雑草群落、水田雑草群落、畑雑草群落などがわずかにみられるのみでほとんど植生はみられない。

対象事業実施区域は、路傍・空地雑草群落として区分されており、現在は「朝日環境センター」として稼働中である。開放水域で区分される都市河川（新芝川）の右岸に隣接する。



凡 例

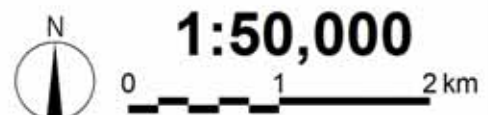
- 対象事業実施区域
- 調査範囲
- 1 ヤブコウジースダジイ群集
- 2 クヌギ・コナラ群集
- 3 スギ・ヒノキ・サワラ植林
- 4 その他植林
- 5 ヨシクラス
- d 放棄水田雑草群落
- c 放棄畑雑草群落

- f 路傍・空地雑草群落
- h ゴルフ場・芝地
- p 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
- e 果樹園
- i 緑の多い住宅地
- b 水田雑草群落
- a 畑雑草群落
- g 牧草地
- L 工場地帯

- k 市街地
- m 造成地
- w 開放水域

図 3.2-20 現存植生図

出典：「第6回・7回自然環境保全基礎調査 植生調査」
(令和6年8月閲覧、環境省) を加工して作成



この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

2) 植生自然度及び希少な群落

調査範囲内で確認された群落及び植生自然度の一覧を表 3.2-43 に示す。

調査範囲内の希少な群落は、自然度の高い群落（自然林）に区分されるヤブコウジースタジイ群集であるが、南西側及び北東側の 2km 以上離れた場所にある。なお、「埼玉県レッドデータブック 2011 植物編（埼玉県、2012 年）」及び「東京都レッドデータブック（本土部）2023（東京都、2023 年）」における希少な群落は確認されなかった。

表 3.2-43 調査範囲内で確認された群落及びその植生自然度

植生 自然度	区分内容	記号	群落名	割合 (%)
9	自然林	1	ヤブコウジースタジイ群集	0.06
7	二次林	2	クスギーコナラ群集	0.50
6	植林地	3	スギ・ヒノキ・サワラ植林	0.02
		4	その他植林	0.16
5	二次草原（背の高い草原）	5	ヨシクラス ^{注)}	0.02
4	二次草原（背の低い草原）	d	放棄水田雑草群落	0.04
		c	放棄畑雑草群落	0.08
		f	路傍・空地雑草群落	2.01
		h	ゴルフ場・芝地	1.89
3	外来種植林 農耕地（樹園地）	p	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等	0.46
		e	果樹園	0.78
2	外来種草原 農耕地（水田・畑）	i	緑の多い住宅地	6.42
		b	水田雑草群落	0.05
		a	畑雑草群落	1.49
		g	牧草地	0.04
1	市街地等	L	工場地帯	3.30
		k	市街地	79.72
		m	造成地	0.36
-	-	w	開放水域	2.60
合計				100.00

注) 「1/2.5万植生図の新たな植生自然度について」（平成28年3月31日（木）環境省自然環境局生物多様性センター 報道発表資料）の資料2「<http://www.biodic.go.jp/syokuseisizendo.xlsx>」に準拠する。資料2ではヨシクラスは自然度10に該当するが、「都市河川や埋立地等の人工的に造成された立地に成立するものは、利用者が群落の立地を確認の上、自然度5にする。」と整理方針にあるため荒川河川敷の立地に鑑み自然度5として扱った。

3) 特定植物群落

調査範囲には、特定植物群落に該当する群落は確認されなかった。

(4) 緑の量

表 3.2-43 に示すとおり、面積を上位順に 5 つあげると、市街地 79.72%、緑の多い住宅地 6.42%、工場地帯 3.3%、開放水域 2.6%、路傍・空地雑草群落 2.01%、ゴルフ場・芝地 1.89%である。

調査範囲内は市街地、緑の多い住宅地、工場地帯で 9 割を占めていた。

草地は 4.06%(路傍・空地雑草群落 2.01%、ゴルフ場・芝地 1.89%、放棄畑雑草群落は 0.08%、放棄水田雑草群落 0.04%、牧草地 0.04%)で全体の約 25 分の 1、樹林は 0.74%(クヌギ・コナラ群集 0.5%、その他植林 0.16%、ヤブコウジースダジイ群集 0.06%、スギ・ヒノキ・サワラ植林 0.02%)と全体の 1%以下であり、草地と樹林を合わせても 5%程度と緑の量は少ない。

(5) 生態系

環境類型区分の概要を表 3.2-44 に、環境類型区分図を図 3.2-21 に、類型区分ごとの生態系の概要を表 3.2-45 にそれぞれ示す。

対象事業実施区域は、すでに稼働中の「朝日環境センター」であり、敷地内は路傍・空地雑草群落として分類されている。その敷地の北東側に隣接して新芝川が流れている。

対象事業実施区域及びその周囲は、埼玉県の一部低地帯に位置しており、全体的に標高 A.P.+1m前後の極めて低平な地形面をなしている。調査範囲内の大部分は市街地であり、新芝川を境界として対象事業実施区域のある西側にはほぼ樹林及び草地はみられない。東側はクヌギ・コナラ群集、畑雑草群落及び果樹園及び路傍・空地雑草群落等が狭い範囲で市街地内に点在する。

このような環境を反映して、樹林地では、生産者としてスダジイ、コナラ、シロダモ等の植物、一次消費者としてヒメネズミ等の哺乳類、メジロ、キジバト等の鳥類、アオスジアゲハ、コクワガタ等の昆虫類、中位消費者として、アズマモグラ等の哺乳類、シジュウカラ、コゲラ等の鳥類、アオダイショウ等の爬虫類、クロスズメバチ等の昆虫類、上位消費者として、タヌキ等の哺乳類、モズ等の鳥類が生息する生態系が構築されているものと考えられる。

草地、耕作地、市街地では、生産者としてメヒシバ、ハマスゲ、スベリヒユ等の植物、一次消費者としてノウサギ、アカネズミ等の哺乳類、スズメ、ムクドリ等の鳥類、コバネイナゴ、ベニシジミ等の昆虫類、中位消費者として、アブラコウモリ等の哺乳類、ホオジロ、ツバメ等の鳥類、ニホンカナヘビ等の爬虫類、コカマキリ等の昆虫類、上位消費者として、ニホンイタチ等の哺乳類、チョウゲンボウ等の鳥類が生息する生態系が構築されているものと考えられる。

水辺植生及び開放水域では、生産者としてヨシ、オギ、ガマ等の植物、一次消費者として、カルガモ、マガモ等の鳥類、ヤナギハムシ、コムラサキ等の昆虫類、水生昆虫類等の底生動物、中位消費者としてカワセミ、オオヨシキリ等の鳥類、ミシシippアカミミガメ等の爬虫類、ウシガエル等の両生類、ギンヤンマ等の昆虫類、ボラ、マハゼ等の

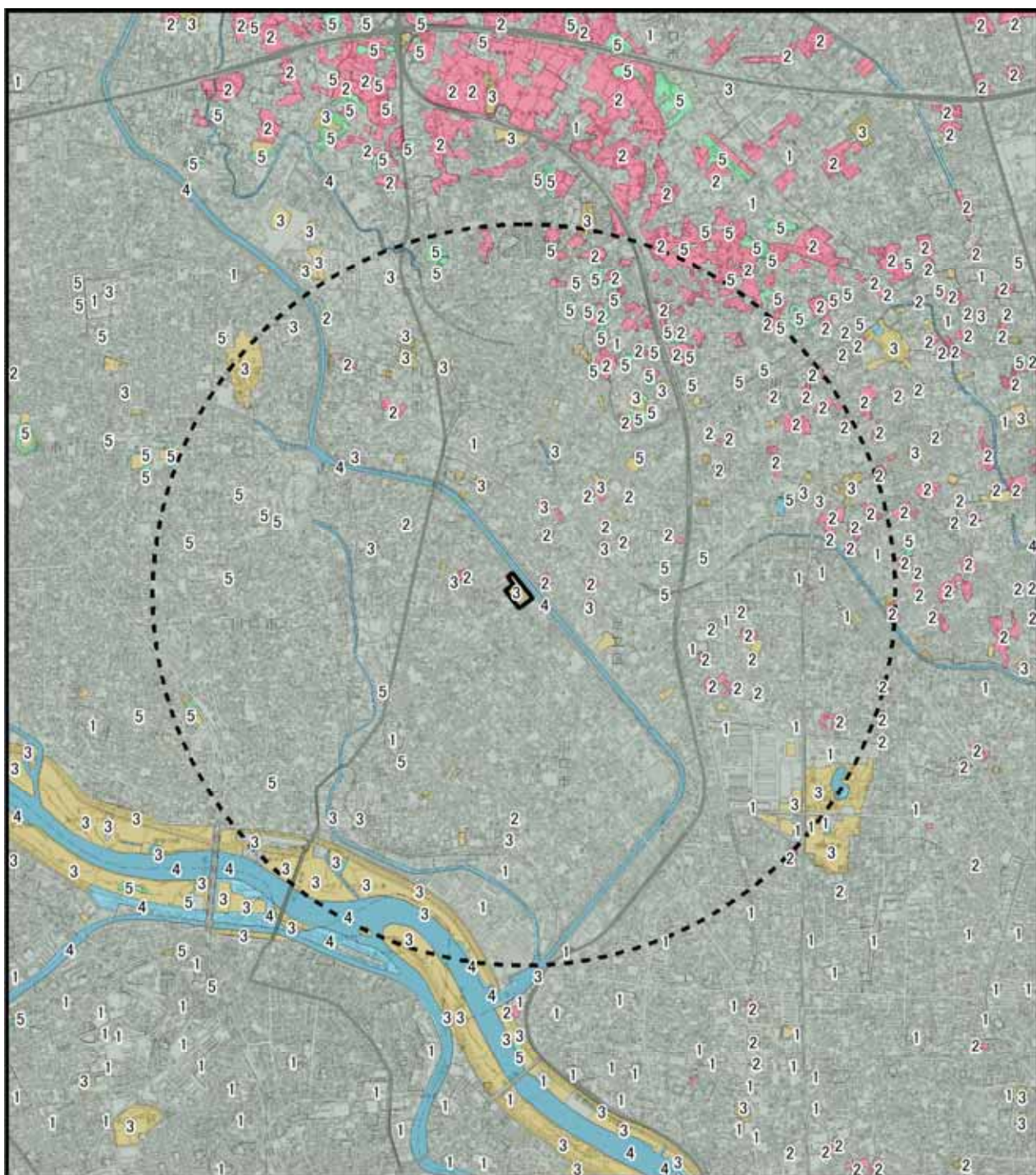
魚類、上位消費者としてアオサギ、ミサゴ等の鳥類が生息する水域生態系が構築されているものと考えられる。

表 3.2-44 環境類型区分の概要

環境類型区分	生産者	地形区分の概要	植生区分の概況	生息・生育基盤の種類
平地	樹林地	・低平な地形面 ・広範囲で人為的に改変がされている	ヤブコウジースダジイ群集、クヌギ・コナラ群集、スギ・ヒノキ・サワラ植林、その他植林	樹林地
	草地		放棄水田雑草群落、放棄畑雑草群落、路傍・空地雑草群落、牧草地	乾性草地・湿性草地
	耕作地		果樹園、水田雑草群落、畑雑草群落	
	市街地		残存・植栽樹群をもった公園、墓地等、緑の多い住宅地、工場地帯、市街地、造成地	—
河川環境	草地	・対象事業実施区域の北側から南側に直線状に流れる	路傍・空地雑草群落、ゴルフ場・芝地	水域・水辺
	水域		ヨシクラス、開放水域	

表 3.2-45 類型区分ごとの生態系の概要

環境類型区分	生産者	一次消費者	中位消費者	上位消費者
樹林地	スダジイ コナラ シロダモ ヤブコウジ ジャノヒゲ ヤブツバキ アズマネザサ エノキ ヤツデ	【哺乳類】 ・ヒメネズミ 【鳥類】 ・メジロ ・キジバト 【昆虫類】 ・アオスジアゲハ ・コクワガタ	【哺乳類】 ・アズマモグラ 【鳥類】 ・シジュウカラ ・コゲラ 【爬虫類】 ・アオダイショウ 【昆虫類】 ・クロスズメバチ	【哺乳類】 ・タヌキ 【鳥類】 ・モズ
草地 耕地 市街地	メヒシバ ハキダメギク ハマスゲ スベリヒユ コナギ イヌビエ ドクダミ アメリカオニアザ ミ ナガミヒナゲシ	【哺乳類】 ・ノウサギ ・アカネズミ 【鳥類】 ・スズメ ・ムクドリ 【昆虫類】 ・コバネイナゴ ・ベニシジミ	【哺乳類】 ・アブラコウモリ 【鳥類】 ・ホオジロ ・ツバメ 【爬虫類】 ・ニホンカナヘビ 【昆虫類】 ・コカマキリ	【哺乳類】 ・ニホンイタチ 【鳥類】 ・チョウゲンボウ
水辺植生 及び 開放水域	ヨシ オギ マコモ ガマ ミゾソバ コゴメイ オオカナダモ キシヨウブ	【鳥類】 ・カルガモ ・マガモ 【昆虫類】 ・ヤナギハムシ ・コムラサキ 【底生動物】 ・水生昆虫類	【鳥類】 ・カワセミ ・オオヨシキリ 【爬虫類】 ・ミシシippアカミミ ガメ 【両生類】 ・ウシガエル 【昆虫類】 ・ギンヤンマ 【魚類】 ・ボラ ・マハゼ	【鳥類】 ・アオサギ ・ミサゴ



凡 例

- 対象事業実施区域
- 調査範囲
- 1 市街地
- 2 樹林
- 3 水辺植生及び開放水域
- 4 耕作地
- 5 草地

出典：「第6回・7回自然環境保全基礎調査 植生調査」
（令和6年8月閲覧、環境省）を加工して作成

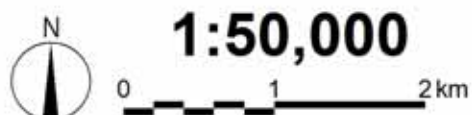


図 3.2-21 環境類型区分図

この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

3.2.6. 景観、自然とのふれあいの場の状況

(1) 景観

1) 景観資源

対象事業実施区域及びその周囲には、「第 3 回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 埼玉県」（平成元年、環境庁）によると自然景観資源は存在しないが、「埼玉県景観資源データベース」（令和 6 年 7 月閲覧、埼玉県ホームページ）によると、表 3.2-46 及び図 3.2-22 に示すとおり、景観資源が 12 箇所存在する。

また、文化財保護法（昭和 25 年 5 月、法律第 214 号）及び文化財保護条例等により指定されている景観資源となる史跡、名勝等は、「3.2.7. 文化財その他の生活環境の状況」の表 3.2-49 及び図 3.2-24 に示すとおりである。

なお、いずれの景観資源も対象事業実施区域周辺には存在しておらず、対象事業実施区域周辺は眺望対象にならないと考えられる。

表 3.2-46(1) 景観資源の状況（埼玉県景観資源データベース）

No.	区分	名称	所在地
1	まちなみ	銀座、ふじの市ショッピングモール	川口市栄町3丁目地内 幸町2丁目地内
2	公園・広場	コンフォール東鳩ヶ谷と「住塚」	川口市桜町
3	建築物	リリアパーク駐輪場	川口市川口3丁目地内
4		川口市立文化財センター分館・ 国登録有形文化財旧田中家住宅	川口市末広1丁目
5		アーバンヒルズ	川口市南鳩ヶ谷
6		"川口市立アートギャラリー "アトリア"とリボンシティの緑計画"	川口市並木元町
7		川口緑化センター	川口市安行領家
8		川口総合文化センター（リリア）	川口市川口
9		川口グリーンゴルフ	川口市安行領根岸
10		株式会社佐々木テラー幸町店	川口市幸町
11		キャメリア	川口市川口本町
12		キューポ・ラ	川口市川口1丁目

注）No.は図 3.2-22と対応している。

出典：「埼玉県景観資源データベース」（令和6年7月閲覧、埼玉県ホームページ）

表 3.2-46(2) 景観資源の状況（足立区特別景観形成地区）

No.	特別景観形成地区	景観形成の目標
13	隅田川沿川地区	水辺の開放感を確保した景観の形成
14	日暮里・舎人ライナー沿線地区	車窓からの眺めに配慮した緑豊かな景観の形成
15	見沼代親水公園周辺地区	親水公園の水と緑を活かした景観の形成
16	西新井大師地区	西新井大師の歴史と文化が感じられる景観の形成

注）No.は図 3.2-22と対応している。

出典：「第二次足立区景観計画」（令和3年1月、足立区）

表 3.2-46(3) 景観資源の状況（北区）

No.	区分	名称	所在地
17	北区を 代表する 景観10選	旧岩淵水門（赤水門）	志茂5丁目41番先
18		北区花火大会	志茂5丁目41番先
19		赤羽桜並木と赤羽台さくら並木公園	赤羽台4丁目17番、赤羽北3丁目3番～ 赤羽台3丁目18,19番
20		赤羽自然観察公園とふるさと農家体験館	赤羽西5丁目2番

注）No.は図 3.2-22と対応している。

出典：「北区を代表する景観10選 2019」（令和6年7月閲覧、北区ホームページ）



図 3.2-22 景観資源の状況

凡 例

□ : 対象事業実施区域

—●— : 都県界

— : 区界

● : 埼玉県景観資源

■ : 足立区特別景観形成地区

■ : 北区を代表する景観10選

出典 :

「埼玉県景観資源データベース」(令和6年7月閲覧、埼玉県ホームページ)

「第二次足立区景観計画」(令和3年1月、足立区)

「北区を代表する景観10選 2019」(令和6年7月閲覧、北区ホームページ)



1:50,000

0 1 2km

この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

(2) 自然とのふれあいの場

1) 公園

対象事業実施区域及びその周囲の自然とのふれあいの場の状況（公園）は表 3.2-47 及び図 3.2-23(1)に示すとおりである。

表 3.2-47(1) 自然とのふれあいの場の状況

No.	市区別	名称	所在地
1	川口市	川口西公園	川口3丁目1番
2		本一公園	本町1丁目5番
3		本町1丁目広場遊園	本町1丁目8番
4		本町2丁目公園	本町2丁目5番
5		本町公園	本町3丁目9番
6		本三公園	本町3丁目10番
7		本町4丁目公園	本町4丁目7番
8		栄町1丁目公園	栄町1丁目6番
9		金山町公園	金山町3番
10		川口神社公園	金山町6番
11		幸町第1公園	幸町2丁目5番
12		幸町第2公園	幸町2丁目15番
13		寿町公園	川口1丁目2番
14		善光寺通り公園	川口1丁目2番
15		南寿町公園	川口1丁目3番
16		西寿町公園	川口2丁目15番
17		川口2丁目公園	川口2丁目17番
18		幸町3丁目あかつき公園	幸町3丁目6番
19		幸町第3公園	幸町1丁目2番
20		幸町2丁目公園	幸町2丁目10番
21		サン・ショッピングパーク (コミュニティプラザ)	栄町3丁目8番
22		栄町サン緑地	栄町2丁目1番
23		並木元町公園	並木元町1番1
24		荒川運動公園	荒川町地内
25		仲町1丁目公園	川口5丁目10番
26		仙太郎第1公園	川口6丁目6番
27		飯塚1丁目公園	飯塚1丁目1番
28		飯塚氷川公園	飯塚1丁目7番
29		西川口中公園	西川口1丁目31番
30		西川口西公園	西川口1丁目39番
31		北町公園	西川口3丁目6番
32		西川口南公園	西川口3丁目29番

表 3.2-47(2) 自然とのふれあいの場の状況

No	市区別	名称	所在地
33	川口市	西川口4丁目公園	西川口4丁目8番
34		仲町公園	西川口6丁目16番
35		宮町公園	宮町12番
36		並木町南公園	並木1丁目8番
37		並木町西公園	並木3丁目16番
38		並木町北公園	並木3丁目33番
39		並木4丁目公園	並木4丁目21番
40		南町公園	南町2丁目5番
41		仙太郎第2公園	川口6丁目5番
42		飯塚3丁目公園	飯塚3丁目14番
43		南町2丁目公園	南町2丁目6番
44		並木元町北公園	並木元町1番16
45		並木元町中公園	並木元町1番18
46		並木元町南公園	並木元町1番22
47		仲町ふれあい公園	仲町109番4
48		中青木公園	中青木3丁目10番
49		前川第6公園	前川2丁目13番
50		青木町公園	西青木4丁目8番
51		青木1丁目公園	青木1丁目15番
52		おおくら公園	青木1丁目19番
53		青木2丁目第2公園	青木2丁目3番
54		青木2丁目第3公園	青木2丁目8番
55		青木町2丁目広場遊園	青木3丁目7番
56		青木町2丁目公園	青木4丁目24番
57		青木4丁目公園	青木4丁目27番
58		青三南公園	中青木1丁目1番
59		青三公園	中青木2丁目3番
60		青三北公園	中青木2丁目18番
61		青木町3丁目広場遊園	中青木2丁目22番
62		西青木4丁目公園	西青木4丁目6番
63		中央通り公園	上青木西2丁目12番
64		上青木西公園	上青木西4丁目27番
65		上青木北西公園	上青木西5丁目7番
66		上青木1丁目公園	上青木1丁目17番
67		上青木氷川公園	上青木2丁目27番
68		上青木南公園	上青木3丁目16番
69		上青木北公園	上青木4丁目17番
70		上青木公園	上青木6丁目16番
71		前川南公園	南前川2丁目15番

表 3.2-47(3) 自然とのふれあいの場の状況

No	市区別	名称	所在地
72	川口市	前川第7公園	前上町25番
73		前川第4公園	前川1丁目8番
74		前川第5公園	前川1丁目20番
75		前川第2公園	前川3丁目23番
76		前川第1公園	前川4丁目11番
77		前川第3公園	前川4丁目22番
78		前川北公園	前川町3丁目373番7（前川3丁目50番）
79		竪川樋門公園	上青木2丁目地内
80		中青木2丁目公園	中青木2丁目52番2
81		上青木1丁目南公園	上青木1丁目18番
82		前川町第2公園	前川町4丁目102番（本前川3丁目4番）
83		前川町ふれあい公園	前川町3丁目660番（前川3丁目40番）
84		前四はなみずき公園	前川町4丁目205番6（本前川2丁目9番）
85		前四くすの木公園	前川町4丁目238番1（本前川2丁目4番）
86		あじろばし公園	前川町3丁目739番1
87		領家第1公園	東領家2丁目27番
88		朝日中央公園	朝日1丁目3番
89		南平児童交通公園	弥平2丁目3番
90		朝日1丁目公園	朝日1丁目1番
91		朝日町北公園	朝日2丁目3番
92		朝日町公園	朝日2丁目16番
93		二軒在家公園	朝日4丁目12番
94		朝日東第2公園	朝日5丁目4番
95		朝日東第1公園	朝日5丁目12番
96		末広1丁目第1公園	末広1丁目21番
97		末広1丁目第2公園	末広1丁目26番
98		末広3丁目公園	末広3丁目11番
99		新井町公園	新井町15番
100		芝川公園	元郷1丁目2番
101		元郷第5公園	元郷1丁目31番
102		元郷2丁目公園	元郷2丁目1番
103		榎木ノ原公園	領家4丁目3番
104		元郷第6公園	元郷3丁目22番
105		蔵人公園	元郷4丁目12番
106		元郷第4公園	元郷5丁目21番
107		元郷第3公園	元郷5丁目28番
108		弥平1丁目公園	弥平1丁目8番
109		弥平町公園	弥平2丁目16番
110		弥平4丁目公園	弥平4丁目13番

表 3.2-47(4) 自然とのふれあいの場の状況

No	市区別	名称	所在地
111	川口市	領家第7公園	東領家1丁目4番
112		領家第5公園	東領家3丁目2番
113		領家第3公園	東領家3丁目18番
114		領家第4公園	東領家5丁目8番
115		領家第8公園	領家1丁目15番
116		領家第9公園	領家2丁目3番
117		領家第6公園	領家2丁目29番
118		朝日1丁目東公園	朝日1丁目20番
119		元郷1丁目公園	元郷1丁目17番
120		朝日2丁目公園	朝日2丁目1番
121		朝日6丁目日の出公園	朝日6丁目15番13（朝日6丁目15番）
122		朝日3丁目公園	朝日3丁目17番11（朝日3丁目17番）
123		末広2丁目公園	末広2丁目6番
124		元郷2丁目第2公園	元郷2丁目1番
125		元郷第7公園	元郷2丁目11番
126		朝日6丁目北公園	朝日6丁目6番
127		元郷第8公園	元郷2丁目1573番（元郷2丁目15番）
128		新郷公園	東本郷字下留80番
129		新郷西沼公園	江戸1丁目18番
130		新郷東部公園	大字新堀573番1
131		新郷若宮公園	大字東貝塚字宮若47番1
132		赤井公園	赤井4丁目14番
133		緑ヶ丘さるすべり公園	大字赤井字谷田1400番
134		東武団地公園	大字東本郷字本郷前567番22
135		東本郷公園	大字東本郷字峰岸1171番1
136		東本郷台公園	大字東本郷字大塚1600番4
137		蓮沼公園	本蓮1丁目20番
138		江戸袋第2公園	江戸2丁目10番
139		江戸袋公園	江戸3丁目18番
140		緑ヶ丘第1公園	大字前野宿字上野72番70
141		峯公園	大字峯字前820番4
142		峯第2公園	大字峯字前582番18
143		新郷峯八幡公園	大字峯字後1303番
144		大竹公園	大字大竹字後283番2
145		新郷高畑公園	本蓮3丁目13番
146		東本郷第2公園	大字東本郷字峯岸1209番12
147		赤井第2公園	赤井1丁目23番
148		江戸袋第3公園	江戸袋1丁目27番
149		東本郷第3公園	大字東本郷字峯岸1197番34

表 3.2-47(5) 自然とのふれあいの場の状況

No	市区別	名称	所在地
150	川口市	峯第3公園	大字峯字前714番3
151		辰井公園	赤井3丁目7番
152		新郷自然の森	東本郷2丁目8番
153		榛松第2公園	榛松2丁目9番
154		榛松第1公園	榛松1丁目7番
155		榛松第3公園	榛松3丁目6番
156		榛松第4公園	榛松3丁目30番
157		峯第4公園	大字峯字前55番10
158		榛松第5公園	榛松3丁目45番
159		前野宿川公園	赤井1421番
160		グリーンセンター公園	大字新井宿字笹根前700番
161		根岸台公園	大字安行領根岸字台2091番
162		放山こども広場	大字道合字放山1番
163		山王公園	大字赤山字山王町219番
164		源長寺公園	大字赤山1225番
165		柳根町公園	柳根町14番
166		赤山小公園	大字赤山字曲輪308番1
167		根岸外谷田公園	大字安行領根岸字外谷田2907番3
168		根岸鹿島公園	大字安行領根岸字鹿島1028番5
169		諏訪山公園	大字新井宿字諏訪山1046番3
170		一斗蒔公園	大字新井宿字下一斗蒔29番8
171		諏訪山第2公園	大字新井宿字諏訪山977番32
172		南原公園	大字西新井宿字南原121番8
173		根岸ふれあい公園	大字安行領根岸字鹿島1024番1
174		根岸どんぐり公園	大字安行領根岸字外谷田3180番15
175		根岸さくら公園	大字安行領根岸小谷島441番
176		柳崎第5公園	柳崎1丁目6番
177		柳崎第2公園	柳崎1丁目27番
178		芝中田南公園	芝中田1丁目37番
179		芝中田北公園	芝中田2丁目3番
180		芝中田東公園	芝中田2丁目30番
181		芝杉橋公園	芝1丁目19番
182		芝1丁目公園	芝1丁目41番
183		芝高木第3公園	大字芝字高木4113番(芝下3丁目30番)
184		芝東公園	芝東町12番
185		芝下ふれあい公園	芝下1丁目1番
186		安行公園	大字安行領家字中道南868番1
187		安行出羽公園	安行出羽4丁目13番
188		安行原自然の森	大字安行字三輪作1721番1

表 3.2-47(6) 自然とのふれあいの場の状況

No	市区別	名称	所在地
189	川口市	神明社公園	大字安行領家字中道西378番1
190		安行原公園	大字安行原字久保2140番1
191		安行原第3公園	大字安行原字六升蒔930番41
192		安行原第4公園	大字安行原字六升蒔930番44
193		安行原第2公園	大字安行原字六升蒔930番58
194		安行原第5公園	大字安行原字半縄下179番11
195		安行慈林上公園	大字安行慈林633番
196		安行慈林第1公園	大字安行慈林字向1131番16
197		安行慈林第2公園	大字安行慈林字子ノ神226番
198		安行慈林南公園	大字安行慈林字堂下1005番
199		安行氷川公園	大字安行字宮越1058番
200		緑ヶ丘こぶし公園	大字安行吉岡字追回し1650番
201		安行吉岡公園	大字安行吉岡字追回し1685番1
202		緑ヶ丘第2公園	大字安行吉岡字追回し1700番30
203		緑ヶ丘さくら公園	大字安行吉岡字追回し1700番48
204		安行さつき公園	大字安行吉蔵字根提274番24
205		安行中才公園	大字安行字中才153番23
206		安行中道北公園	安行出羽1丁目8番
207		安行出羽北公園	安行出羽2丁目4番
208		安行出羽南公園	安行出羽5丁目15番
209		安行出羽ポケットパーク	安行出羽2丁目3番
210		安行馬除公園	大字安行字馬除258番17
211		安行きたの橋公園	大字安行吉岡字追回し1622番6
212		安行馬除第2公園	大字安行字馬除248番15
213		安行慈林堂下公園	大字安行慈林字堂下1013番6
214		安行吉蔵第1公園	大字安行吉蔵字中道東23番45
215		安行吉蔵第2公園	大字安行吉蔵字中道東44番6
216		安行天沼公園	大字安行吉岡字天沼1284番
217		安行北谷公園	大字安行北谷673番1
218		安行慈林児童公園	大字安行慈林152番
219		安行吉岡第2公園	大字安行吉岡字追廻1727番23
220		根堤公園	大字安行吉蔵字根提404番
221		安行ふれあい広場	大字安行字大元725番1
222		三ツ和公園	南鳩ヶ谷1丁目8番1
223		中居公園	南鳩ヶ谷2丁目21番2（南鳩ヶ谷2丁目21番）
224		前田東公園	南鳩ヶ谷4丁目24番1（南鳩ヶ谷4丁目24番）
225		前田西公園	南鳩ヶ谷5丁目27番1（南鳩ヶ谷5丁目27番）
226		辻公園	南鳩ヶ谷7丁目21番2（南鳩ヶ谷7丁目21番）
227		鳩ヶ谷緑町1丁目公園	鳩ヶ谷緑町1丁目6番1（鳩ヶ谷緑町1丁目6番）

表 3.2-47(7) 自然とのふれあいの場の状況

No.	市区別	名称	所在地
228	川口市	鳩ヶ谷緑町2丁目公園	鳩ヶ谷緑町2丁目10番1 (南鳩ヶ谷緑町2丁目10番)
229		落合公園	桜町3丁目14番地内他 (桜町3丁目14番)
230		沼田公園	大字辻字沼田86番1
231		町谷公園	桜町5丁目2番地内 (桜町5丁目2番)
232		台公園	八幡木1丁目5番1 (八幡木1丁目5番)
233		八幡木公園	八幡木1丁目25番1 (八幡木1丁目25番)
234		谷下公園	八幡木2丁目7番1 (八幡木2丁目7番)
235		八幡木平柳公園	八幡木2丁目26番1 (八幡木2丁目26番)
236		大塚公園	八幡木3丁目9番1 (八幡木3丁目9番)
237		上新田公園	八幡木3丁目171番1 (八幡木3丁目17番)
238		沼公園	坂下町3丁目58番1 (坂下町3丁目35番)
239		鵜の淵公園	三ツ和1丁目26番1 (三ツ和1丁目26番)
240		細沼公園	三ツ和1丁目20番5 (三ツ和1丁目20番)
241		小淵公園	三ツ和2丁目16番1 (三ツ和2丁目16番)
242		三ツ和平柳公園	三ツ和2丁目23番1 (三ツ和2丁目23番)
243		高土手公園	三ツ和3丁目9番2 (三ツ和3丁目9番)
244		谷中公園	三ツ和3丁目21番2 (三ツ和3丁目21番)
245	草加市	清門中公園	清門3丁目27番
246		清門西公園	清門3丁目63番
247		新栄東公園	新栄町
248		清門中央公園	清門町
249		西町第2ちびっ子広場	西町
250		花栗第2児童遊園 (くじら公園)	花栗3丁目7番地内
251		令和ふれあい公園	原町3丁目
252		北谷第3児童遊園	北谷2丁目
253		北谷三丁目公園	北谷3丁目
254		苗塚塚前公園	苗塚町
255		峯分ふれあい広場	北谷1丁目
256		にっさと防災公園	新里町
257		両新田くすのき公園	両新田西町
258		両新田東公園	両新田東町
259		谷塚上町みなみ公園	谷塚上町

表 3.2-47(8) 自然とのふれあいの場の状況

No.	市区別	名称	所在地
260	足立区	足立富士見公園	西新井7丁目17番1
261		足立堀之内公園	堀之内2丁目1番1
262		あみだ橋公園	西新井本町3丁目8番8
263		いかづち公園	西新井2丁目27番2
264		伊興遺跡公園	東伊興4丁目9番1
265		伊興北の根公園	伊興本町1丁目16番21
266		伊興三丁目公園	伊興3丁目14番6
267		伊興ファミリー公園	伊興5丁目21番5
268		伊興四丁目公園	伊興4丁目19番14
269		石塚公園	栗原2丁目 3 番1
270		一本木公園	鹿浜6丁目18番1
271		井堀北公園	栗原1丁目15番8
272		入谷砂原めいろ公園	入谷9丁目9番15
273		入谷中央公園	入谷4丁目16番1
274		入谷鶴巻ゆうぐ公園	入谷2丁目8番1
275		入谷中郷公園	入谷1丁目28番1
276		入谷中郷北公園	入谷2丁目5番1
277		入谷中郷南恐竜公園	入谷5丁目12番1
278		入谷中丸公園	入谷8丁目4番1
279		入谷七丁目公園	入谷7丁目12番28
280		入谷八丁目公園	入谷8丁目16番5
281		入谷日の出公園	入谷1丁目3番1
282		入谷町屋公園	入谷1丁目18番1
283		入谷緑地公園	入谷1丁目20番1、5丁目1番1、7丁目4番1・7番1
284		扇北公園	扇3丁目18番8
285		扇彫刻のある公園	扇3丁目24番15
286		大境公園	西竹の塚1丁目9番1
288		興野北公園	西新井本町5丁目3番3
289		興野町いちょう公園	西新井本町4丁目18番1
290		興野ふれあい公園	興野2丁目28番25
291		奥野邑公園	西新井本町4丁目23番5
292		押部公園	鹿浜6丁目8番1
293		押部北公園	鹿浜8丁目12番4
294		押部西公園	鹿浜6丁目33番1
295		押部南公園	鹿浜7丁目21番1
296		加賀公園	加賀1丁目2番12
297		加賀北公園	加賀2丁目31番8
298		勝田堀公園	栗原3丁目26番5
299		上沼田公園	江北7丁目4番1

表 3.2-47(9) 自然とのふれあいの場の状況

No.	市区別	名称	所在地
300	足立区	上沼田北公園	江北7丁目16番1
301		上沼田第二公園	江北4丁目20番・21番・25番18
302		上沼田東公園	江北6丁目10番1
303		上沼田南どんぐり公園	江北3丁目23番18・34番5
304		北鹿浜公園	鹿浜3丁目26番1
305		栗原北公園	栗原4丁目21番18
306		栗原中央公園	栗原4丁目7番23
307		栗原町公園	栗原2丁目9番1
308		栗六公園	六月3丁目10番1
309		江北公園	鹿浜1丁目2番1・7番1、2丁目14番1・44番1、 鹿浜5丁目7番・8番1・9番1・10番1
310		江北一丁目公園	江北1丁目25番7・26番16
311		江北キリン公園	江北4丁目28番17
312		江北平成公園	江北4丁目16番1、8番12
313		江北北部緑道公園	谷在家2丁目13番から皿沼3丁目18番まで
314		江北みどり公園	江北3丁目8番10
315		高野公園	西新井本町2丁目25番1
316		古千谷さくら公園	古千谷本町2丁目11番11
317		古千谷西公園	古千谷本町2丁目24番3
318		皿沼公園	皿沼2丁目25番1
319		皿沼東公園	皿沼2丁目7番3
320		鹿浜校趾公園	鹿浜3丁目14番1
321		鹿浜東公園	鹿浜4丁目16番13
322		島糞屋公園	鹿浜2丁目22番1
323		新田公園	新田2丁目13番4
324		新田稲荷公園	新田1丁目8番5
325		新田三丁目公園	新田3丁目10番9
326		新西新井公園	西新井5丁目17番1
327		諏訪木北公園	西伊興1丁目6番12
328		諏訪木第一公園	西新井4丁目29番1
329		諏訪木第二公園	西新井4丁目27番1
330		諏訪木第三公園	西新井4丁目26番1
331		諏訪木西公園	西新井4丁目35番1
332		諏訪木東公園	西新井3丁目25番1
333		諏訪木ぶらしのき公園	西新井4丁目38番8
335		高道西公園	西新井4丁目13番1
336		高道東公園	西新井4丁目7番1
337		舎人一号公園	入谷9丁目29番1
338		舎人いきいき公園	舎人6丁目3番1

表 3.2-47(10) 自然とのふれあいの場の状況

No.	市区別	名称	所在地
339	足立区	舎人はなさく公園	舎人5丁目4番19
340		舎人三丁目みどり公園	舎人3丁目15番7
341		舎人町公園	舎人6丁目8番17
342		舎人四丁目公園	舎人4丁目8番1
343		舎人緑道公園	入谷9丁目10番、入谷3丁目11番、舎人6丁目13番
344		中郷公園	西新井1丁目29番15
345		西新井さかえ公園	西新井栄町1丁目19番1
346		西新井さくら公園	西新井2丁目6番1
347		西新井中央公園	西新井3丁目15番1
348		西新井西公園	西新井6丁目9番1
349		西新井蓮沼公園	西新井1丁目20番4
350		西新井本町公園	西新井本町5丁目7番23
351		西新井本町四丁目公園	西新井本町5丁目27番14
352		西新井みどり公園	西新井5丁目28番1
353		西中第一公園	西新井6丁目44番1
354		西中第二公園	西新井5丁目21番1
355		はやぶさ公園	伊興4丁目8番13
356		はんの木橋公園	西伊興4丁目8番22
357		東伊興淵之宮公園	東伊興2丁目4番21
358		東椿公園	椿2丁目21番9
359		袋在家公園	西新井2丁目23番1
360		古内公園	鹿浜1丁目15番1
361		堀之内北公園	堀之内1丁目21番1
362		前沼公園	西竹の塚2丁目12番4
363		みだまえ公園	谷在家1丁目17番1
364		南椿公園	椿1丁目5番1
365		見沼代親水公園	舎人4丁目5番から古千谷本町4丁目8番まで
366		谷在家公園	谷在家2丁目13番1
367		谷在家北公園	谷在家3丁目13番2
368		令和 伊興本町公園	伊興本町2丁目13番4
369	北区	赤羽公園	赤羽南1丁目14番17
370		赤羽三丁目公園	赤羽3丁目23番19
371		赤羽自然観察公園	赤羽西5丁目2番34
372		赤羽スポーツの森公園	赤羽西5丁目2番32
373		赤羽台けやき公園	赤羽台1丁目6番23
374		赤羽台公園	赤羽台3丁目16番1
375		赤羽台さくら並木公園	赤羽台4丁目17番5
376		赤羽台四丁目公園	赤羽台4丁目17番46
377		赤羽東公園	赤羽1丁目43番1

表 3.2-47(11) 自然とのふれあいの場の状況

No.	市区別	名称	所在地
378	北区	赤羽緑道公園	赤羽台3丁目18番33
379		荒川赤水門緑地	志茂5丁目41番82先
380		荒川赤羽緑地	赤羽3丁目29番22先
381			赤羽北1丁目22番22先
382		荒川赤羽桜堤緑地	赤羽3丁目29番先
383			岩淵町41番先
384		荒川岩淵関緑地	岩淵町23番45先
385		稲付公園	赤羽西3丁目19番5
386		浮間一丁目緑地	浮間1丁目8番1
387		浮間北公園	浮間1丁目11番1
388		北運動公園	神谷2丁目47番6
389		桐ヶ丘中央公園	桐ヶ丘2丁目7番43
390		島下公園	赤羽西6丁目10番12
391		志茂三丁目小柳川公園	志茂3丁目26番5
392		志茂町公園	志茂1丁目5番1
393		志茂東公園	志茂3丁目46番8
394		志茂ゆりの木公園	志茂5丁目18番1
395		新荒川大橋緑地	赤羽3丁目29番先
396		新河岸川緑地	岩淵町41番先
397			赤羽3丁目29番先
398		袋町公園	赤羽北3丁目11番10

出典：「主な公園一覧」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

「その他の公園一覧」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

「市内の公園を紹介します」（令和6年7月閲覧、草加市ホームページ）

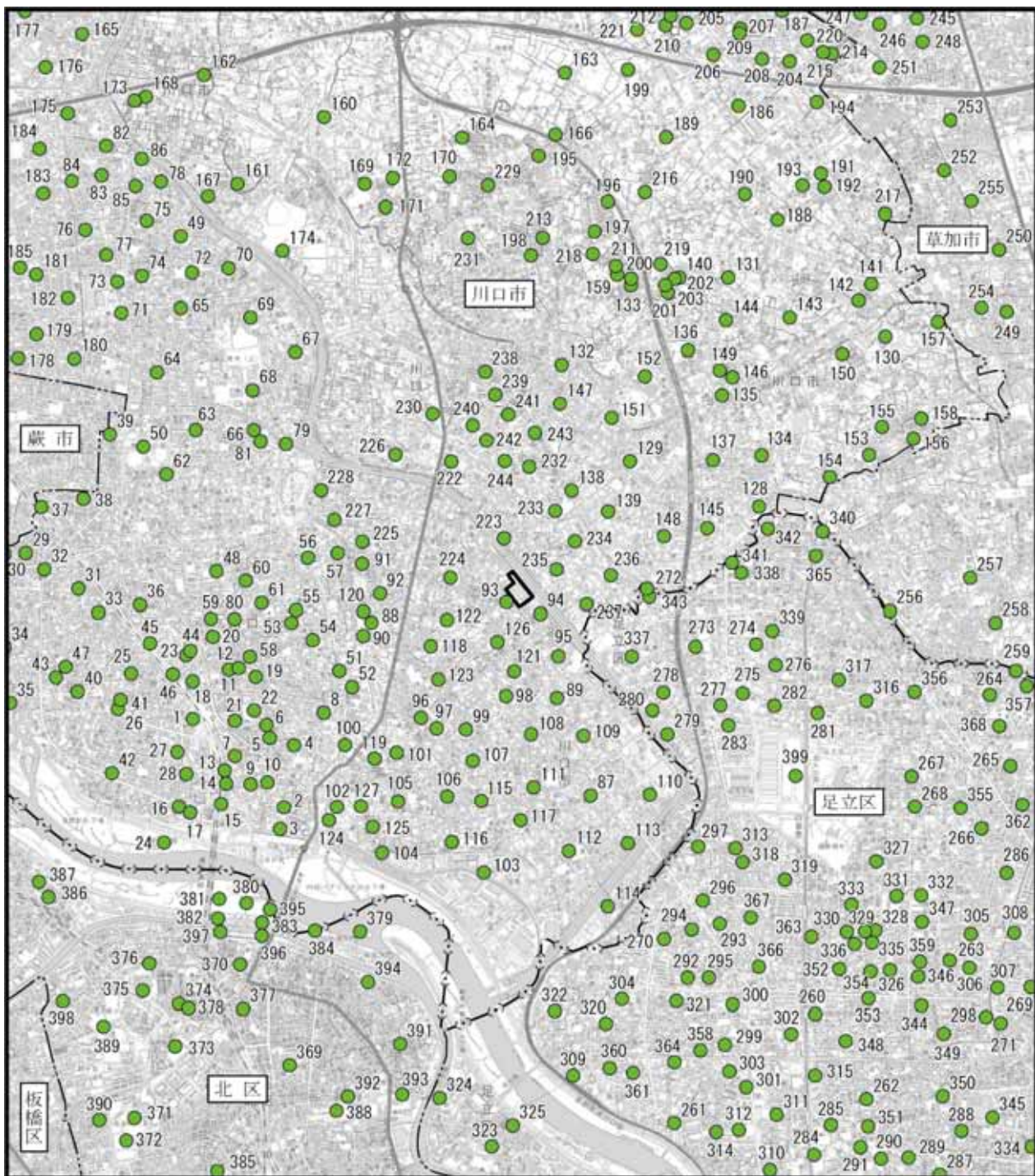
「足立区立公園一覧（令和6年4月1日現在）」（令和6年7月閲覧、足立区例規集）

「区立公園・緑地の一覧（50音順）」（令和5年4月、北区）

表 3.2-47(12) 自然とのふれあいの場の状況（都立公園）

No.	市区別	名称	所在地
399	足立区	舎人公園	入谷町ほか

出典：「都立公園等施設案内」（令和6年7月閲覧 東京都ホームページ）

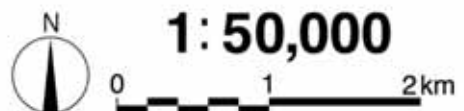


凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 市界・区界
- : 都県界
- : 公 園

出典：

- 「主な公園一覧」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）
- 「その他の公園一覧」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）
- 「市内の公園を紹介します」（令和6年7月閲覧、草加市ホームページ）
- 「足立区立公園一覧（令和6年4月1日現在）」
（令和6年7月閲覧、足立区例規集）
- 「区立公園・緑地の一覧（50音順）」（令和5年4月、北区）
- 「都立公園等施設案内」（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）



この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

2) その他

対象事業実施区域及びその周囲における公園以外の自然とのふれあいの場の状況は、表 3.2-48 及び図 3.2-23(2)に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲には、鳩ヶ谷スポーツセンターが存在するほか、埼玉高速鉄道沿線を気軽に楽しむためのウォーキングコースがある。

表 3.2-48(1) 自然とのふれあいの場の状況（その他）

No.	名称
自然公園	
1	県立安行武南自然公園
スポーツ施設	
2	青木町公園総合運動場（青木町平和公園内）
3	東スポーツセンター
4	西スポーツセンター
5	新郷スポーツセンター
6	安行スポーツセンター
7	鳩ヶ谷スポーツセンター
観光スポット	
8	川口市立グリーンセンター
9	川口ハイウェイオアシス イイナパーク川口
10	川口緑化センター樹里安 道の駅「川口・あんぎょう」
11	赤山陣屋跡
12	埼玉県花と緑の振興センター
埼玉高速鉄道沿線ウォーキングマップのコース	
13	5. 戸塚安行駅
14	6. 新井宿駅
15	7. 鳩ヶ谷駅
16	8. 南鳩ヶ谷駅
17	9. 川口元郷駅
川口市内観光ルートマップ	
18	川口駅東口コース
19	川口駅西口コース
20	元郷・領家コース
21	西川口・青木町平和公園コース
22	グリーンセンターコース
23	赤山・安行コース
24	安行・峯コース
25	鳩ヶ谷コース ①日光御成道ルート②芝川ルート
26	安行散策マップ

出典：「埼玉県の自然公園」（令和6年7月閲覧、埼玉県ホームページ）

「スポーツ施設(スポーツセンター)一覧」

(令和6年7月閲覧、川口市ホームページ)

「川口市内の観光スポット」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

「埼玉高速鉄道沿線ウォーキングマップ」

(令和6年7月閲覧、埼玉県ホームページ)

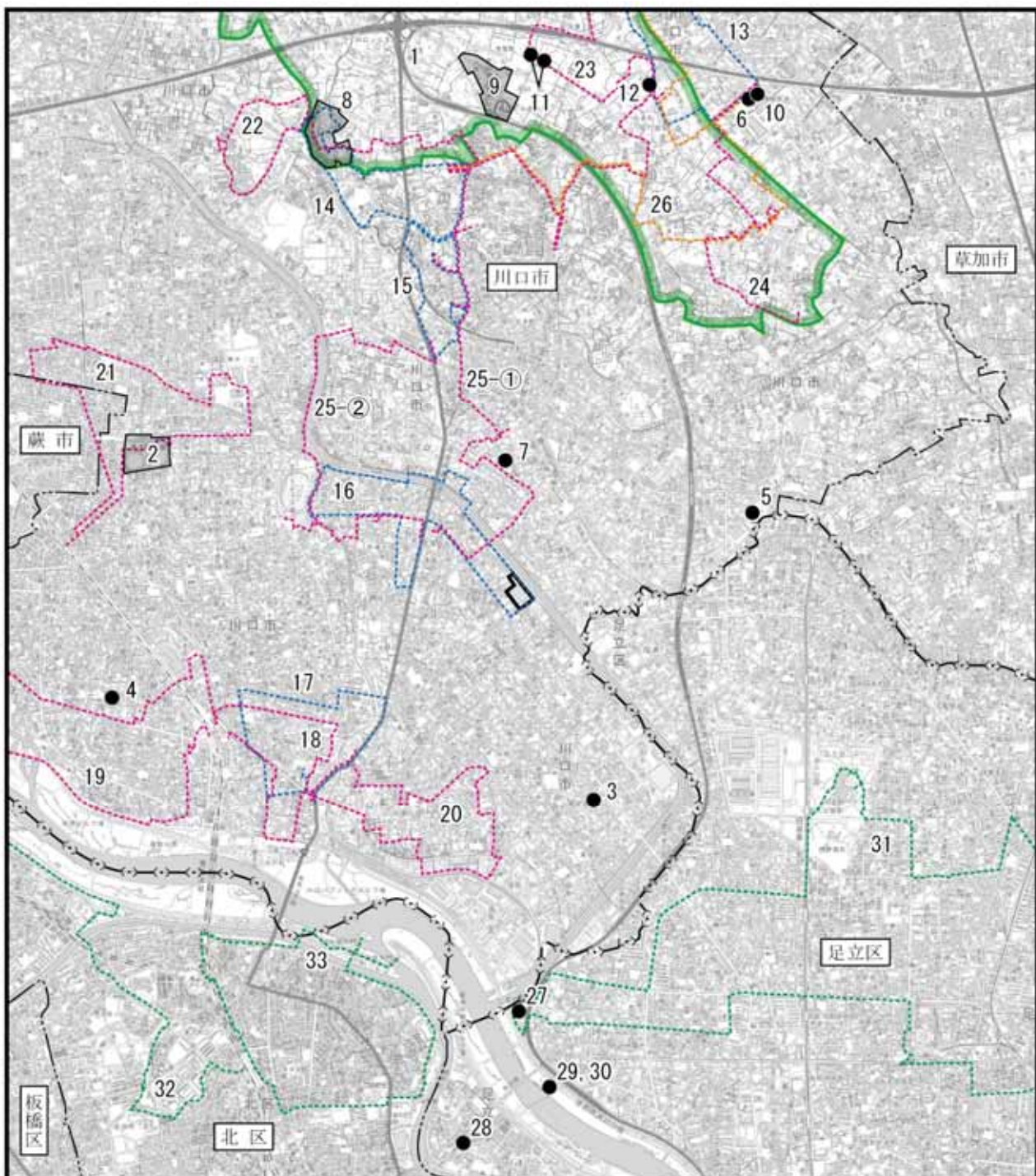
表 3.2-48(2) 自然とのふれあいの場の状況（その他）

No.	名称
足立区のその他の公園	
27	足立区都市農業公園
28	新田わくわく水辺広場（荒川河川敷）
29	桜づつみ（荒川左岸鹿浜橋緑地）
30	あだち五色桜の散歩みち
トーキョーウォーキングマップ	
31	季節を感じる：健康サーキット健脚コース
32	季節を感じる：浮間舟渡～北赤羽～赤羽
33	水辺を歩く：赤羽～志茂～岩淵～赤羽

出典：「公園」（令和6年7月閲覧、足立区ホームページ）

「トーキョーウォーキングマップ」

（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）



凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 都県界
- : 市界・区界
- : 自然公園
- : 自然とのふれあいの場

図 3.2-23(2) 自然とのふれあいの場の状況

ウォーキングコース

- : 埼玉高速鉄道沿線ウォーキングコース
- : 川口市内観光ルート
- : 安行散策コース
- : トーキョーウォーキングマップコース

出典：

- 「埼玉県の自然公園」（令和6年7月閲覧、埼玉県ホームページ）
- 「スポーツ施設（スポーツセンター）一覧」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）
- 「川口市内の観光スポット」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）
- 「埼玉高速鉄道沿線ウォーキングマップ」（令和6年7月閲覧、埼玉県ホームページ）
- 「公園」（令和6年7月閲覧、足立区ホームページ）
- 「トーキョーウォーキングマップ」（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）



1:50,000

0 1 2km

この地図は、国土地理院発行の電子地形図 2 万 5 千分の 1 を使用したものである。

3.2.7. 文化財その他の生活環境の状況

(1) 文化財

1) 指定文化財

対象事業実施区域及びその周囲における指定文化財の状況は表 3.2-49 に、位置図は図 3.2-24 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲には、重要文化財建造物が 1 件、有形文化財建造物が 5 件、史跡が 8 件、名勝が 1 件、天然記念物が 3 件、旧跡が 5 件、登録有形文化財（建造物）が 23 件、選定重要遺跡が 3 件、指定有形民俗文化財が 2 件、指定有形文化財（建造物）が 2 件、記念物（史跡）が 3 件存在する。

なお、対象事業実施区域に最も近い文化財は、北東方向約 500m に市指定史跡の良賢・英賢の墓及び垂井知等の墓が存在する。

表 3.2-49(1) 指定文化財の状況

No.	種別	指定等	名称	所在地等
1	重要文化財建造物	国	旧田中家住宅	川口市末広1丁目7番2
2	有形文化財建造物	市	前川神社内本殿	川口市前川町3丁目49番1
3			赤山山王権現社本殿付覆屋一棟・狛犬一對	川口市大字赤山218番
4			宝蔵院仁王門	川口市大字安行慈林954番
5			金剛寺山門	川口市大字安行吉岡1361番
6			八雲社社殿（旧金山権現社社殿）	川口市金山町6番15
7	史跡	県	新郷貝塚	川口市大字東貝塚25番他
8		市	平柳蔵人居館跡	川口市元郷4丁目12番6
9			金剛寺経塚付出土品	川口市大字安行吉岡1361番
10			凱旋橋跡付凱旋橋之碑	川口市本町2丁目22番18他 川口市金山町6番15
11			良賢・英賢の墓	川口市八幡木2丁目8番10
12			垂井知等の墓	川口市八幡木2丁目8番10
13			小谷三志の墓	川口市桜町5丁目5番39
14			旧浦寺村の弁天池跡付元文元年・寛文九年銘の石碑2基	川口市桜町6丁目778番1
15	名勝	市	旧鋳物問屋鍋平別邸庭園	川口市金山町15番2
16	天然記念物	市	峯ヶ岡八幡神社の社叢	川口市大字峯1304番他
17			安行原イチリンソウ自生地	川口市大字安行原2269番1 川口市大字安行原2269番2・2270番
18			地蔵院のタブノキ	川口市桜町5丁目5番39
19	旧跡	県	赤山城跡（赤山陣屋敷址）	川口市大字赤山766番2他
20			安行苗木開発の祖吉田権之丞の墓	川口市大字安行吉岡1361番
21			小谷三志居宅跡	川口市桜町1丁目1番12

注) No.は図 3.2-24と対応している。

表 3.2-49(2) 指定文化財の状況

No.	種別	指定等	名称	所在地等
22	登録有形文化財 (建造物)	国	旧鋳物問屋鍋平別邸主屋	川口市金山町15番2
23			旧鋳物問屋鍋平別邸離れ	川口市金山町15番2
24			旧鋳物問屋鍋平別邸蔵	川口市金山町15番2
25			十一屋北西商店店舗	川口市鳩ヶ谷本町1丁目2番8
26			十一屋北西商店蔵	川口市鳩ヶ谷本町1丁目2番8
27			大泉家住宅洋館	川口市領家5丁目4番1
28			大泉家住宅和館	川口市領家5丁目4番1
29			永瀬昌文家住宅主屋	川口市本町1丁目8番6
30			永瀬孝男家住宅洋館	川口市本町1丁目5番12
31			永瀬孝男家住宅和館	川口市本町1丁目5番12
32			永瀬孝男家住宅土蔵	川口市本町1丁目5番12
33			永瀬孝男家住宅納屋	川口市本町1丁目5番12
34			永瀬孝男家住宅旧発電所	川口市本町1丁目5番12
35			永瀬孝男家住宅煉瓦蔵	川口市本町1丁目5番12
36			永瀬孝男家住宅表門及び煉瓦塀	川口市本町1丁目5番12
37			旧森龍織物主屋	川口市大字安行領根岸字台 2219番
38			旧森龍織物工場	川口市大字安行領根岸字台 2219番
39	選定重要遺跡	県	猿貝貝塚	川口市安行字宮越990番 川口市安行字大元790番他
40			前野宿貝塚	川口市東本郷字大塚1586番他
41			江戸袋貝塚	川口市江戸袋1丁目20番32

注) No.は図 3.2-24と対応している。

出典：「川口市指定文化財等一覧表（令和6年4月1日現在）」（令和6年7月閲覧、川口市）

表 3.2-49(3) 指定文化財の状況

No.	種別	指定等	名称	所在地等
42	登録有形文化財 (建造物)	国	旧赤羽台団地四一～第四四号棟	北区赤羽台1丁目1番1
43	旧跡	都	初代安藤広重墓及び記念碑	足立区伊興本町1丁目5番16
44			稲付城跡	北区赤羽西1丁目21番17
45	指定有形文化財 (建造物)	足立区	総持寺山門	足立区西新井1丁目15番1
46	指定有形民俗 文化財	足立区	旧和井田家住宅（母屋）	足立区鹿浜2丁目44番 都市農業公園
47			旧増野製作所長屋門	足立区鹿浜2丁目44番 都市農業公園
48	登録有形文化財 (建造物)	足立区	総持寺三匠堂	足立区西新井1丁目15番1
49			應現寺山門	足立区伊興本町2丁目3番3
50			舎人氷川神社本殿	足立区舎人5丁目21番34
51			應現寺石燈籠（承応三年在銘）	足立区伊興本町2丁目3番3
52			舎人諏訪神社本殿	足立区舎人2丁目15番25
53	記念物(史跡)	足立区	伊興遺跡	足立区東伊興4丁目9番1
54			湊の宮	足立区立東伊興2丁目14番4
55			新井学校跡	足立区西新井1丁目26番
56	指定有形文化財 (建造物)	北区	旧松澤家住宅附倉屋	北区赤羽西5丁目2番34 北区赤羽自然観察公園内

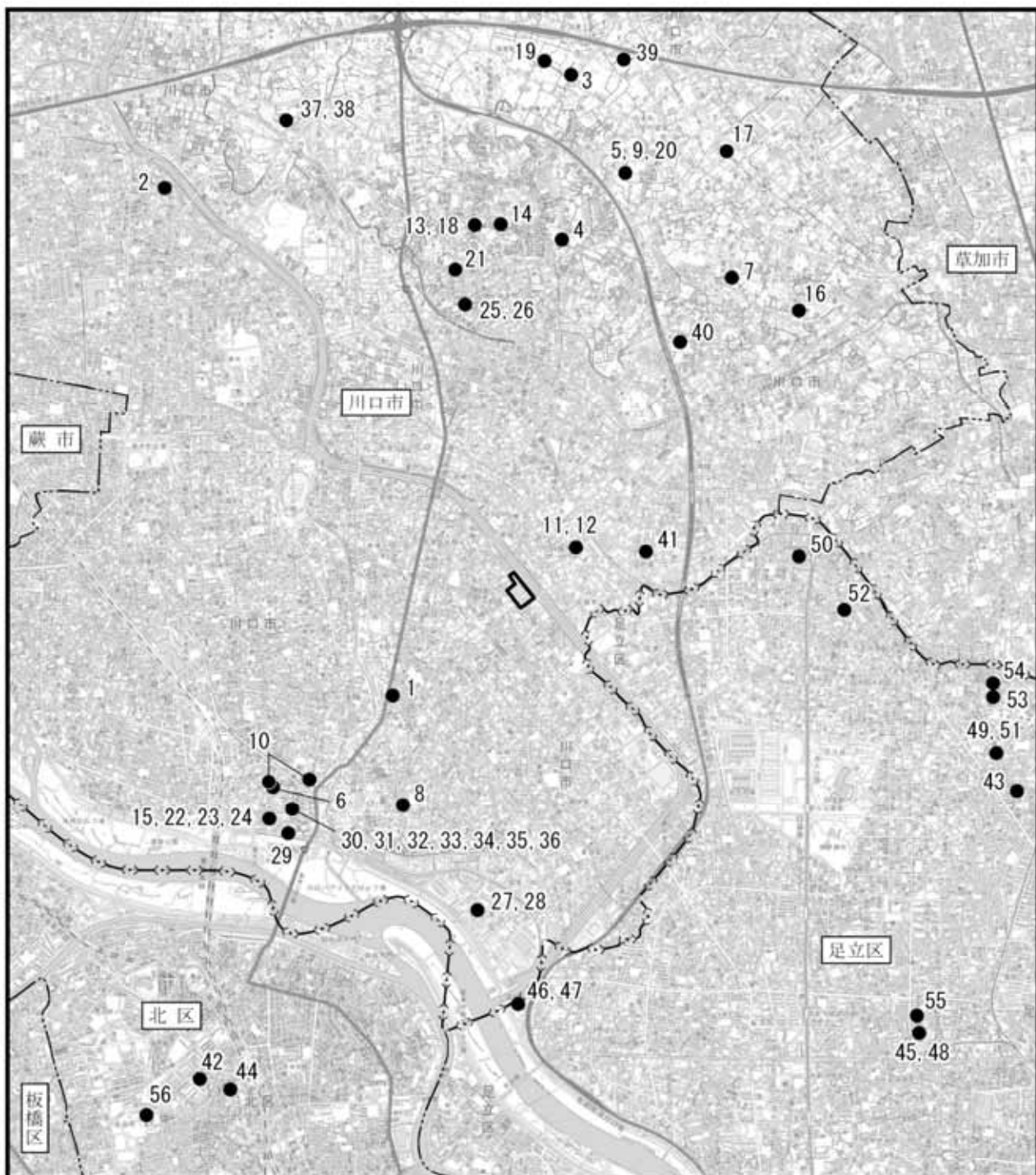
注) No.は図 3.2-24と対応している。

出典：「国指定文化財データベース」（令和6年7月閲覧、文化庁ホームページ）

「東京都文化財情報データベース」（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）

「足立区文化財一覧」（令和6年7月閲覧、足立区ホームページ）

「北区の歴史にふれる」（令和6年7月閲覧、北区飛鳥山博物館ホームページ）



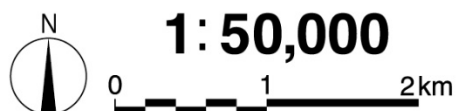
凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 指定文化財等
- ・—・— : 都県界
- : 市界・区界

図 3.2-24 指定文化財位置図

出典：

「国指定文化財データベース」（令和6年7月閲覧、文化庁ホームページ）
「東京都文化財情報データベース」（令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）
「足立区文化財一覧」（令和6年7月閲覧、足立区ホームページ）
「北区の歴史にふれる」（令和6年7月閲覧、北区飛鳥山博物館ホームページ）

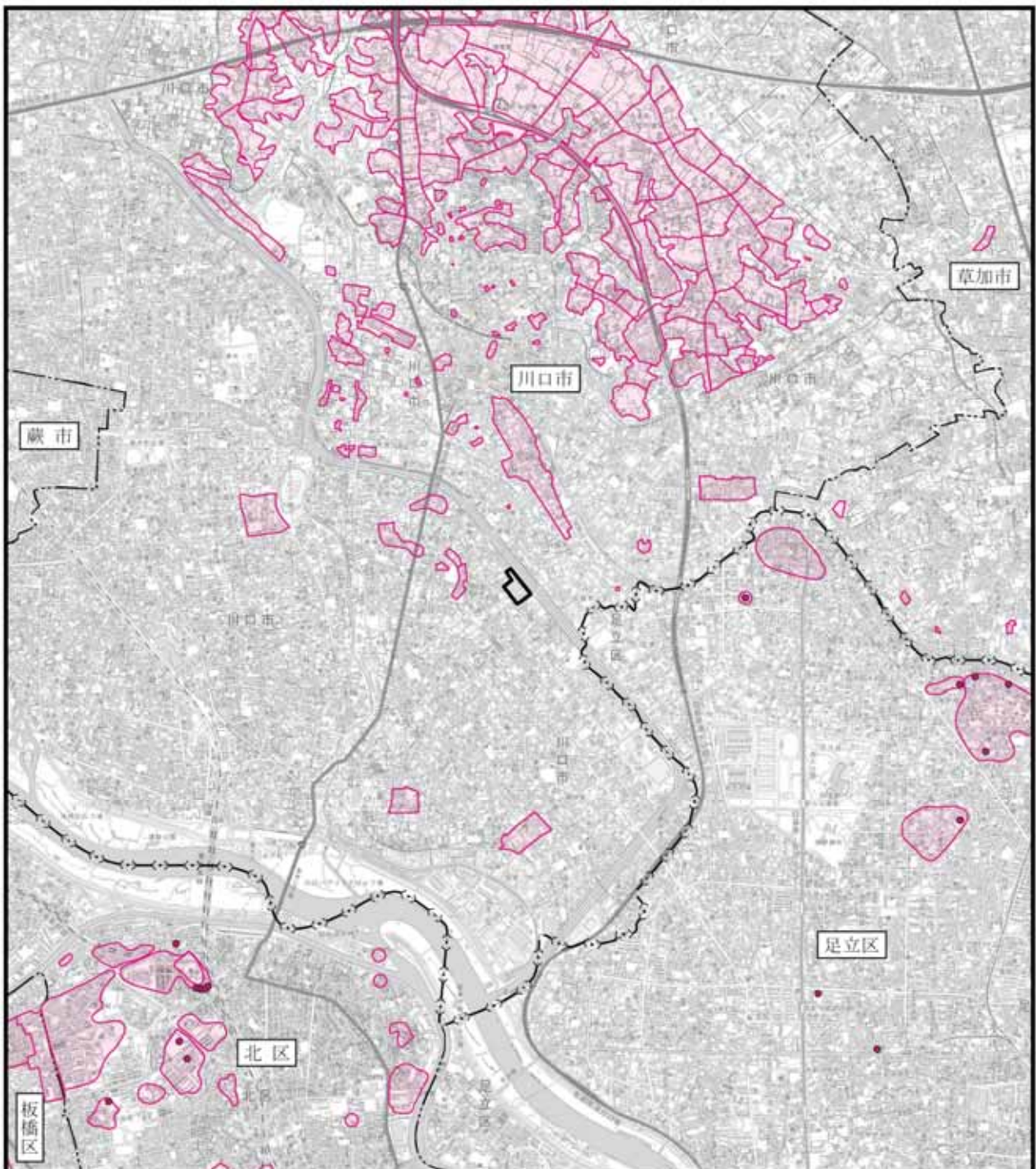


この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

2) 埋蔵文化財

対象事業実施区域及びその周囲における埋蔵文化財包蔵地の状況は、図 3.2-25 に示すとおりである。

対象事業実施区域に最も近い埋蔵文化包蔵地は、西方向約 400m に二軒在家遺跡が存在する。



凡 例

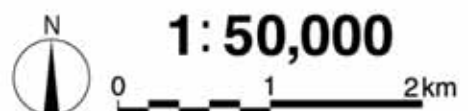
- : 対象事業実施区域
- : 都県界
- : 市界・区界

- : 埋蔵文化財包蔵地

図 3.2-25 埋蔵文化財包蔵地の状況

出典：

「埼玉県埋蔵文化財情報公開ページ（埼玉県全域地図）」
 （令和6年7月閲覧、埼玉県ホームページ）
 「東京都遺跡地図情報インターネット提供サービス」
 （令和6年7月閲覧、東京都ホームページ）



この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

(2) 温室効果ガス排出量

対象事業実施区域及びその周囲における令和 3 年度の二酸化炭素排出量は表 3.2-50 に、対象事業実施区域の位置する川口市、草加市、足立区及び北区における二酸化炭素排出量の経年変化は図 3.2-26 に示すとおりである。

令和 3 年度の二酸化炭素排出量は、川口市、足立区及び北区では家庭部門の割合が最も高く、草加市では産業部門の割合が最も高くなっている。

対象事業実施区域の位置する川口市の廃棄物部門の二酸化炭素排出量は、平成 24 年度から令和 3 年度においてほぼ横ばいで推移している。業務部門は令和 2 年度から令和 3 年度で増加したが、他の部門は減少傾向となっている。

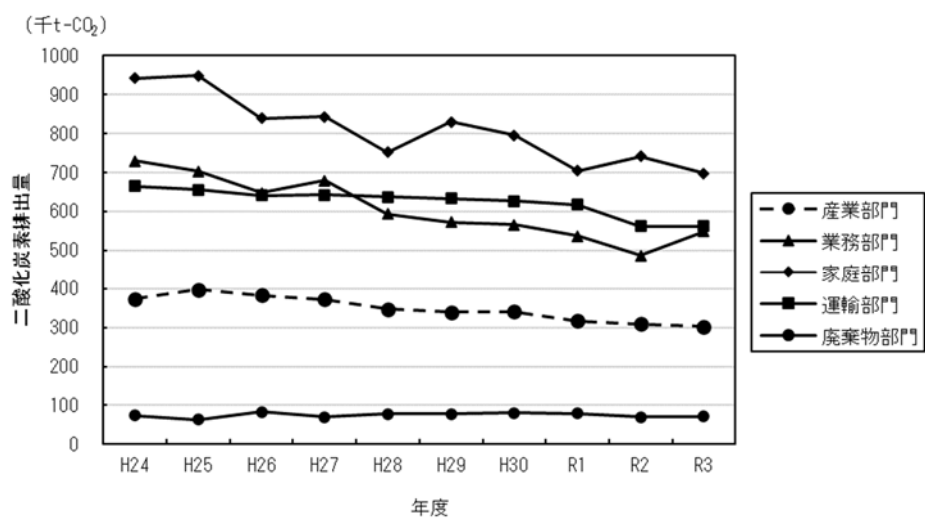
表 3.2-50 二酸化炭素排出量(令和 3 年度)

市名	区分	排出量	
		千 t -CO ₂	%
川口市	産業部門	302.7	13.9%
	業務部門	549.1	25.1%
	家庭部門	698.1	32.0%
	運輸部門	562.3	25.7%
	廃棄物部門	71.6	3.3%
	合計	2,183.9	100.0%
草加市	産業部門	287.8	27.6%
	業務部門	217.0	20.8%
	家庭部門	287.1	27.5%
	運輸部門	224.9	21.5%
	廃棄物部門	27.0	2.6%
	合計	1,043.7	100.0%
足立区	産業部門	191.1	8.3%
	業務部門	658.4	28.6%
	家庭部門	790.8	34.3%
	運輸部門	565.8	24.6%
	廃棄物部門	96.5	4.2%
	合計	2,302.6	100.0%
北区	産業部門	100.5	8.9%
	業務部門	390.9	34.6%
	家庭部門	437.2	38.7%
	運輸部門	153.5	13.6%
	廃棄物部門	46.4	4.1%
	合計	1,128.5	100.0%

注) 端数処理を行っているため、排出量の合計が100%にならない場合がある。

出典：「自治体排出量カルテ」(令和6年7月閲覧、環境省ホームページ)

川口市



草加市

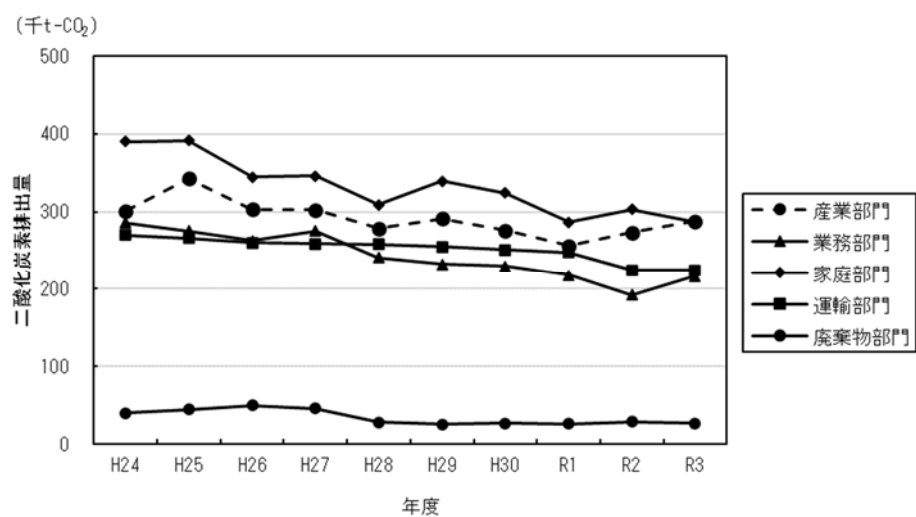
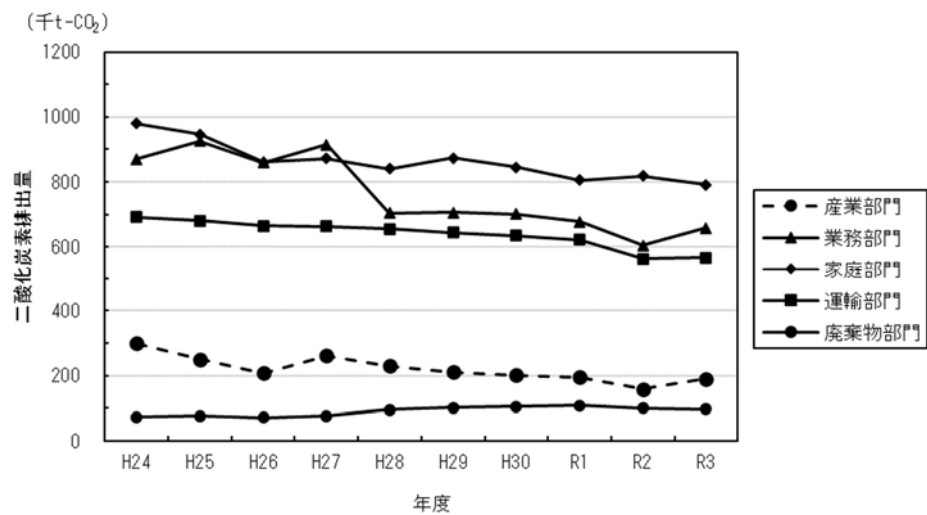
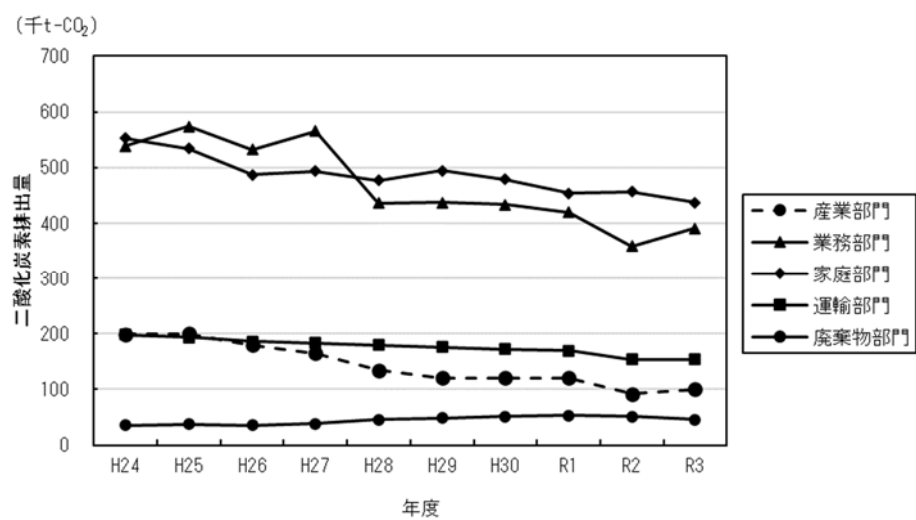


図 3.2-26(1) 二酸化炭素排出量の経年変化

足立区



北区



出典：「自治体排出量カルテ」（令和6年7月閲覧、環境省ホームページ）

図 3.2-26(2) 二酸化炭素排出量の経年変化

(3) 一般環境中の放射性物質

対象事業実施区域及びその周囲における放射線量の測定結果は表 3.2-51 に、測定地点位置図は図 3.2-27 に示すとおりである。

環境省では、「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法」（平成 23 年 8 月、法律第 110 号）に基づく汚染状況重点地域の指定や、除染実施計画を策定する地域の要件を、 $0.23\mu\text{Sv/h}$ 以上の地域であることとしている。この基準と比較すると、対象事業実施区域及びその周囲において測定された放射線量は低い値である。

なお、足立区、北区内の放射線量の測定は終了しているが、東京都が足立区舎人公園で測定を行っている。

表 3.2-51(1) 放射線量の測定結果（川口市）

No.	測定地点	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)
		5センチメートル	50センチメートル	100センチメートル
1	芝児童交通公園	0.08	0.08	0.07
2	中青木公園	0.06	0.05	0.05
3	西中学校	0.05	0.05	0.04
4	本町小学校	0.08	0.07	0.08
5	新井町公園	0.06	0.06	0.06
6	安行スポーツセンター	0.05	0.05	0.04
7	新郷小学校	0.04	0.04	0.05
8	三ツ和公園	0.05	0.05	0.06

注) No.は図 3.2-27の番号と対応している。

出典：「令和6年5月の空間放射線量の測定結果について」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

表 3.2-51(2) 放射線量の測定結果（草加市）

No.	測定場所	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)
		地上5cm	地上50cm	地上100cm
9	新里グラウンド	0.07	0.07	0.07

注) No.は図 3.2-27の番号と対応している。

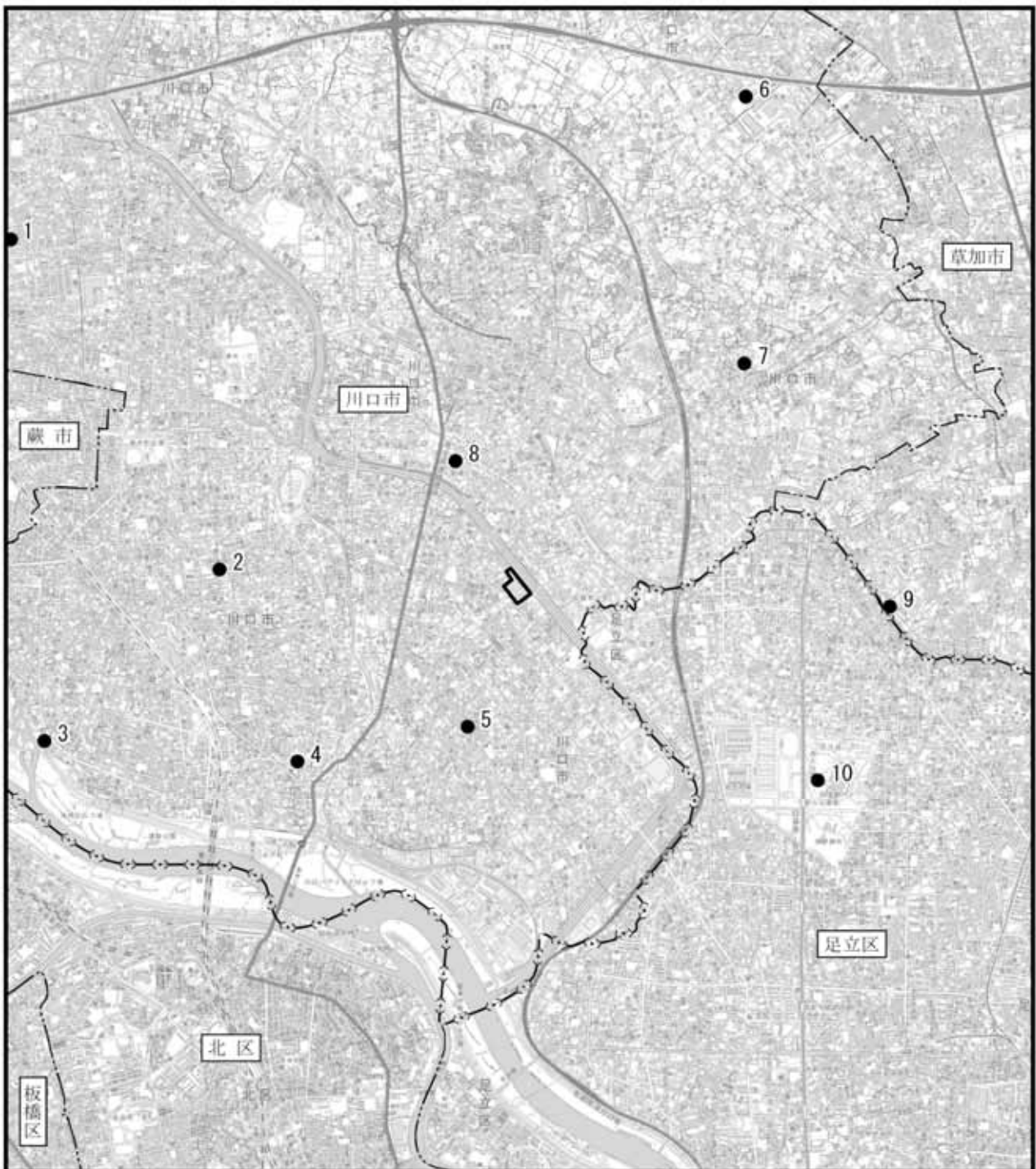
出典：「放射線関連情報」（令和6年7月閲覧、草加市ホームページ）

表 3.2-51(3) 放射線量の測定結果（東京都）

No.	測定場所	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)	測定値($\mu\text{Sv/h}$)
		最大値	最小値	平均値
10	舎人公園 (都立舎人公園)	0.0652	0.0196	0.03033

注) No.は図 3.2-27の番号と対応している。

出典：「環境放射線測定結果」（令和6年7月閲覧、東京都健康安全研究センター）



凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 空間放射線量調査地点
- : 都県界
- : 市界・区界

図 3.2-27 放射線量測定地点位置図

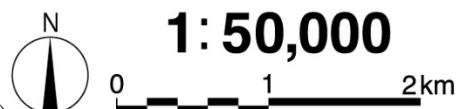
出典：

「放射線測定結果」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

「放射線関連情報」（令和6年7月閲覧、草加市ホームページ）

「環境放射線測定結果」（令和6年7月閲覧、東京都健康安全研究センター）

この地図は、国土地理院発行の電子地形図 2 万 5 千分の 1 を使用したものである。



(4) 公害苦情の状況

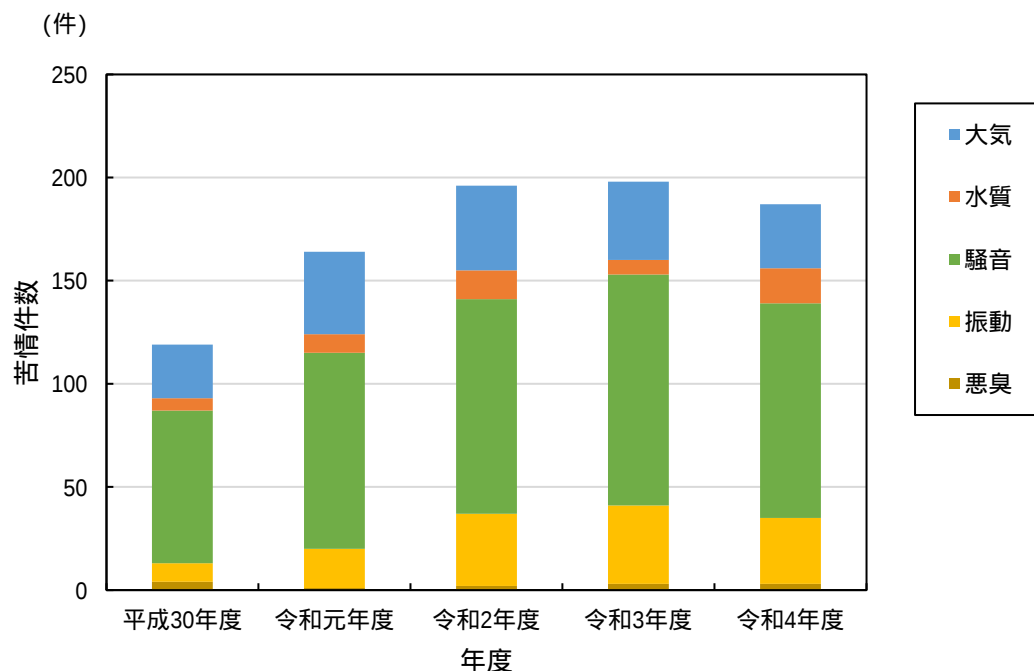
対象事業実施区域の位置する川口市における平成 30 年度から令和 4 年度の公害に関する苦情件数は、表 3.2-52 及び図 3.2-28 に示すとおりである。

平成 30 年度から令和 2 年度にかけて公害苦情件数が増加したが、令和 2 年度以降は横ばいもしくは減少傾向にある。

令和 4 年度の公害苦情の総数は 187 件であり、騒音に関する苦情が 104 件と最も多くなっている。

表 3.2-52 公害苦情件数（川口市）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総数	119	164	196	198	187
大気	26	40	41	38	31
水質	6	9	14	7	17
騒音	74	95	104	112	104
振動	9	19	35	38	32
悪臭	4	1	2	3	3
土壌汚染	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—



出典：「川口市統計書」（令和6年7月閲覧、川口市ホームページ）

図 3.2-28 公害苦情件数の推移